品川区の地域福祉に関するアンケート調査
報 告 書

令和５年３月

品川区　福祉部　福祉計画課

＜目次＞

I.　調査概要 1
1．　調査目的 1
2．　調査の設計 1
3．　調査の内容 1
4．　回収結果 1
II.　調査結果 2
1．　あなた自身のことについて 2
2．　あなたの現在の暮らしについて 14
3．　困ったときの相談について 38
4．　地域活動やボランティア活動について 68
5．　品川区の地域福祉の施策について 88
6．　（参考）回答方法について 100
III.　調査結果まとめ 101
1．　人や地域との交流、関わり方 101
2．　孤独・孤立の状況 101
3．　日常的な課題状況と相談先 102
4．　地域活動への参加状況 102
5．　求める施策 103

Ⅰ. 調査概要

１. 調査目的

社会福祉法に基づく地域福祉計画の策定に際し、区民の日常生活や社会参加の状況、地域・世帯・個人が抱える課題等を把握し、次期計画に反映させるためにアンケート調査を行った。

２. 調査の設計

調査対象者	18 歳～79 歳の品川区民
調査数	5,000 人
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送調査（郵送配布、郵送回収および Web 回答）
調査時期	令和 4 年 9 月 1 日～9 月 30 日

３. 調査の内容

以下の内容で、設問数は属性、補問を含め 28 問とした。

- ✓ 個人属性（性別、年齢、居住地区、居住年数など）
- ✓ 現在の暮らしについて（交流頻度、孤独感、ご近所との関わり方など）
- ✓ 困ったときの相談について
- ✓ 地域活動やボランティア活動について
- ✓ 地域福祉の施策についての意見

４. 回収結果

	今回調査（令和 4 年 9 月）	前回調査（平成 29 年 11 月）
調査数	5,000 人	5,000 人
有効回収数	1,910 人（紙：1.488 人、Web：422 人）	1,718 人
有効回収率	38.2%	34.4%

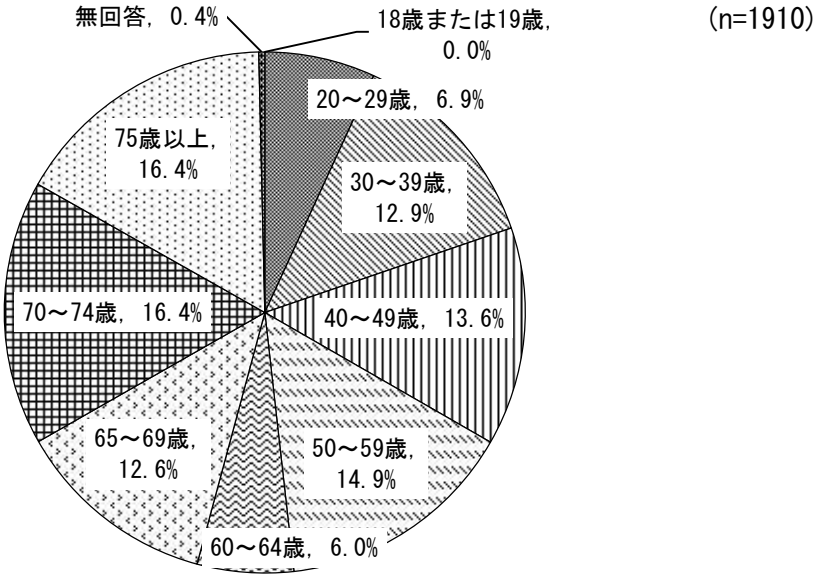
〇分析の方法・結果の見方について

- 設問には、1 つだけ回答する単一回答と複数回答する設問があり、複数回答設問の表記の割合合計は 100%を超える。
- 表記の割合は、小数点以下第 2 位を四捨五入して第 1 位まで表示しているため、単一回答でも割合合計が 100%にならない場合がある。
- 設問の中には前問に回答した人だけが回答する設問があり、その場合の回答者数（n）は全体よりも少なくなる。

Ⅱ. 調査結果

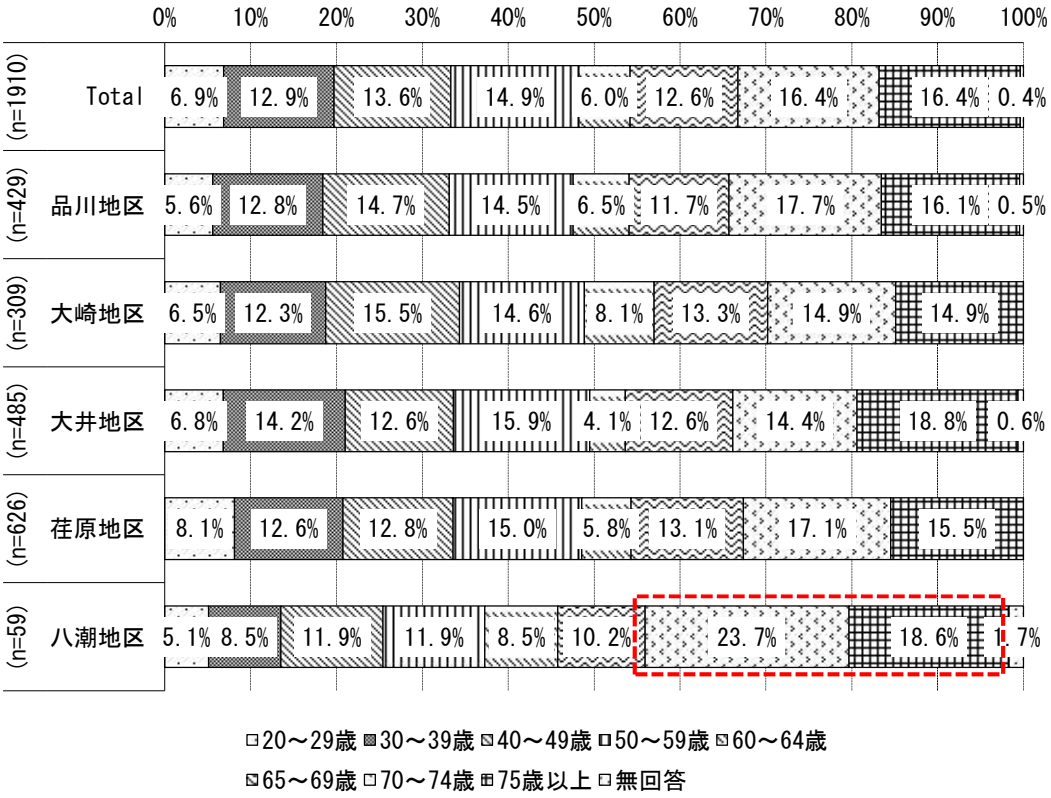
１．あなた自身のことについて

問１　年齢（令和４年９月１日現在）をお答えください。（１つに○）



「70～74 歳」、「75 歳以上」の割合が高く、それぞれ 16.4%となっている。次いで、「50～59 歳（14.9%）」、「40～49 歳（13.6%）」となっている。

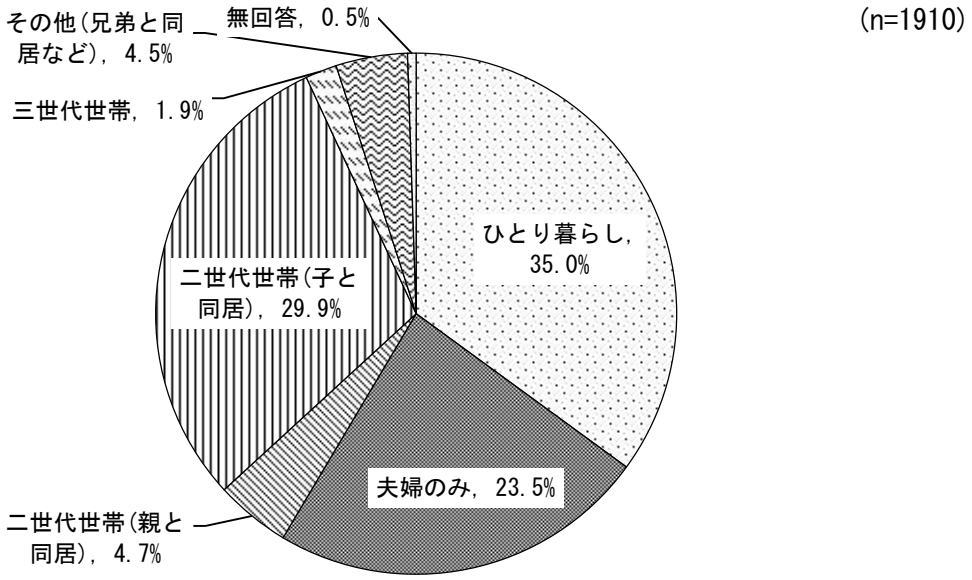
【問１_地区別】



地区別にみると、「八潮地区」では、「70～74 歳」の割合が 23.7%、「75 歳以上」が 18.6%と他の地区と比べ高く、「59 歳未満」の割合が 4 割以下という特徴がある。

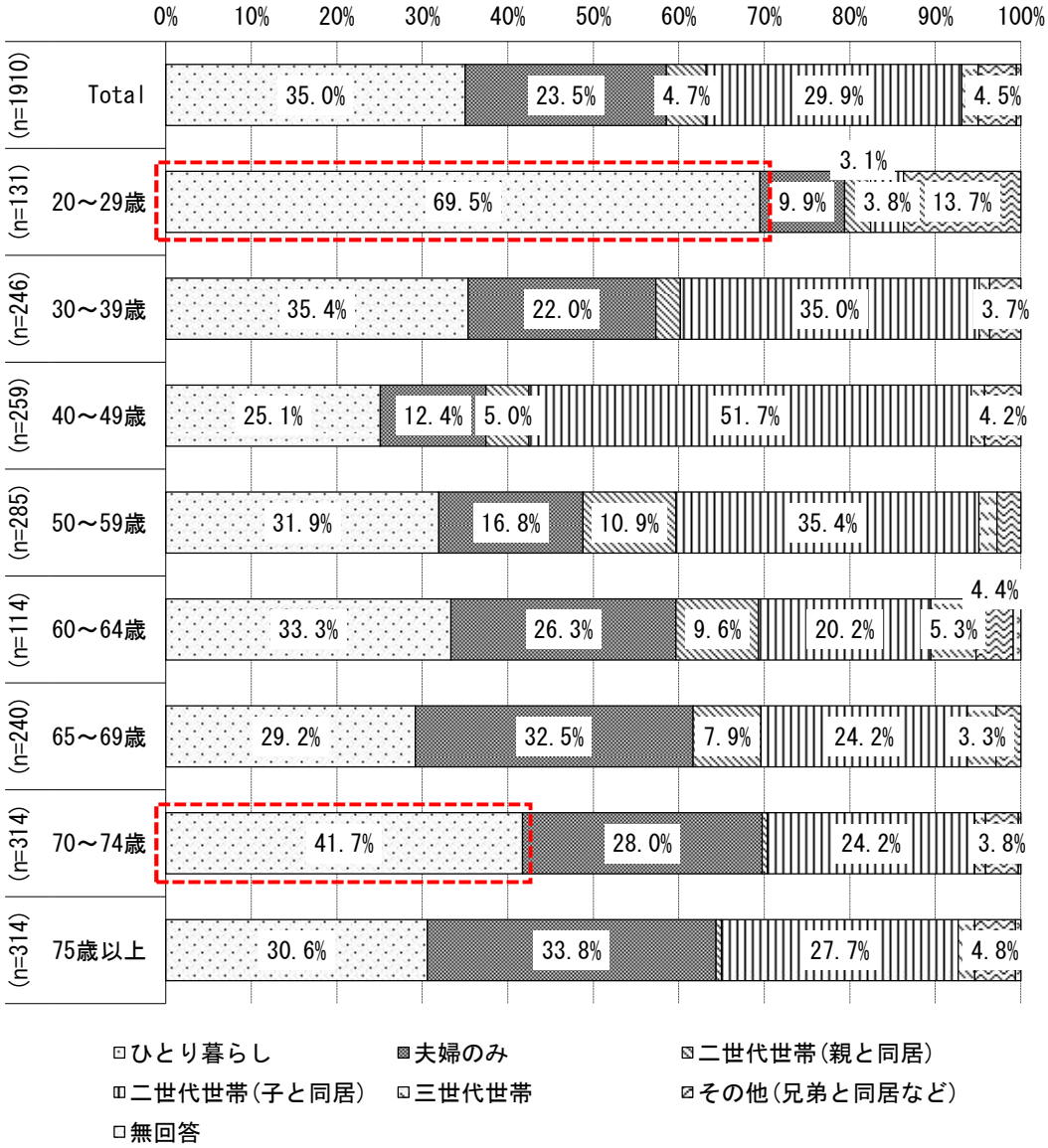
問２　世帯構成は次のどれですか。（１つに○）

※同一敷地または同一建物の場合は、同居としてお答えください。



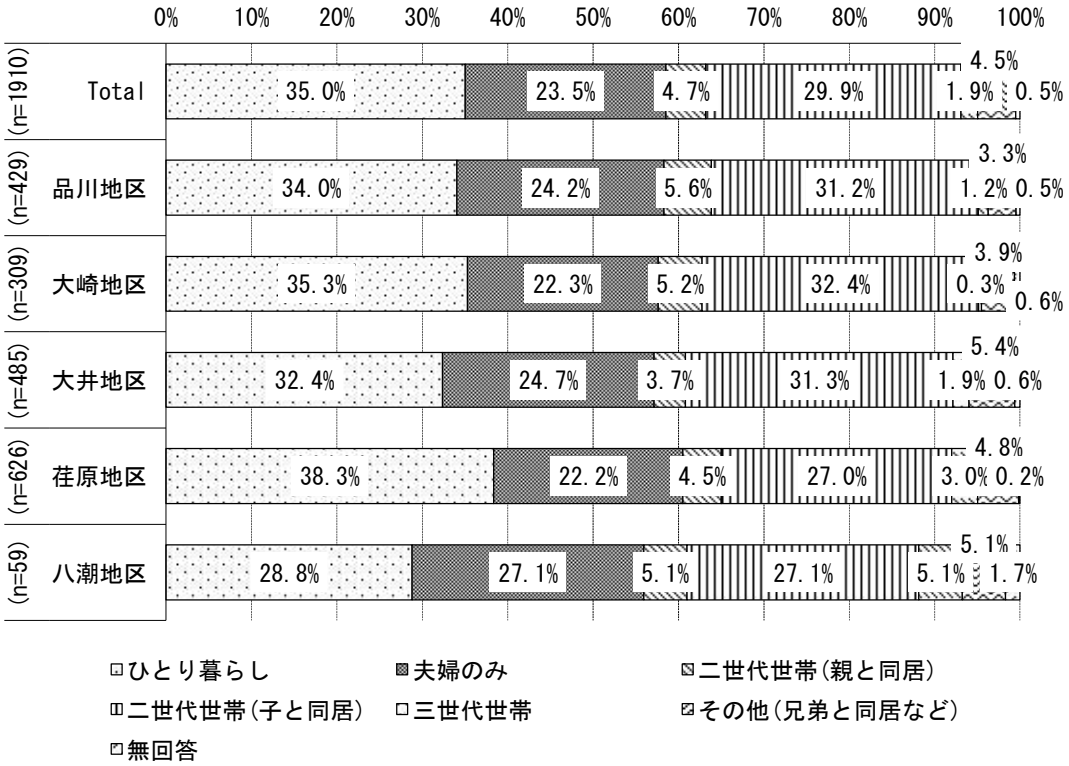
「ひとり暮らし」の割合が最も高く 35.0%となっている。次いで、「二世代世帯(子と同居)(29.9%)」、「夫婦のみ（23.5%)」となっている。

【問 2_年齢区分別】



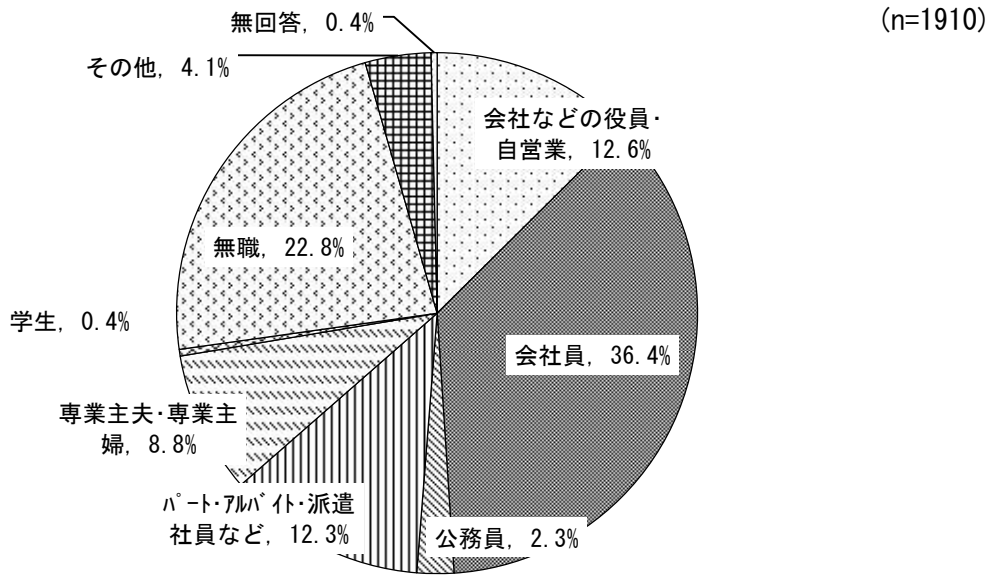
年齢区分別にみると、「20～29 歳」では「ひとり暮らし」が 69.5%ともっとも割合が高くなっている。また、「70～74 歳」でも「ひとり暮らし」が 41.7%ともっとも割合が高くなっている。

【問 2_地区別】



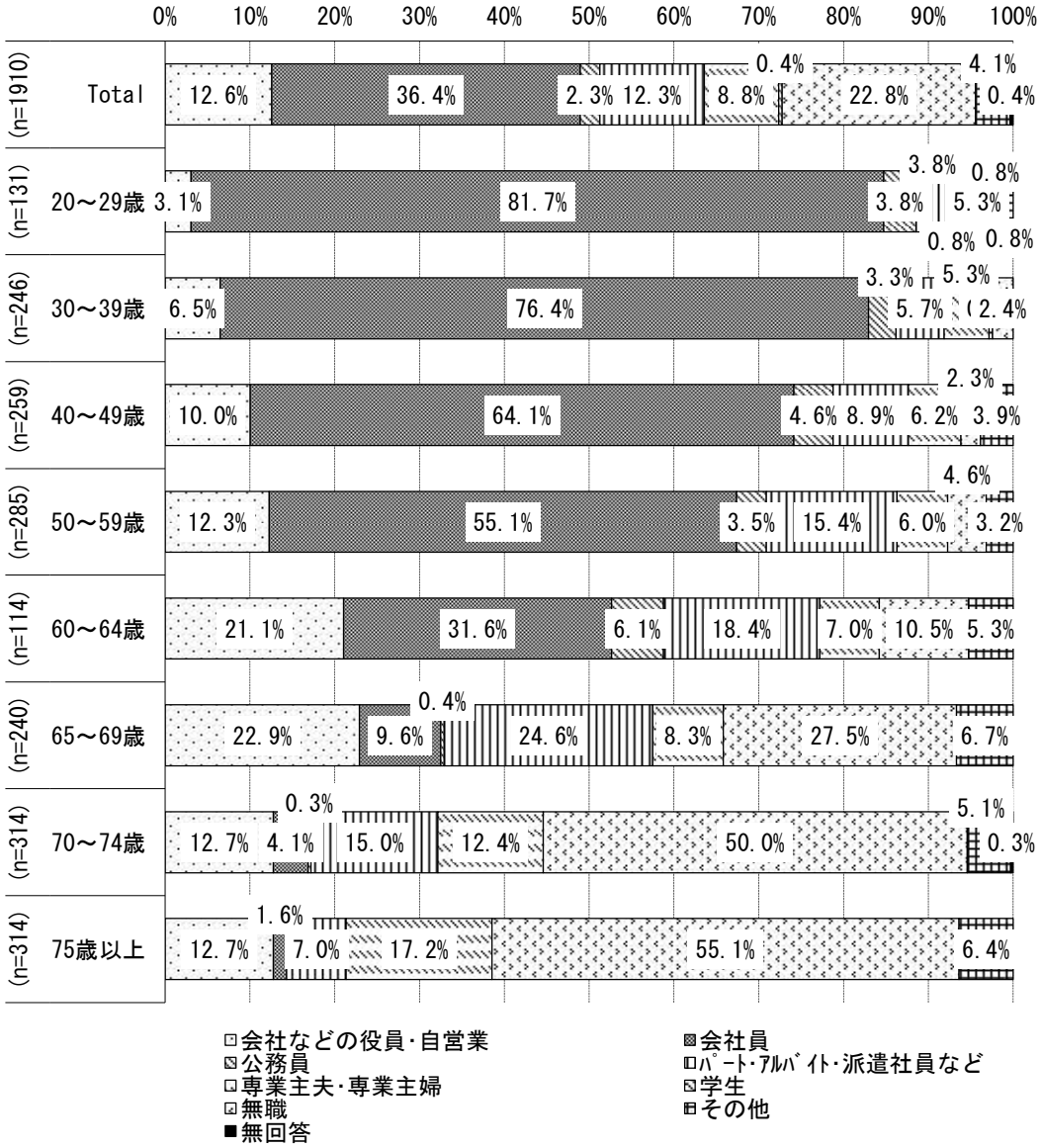
地区別にみると、いずれも「ひとり暮らし」の割合が最も高くなっているが、「荏原地区」では「ひとり暮らし」が 38.3%と他と比べ高くなっている。「八潮地区」では「夫婦のみ」の割合が他と比べ高くなっている。

問３　職業をお答えください。（主なもの１つに○）



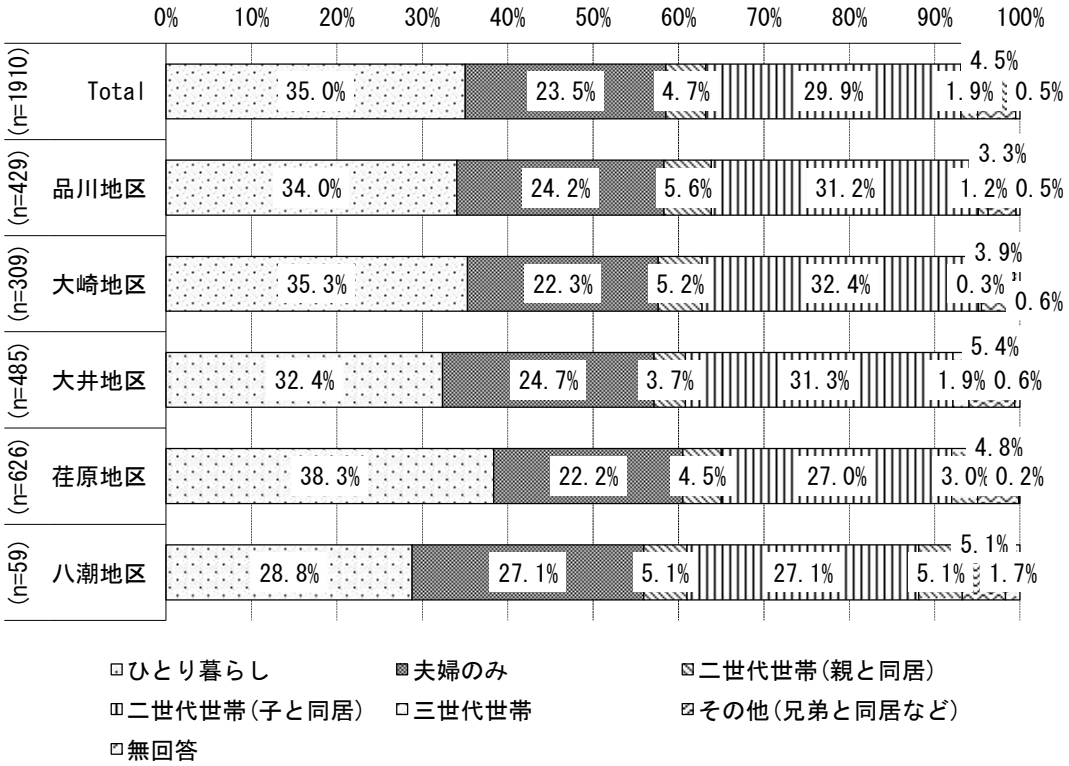
「会社員」の割合が最も高く 36.4%となっている。次いで、「無職（22.8%)」、「会社などの役員・自営業（12.6%)」となっている。

【問 3_年齢区分別】



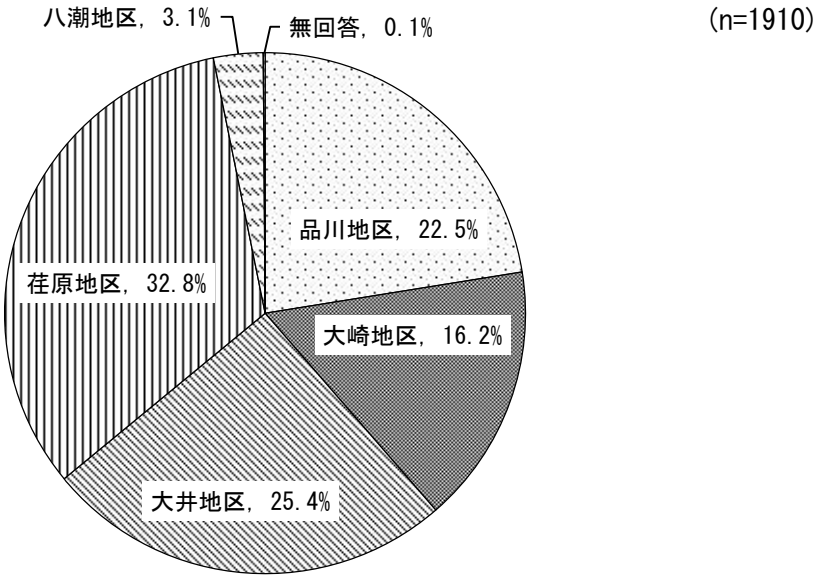
年齢区分別にみると、「65～69 歳」では「無職」が 27.5%ともっとも割合が高くなっており、「70～74 歳」、「75 歳以上」では 50.0%以上となっている。

【問３_地区別】



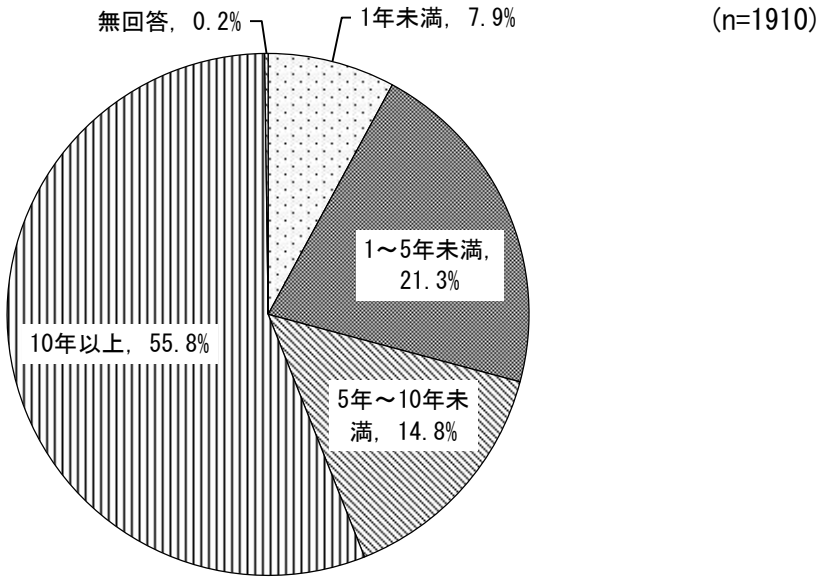
地区別にみると、いずれも「ひとり暮らし」の割合が最も高くなっているが、「荏原地区」では「ひとり暮らし」が 38.3%と他と比べ高く、「八潮地区」では「夫婦のみ」の割合が他と比べ高くなっている。

問４　お住まいの地区をお答えください。（１つに○）



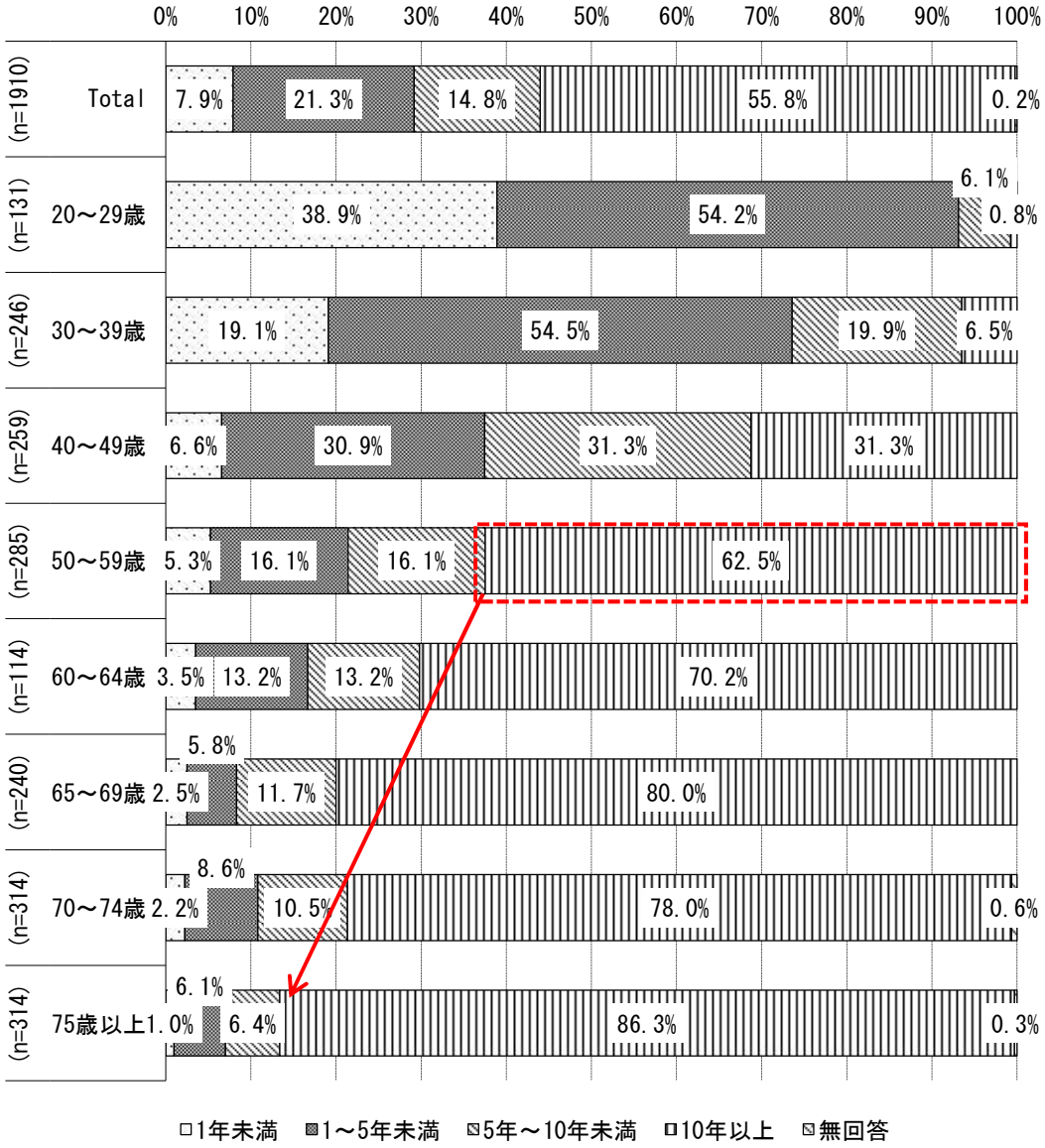
「品川地区」が 22.5%、「大崎地区」が 16.2%、「大井地区」が 25.4%、「荏原地区」が 32.8%、「八潮地区」が 3.1%となっている。

問５　現在お住まいの住居での居住年数（令和４年９月１日現在）をお答えください。
（１つに○）



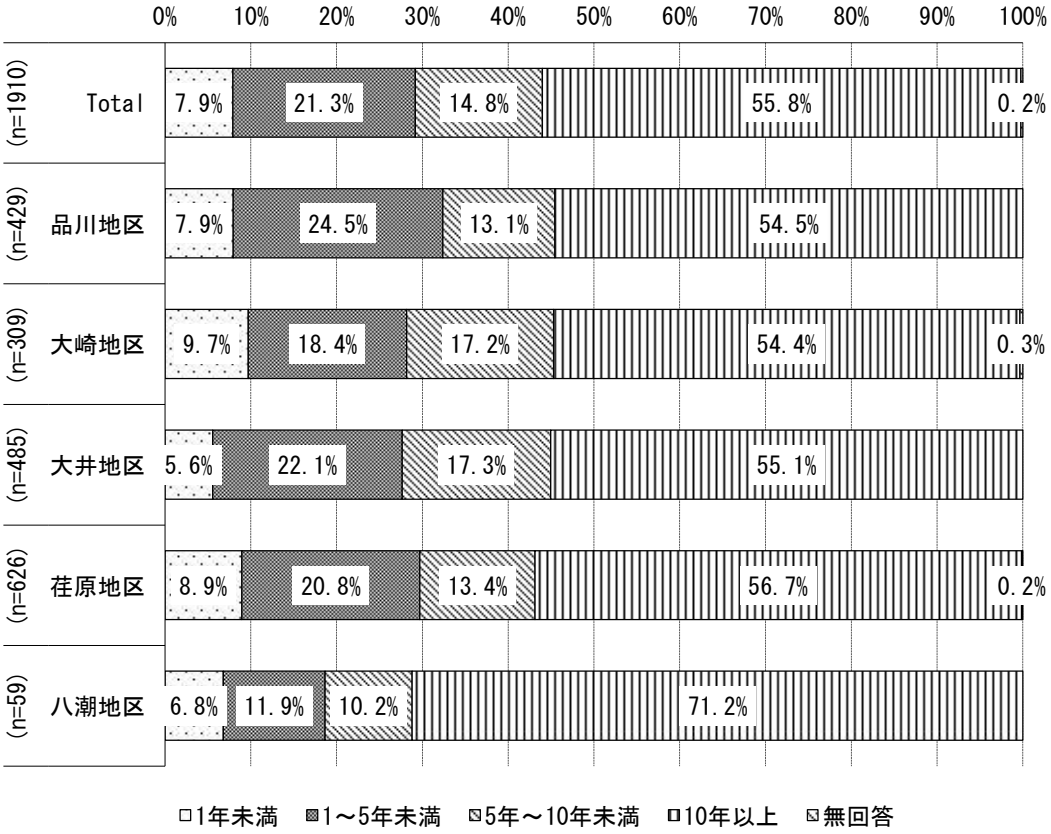
「10 年以上」の割合が最も高く 55.8%となっている。次いで、「1～5 年未満（21.3%)」、「5 年～10 年未満（14.8%)」となっている。

【問５_年齢区分別】



年齢区分別にみると、「50～59 歳」では「10 年以上」が 62.5%と半数以上となっており、年齢区分が高くなるほど、「10 年以上」の割合が高くなっている。

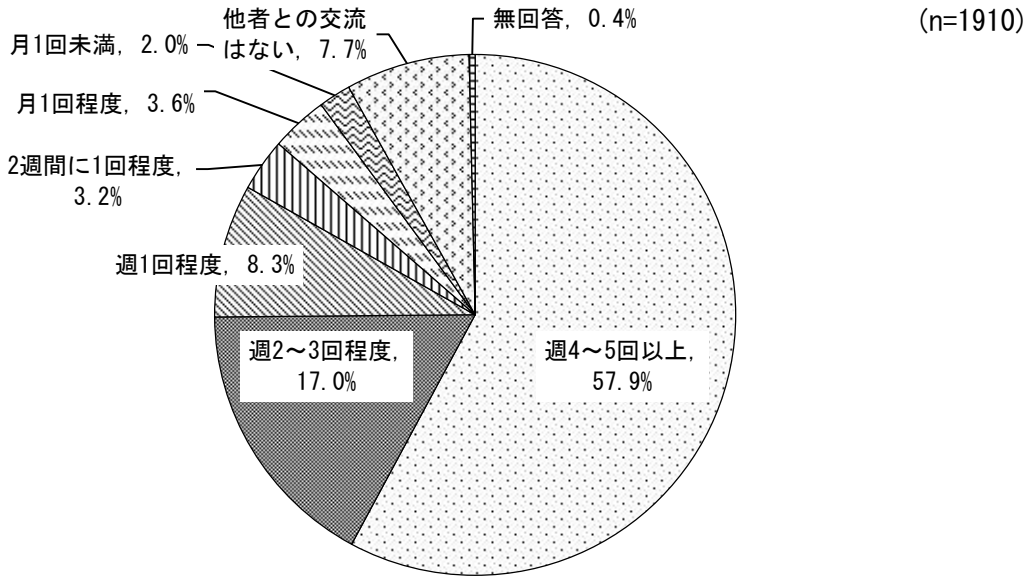
【問５_地区別】



地区別にみると、いずれも「10 年以上」の割合が最も高くなっているが、「八潮地区」では「10 年以上」の割合が他と比べ高く 71.2%となっている。

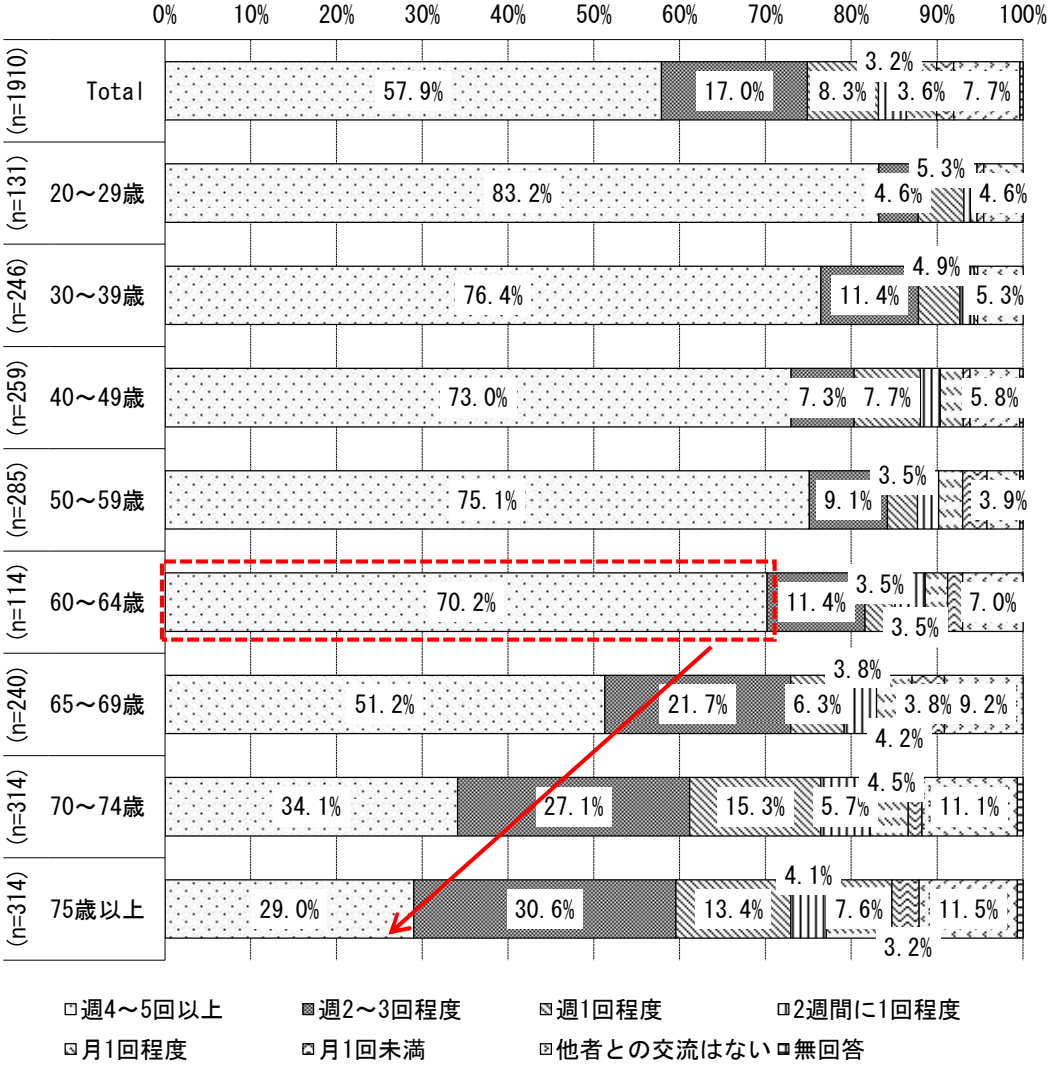
２．あなたの現在の暮らしについて

問６　あなたの、現在の他者との交流の頻度についてお答えください。（１つに○）
※仕事や学校、近所での付き合い、SNS 等のオンライン上での交流など、場所や手段は問いません。



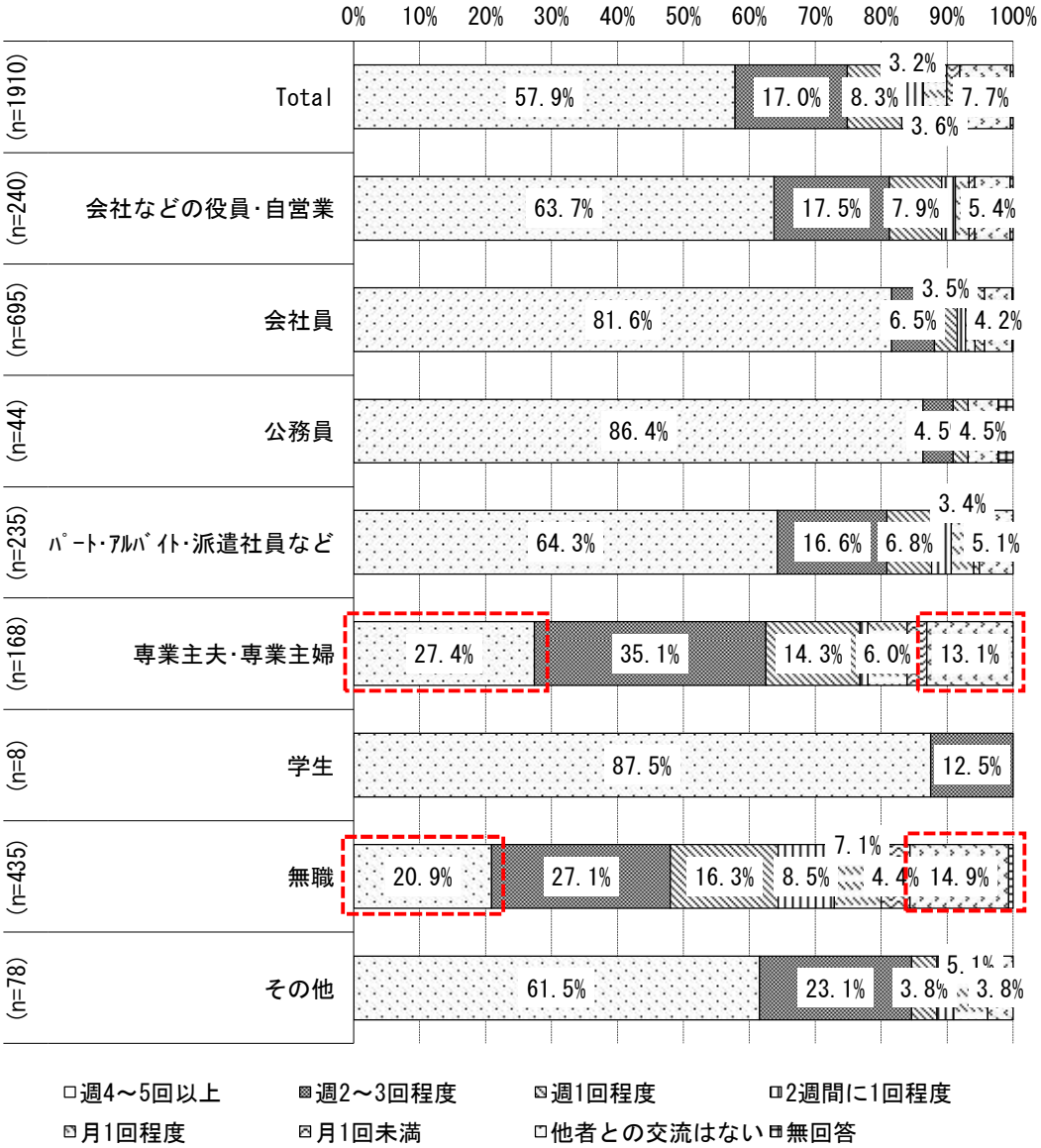
「週 4～5 回以上」の割合が最も高く 57.9%となっている。次いで、「週 2～3 回程度（17.0%）」、「週 1 回程度（8.3%）」となっている。

【問６_年齢区分別】



交流頻度を年齢区分別にみると、「60～64 歳」までの年齢層では、「週 4～5 回以上」の割合が 70%を超えているが、「65～69 歳」では「週 4～5 回以上」が 51.2%、「70～74 歳」では 34.1%、「75 歳以上」では 29.0%と年齢区分が低くなるほど、交流頻度が少なくなっている。

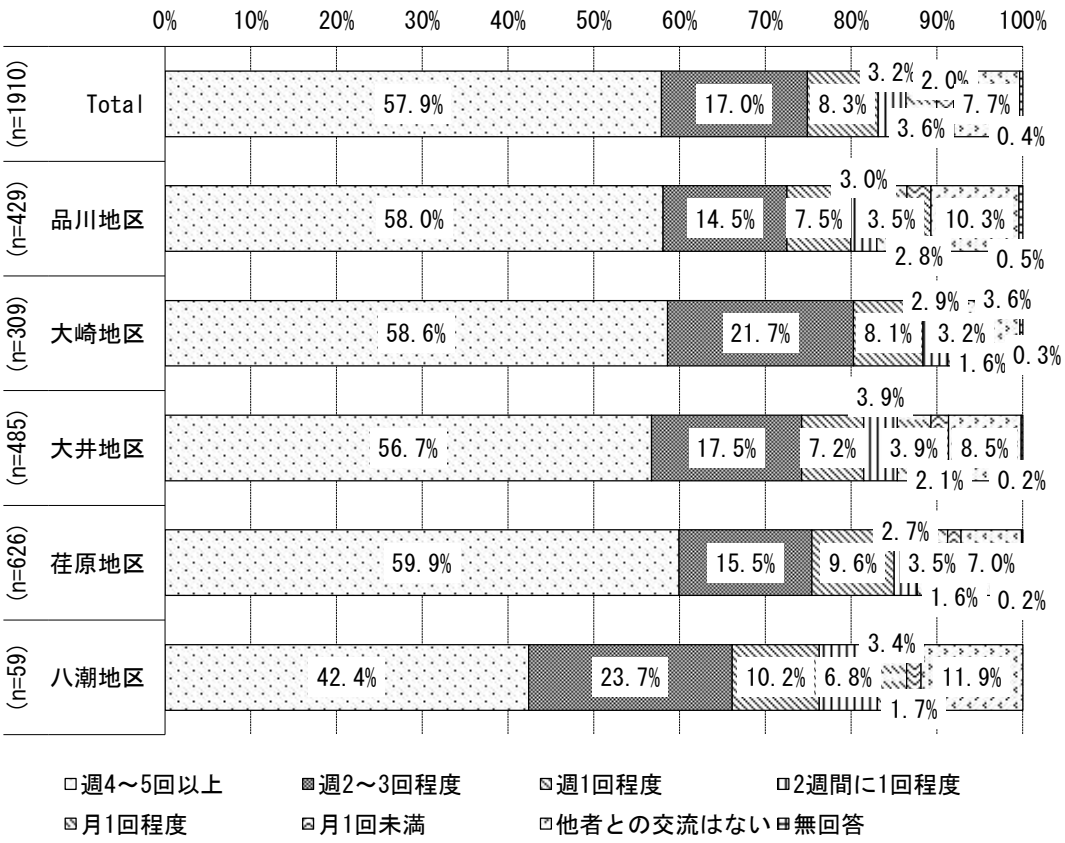
【問６_職業別】



※学生はｎ数が８件であり参考値

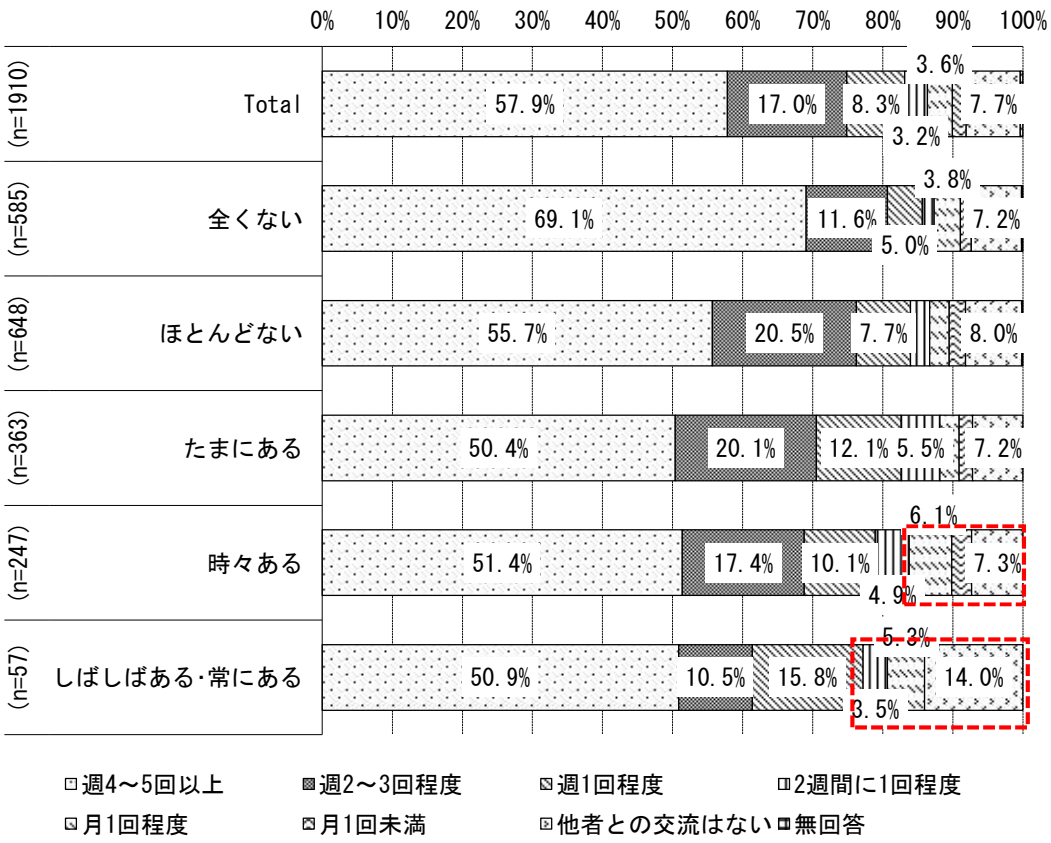
交流頻度を職業別にみると、「会社員」、「公務員」、「学生」では、「週 4～5 回以上」の割合が 80%を超えているが、「専業主夫・専業主婦」では「週 4～5 回以上」が 27.4%、「他者との交流はない」が 13.1%、「無職」では「週 4～5 回以上」が 20.9%、「他者との交流はない」が 14.9%となっている。

【問６_地区別】



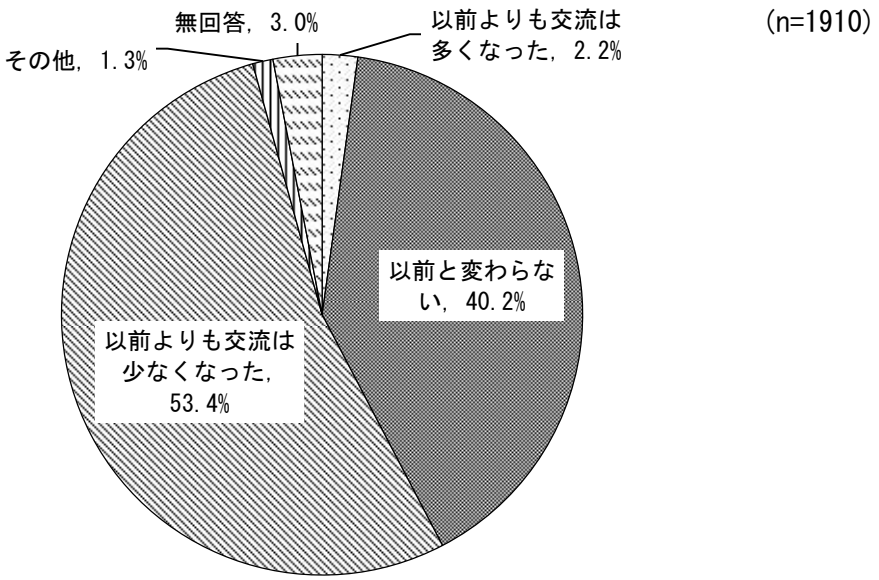
交流頻度を地区別にみると、いずれも「週 4～5 回以上」の割合が最も高くなっているが、「八潮地区」では「週 4～5 回以上」の割合が他と比べ低く、42.4%となっている。

【問６_孤独の状況別（問８）】



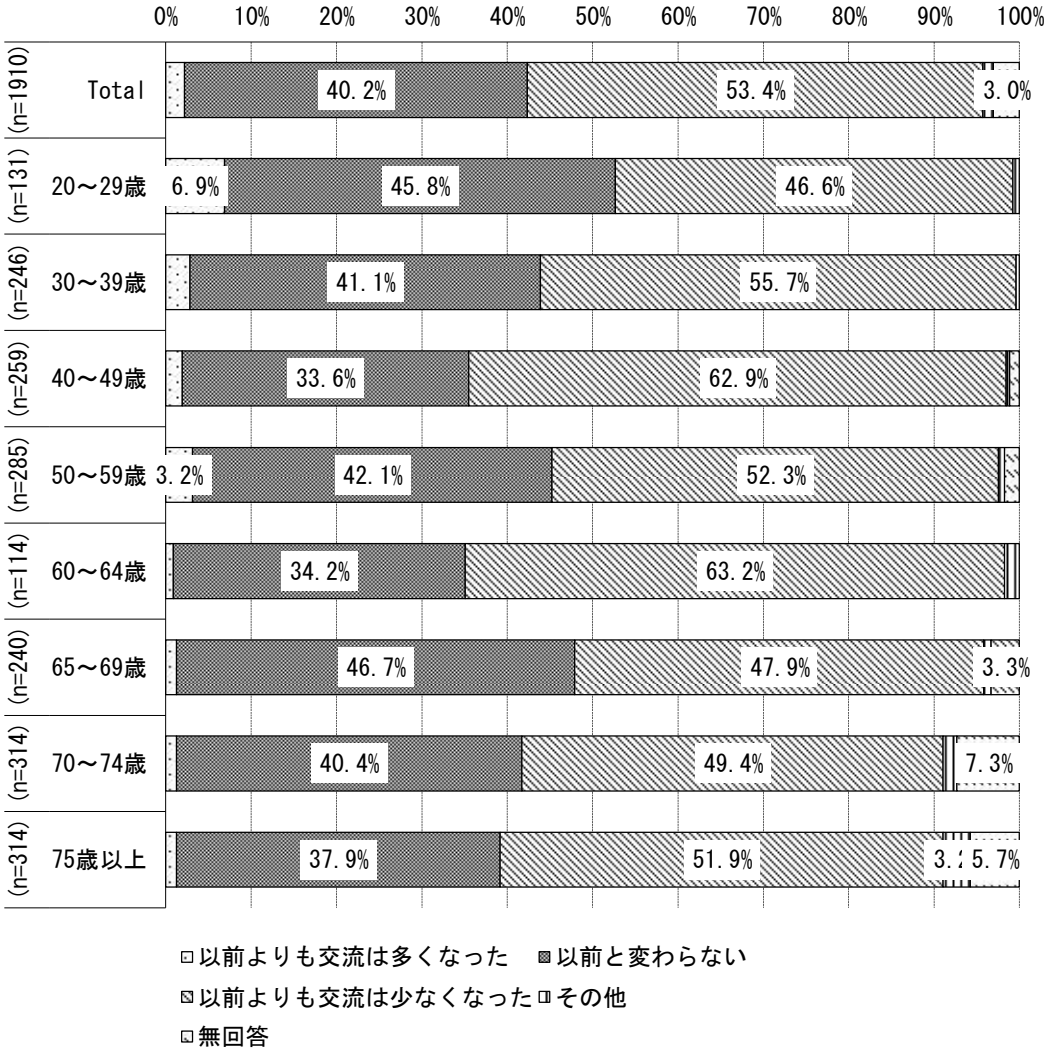
交流頻度を孤独の状況別にみると、いずれも「週 4～5 回以上」の割合が最も高くなっているが、孤独があると回答した人ほど、交流頻度が少ない区分の割合が高くなる傾向となっている。

問７　問６で回答した「他者との交流の頻度」は、新型コロナウイルス感染症の流行以前と比べ、どのように変化しましたか。（１つに○）



「以前よりも交流は少なくなった」の割合が最も高く 53.4%となっている。次いで、「以前と変わらない（40.2%)」、「以前よりも交流は多くなった（2.2%)」となっている。

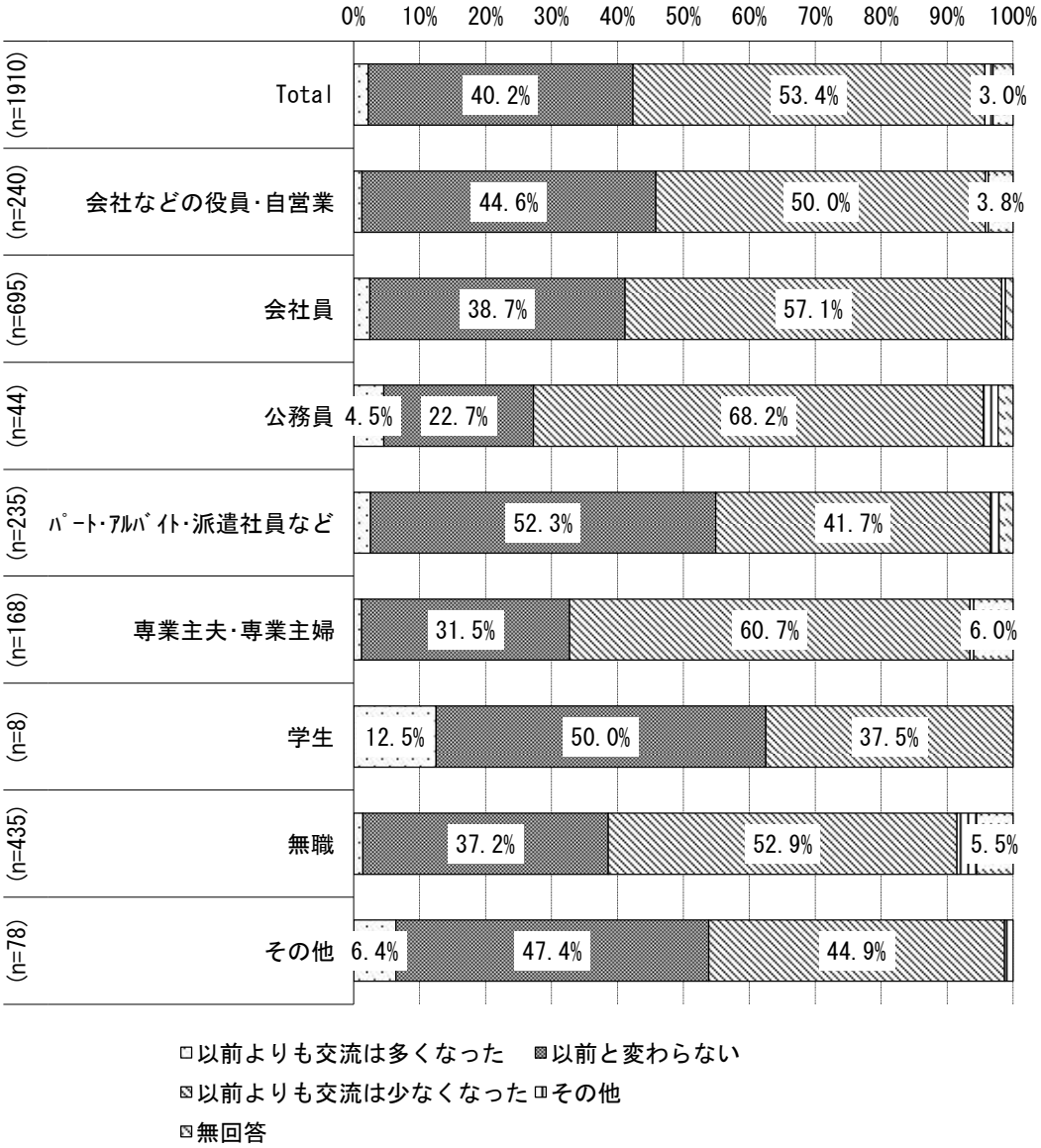
【問７_年齢区分別】



新型コロナウイルス感染症の流行以前との交流頻度の比較を年齢区分別にみると、どの年齢区分でも、「以前と変わらない」に比べ、「以前よりも交流は少なくなった」の割合が高くなっている。

特に、「40～49 歳」、「60～64 歳」では、「以前よりも交流は少なくなった」の割合が 6 割を超えている。

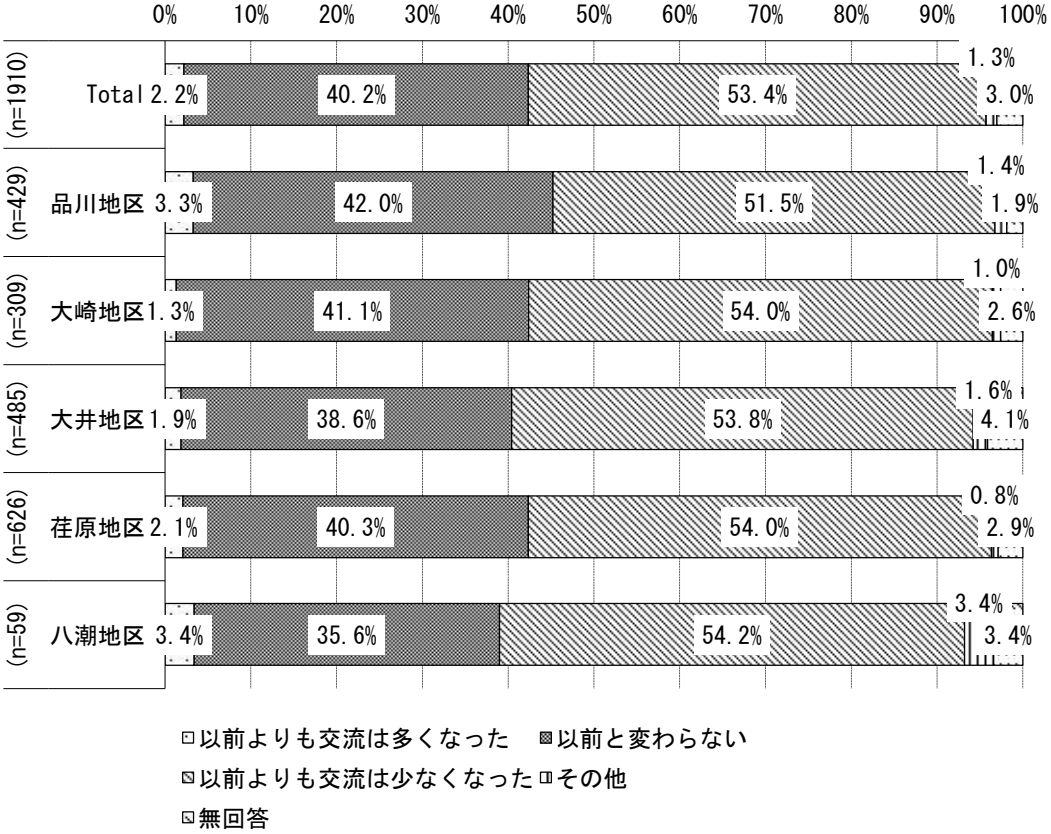
【問７_職業別】



※学生はｎ数が８件であり参考値

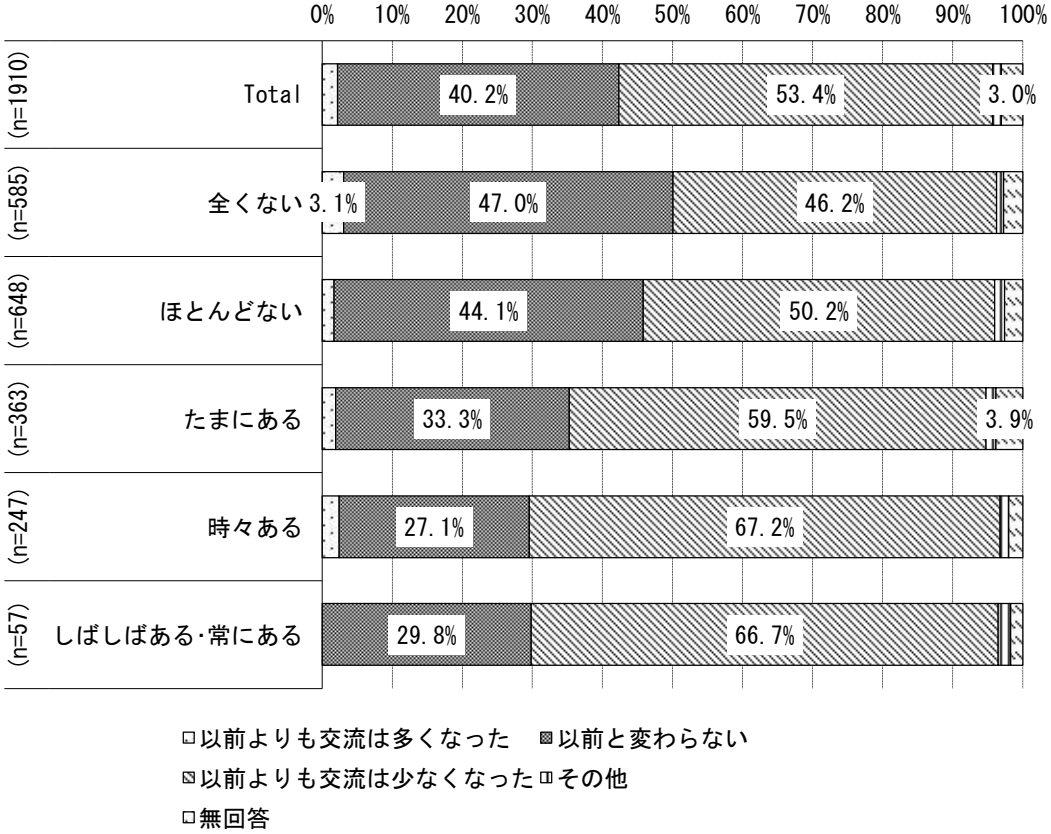
新型コロナウイルス感染症の流行以前との交流頻度の比較を職業別にみると、「パート・アルバイト・派遣社員など」、「学生」では、「以前と変わらない」の割合が最も高くなっている。それ以外の職業では、「以前よりも交流は少なくなった」の割合が高くなっており、特に「公務員」、「専業主夫・専業主婦」で「以前よりも交流は少なくなった」の割合が高くなっている。

【問７_地区別】



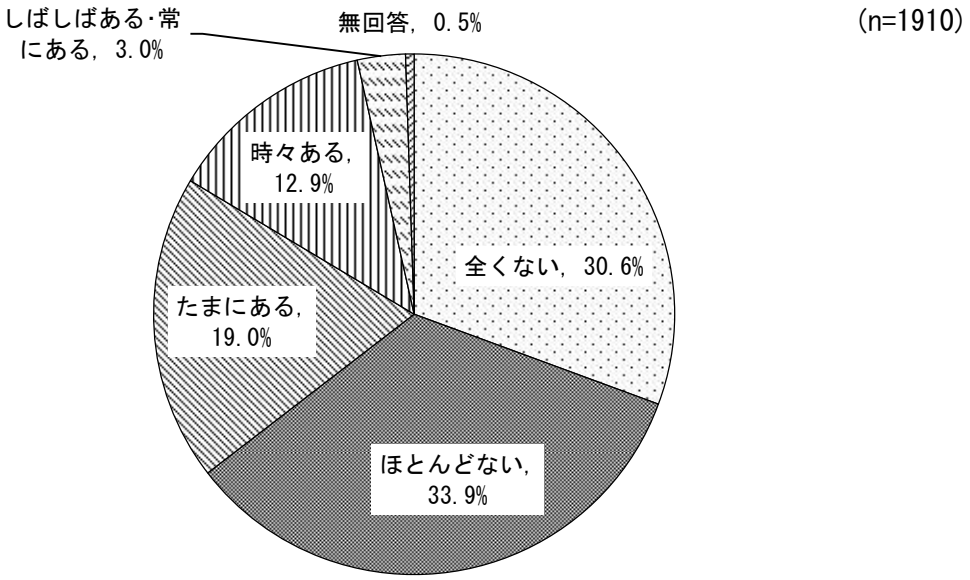
新型コロナウイルス感染症の流行以前との交流頻度の比較を地区別にみると、いずれも「以前よりも交流は少なくなった」の割合が最も高くなっており、地区による差は見られない。

【問７_孤独の状況別（問８）】



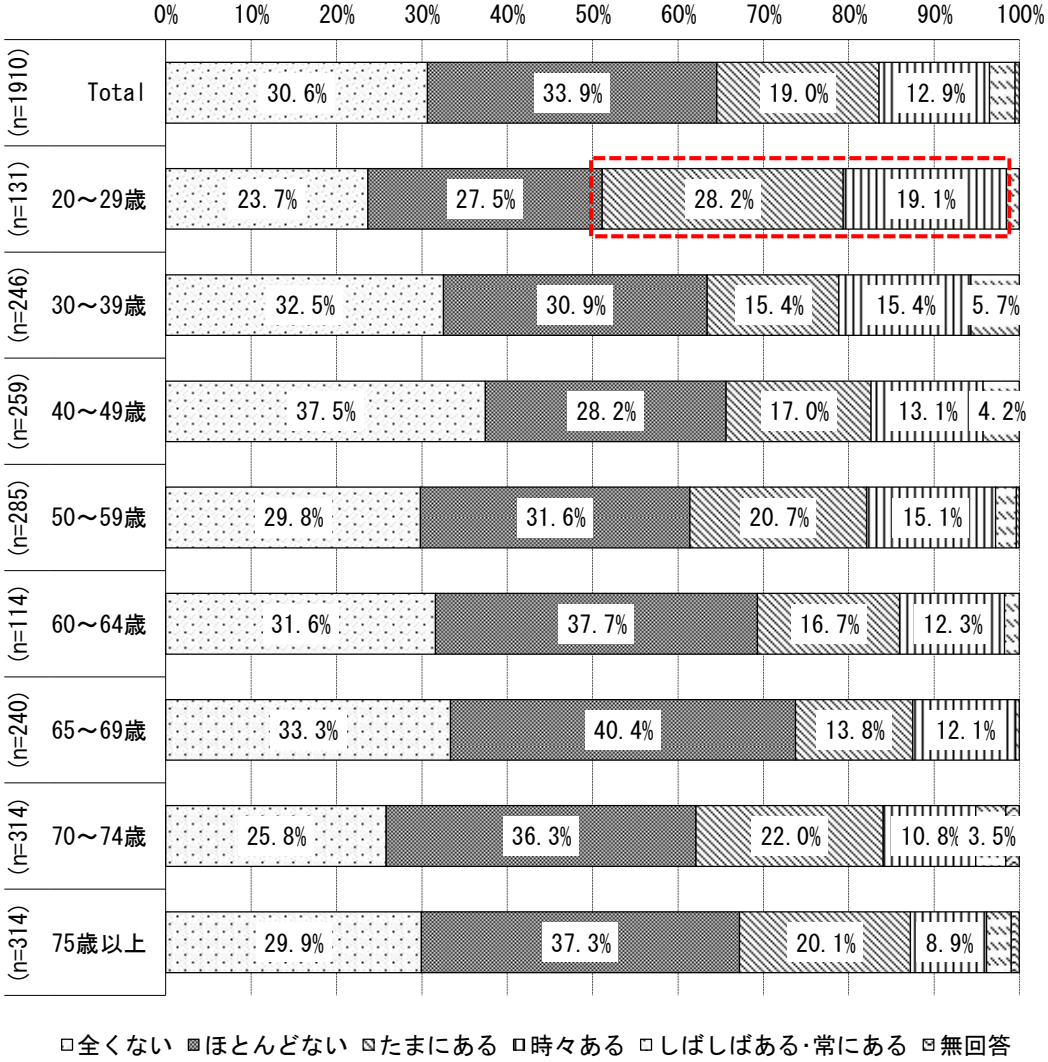
新型コロナウイルス感染症の流行以前との交流頻度の比較を孤独の状況別にみると、孤独があると回答した人ほど、「以前よりも交流は少なくなった」の割合が高くなる傾向が見られる。

問８　あなたは現在、どの程度、孤独であると感じることがありますか。（１つに○）



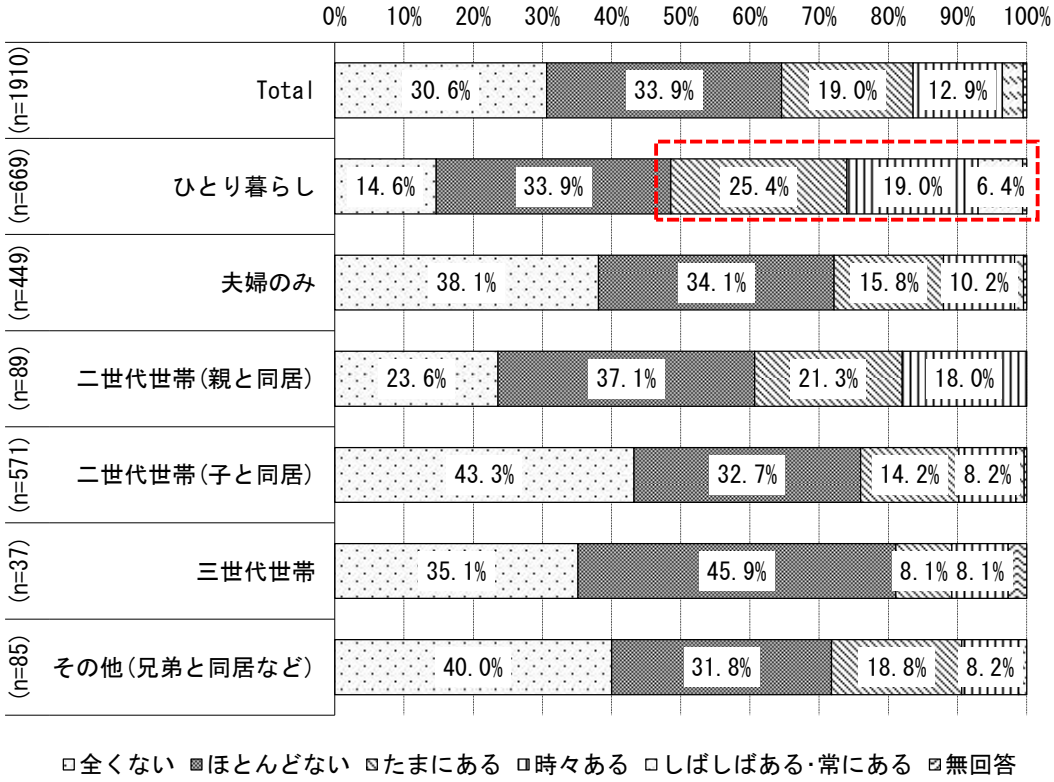
「ほとんどない」の割合が最も高く 33.9%となっている。次いで、「全くない（30.6%)」、「たまにある（19.0%)」、「時々ある（12.9%)」となっている。

【問８_年齢区分別】



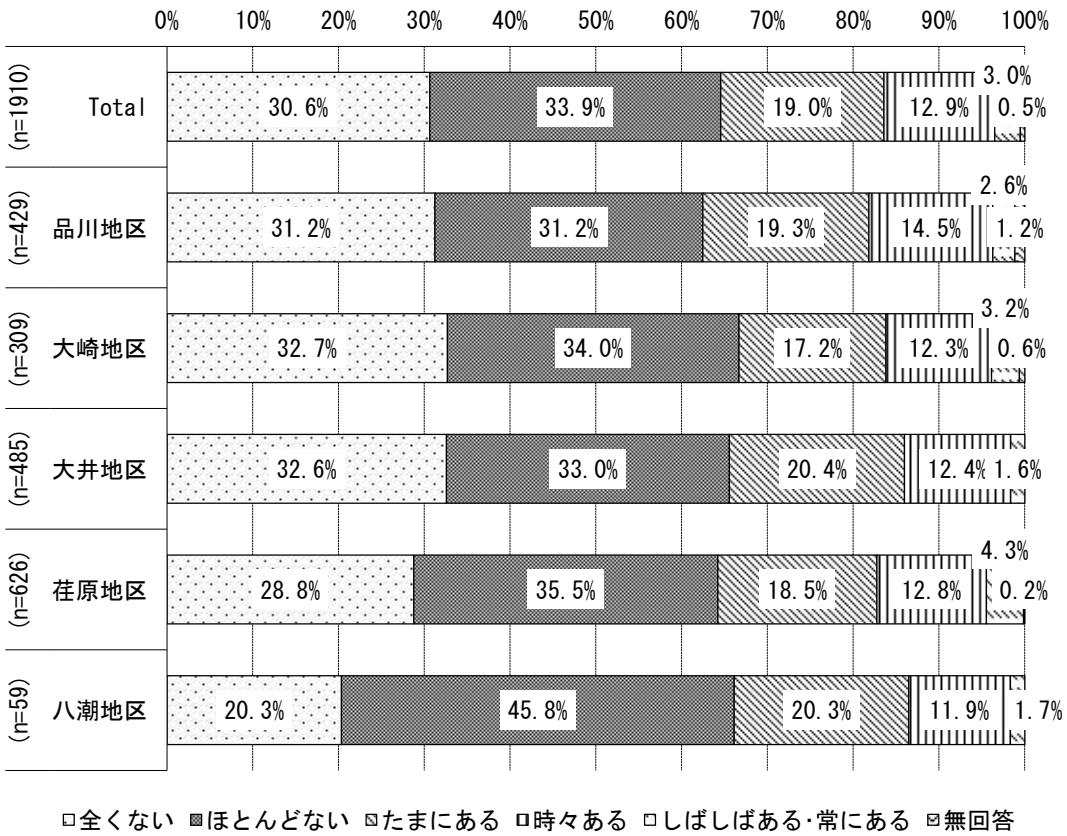
孤独感を年齢別にみると、高齢で孤独感があるとする割合が他の年齢区分と比べ特に高いという傾向はみられないが、「20～29 歳」では「たまにある」が 28.2%ともっとも割合が高く、「時々ある」の 19.1%と合わせると、5 割弱の人が「ある」と回答している。

【問８_世帯構成別】



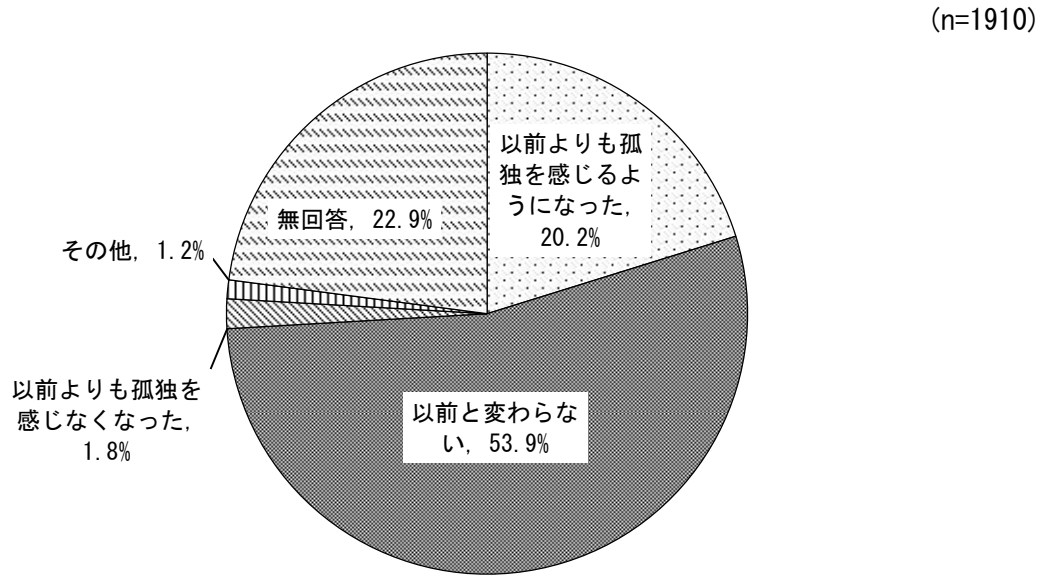
孤独感を世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」の世帯では「たまにある」が 25.4%、「時々ある」が 19.0%、「しばしばある・常にある」が 6.4%と、約５割の人が「ある」と回答しており、他の世帯構成と比べ割合が高くなっている。

【問８_地区別】



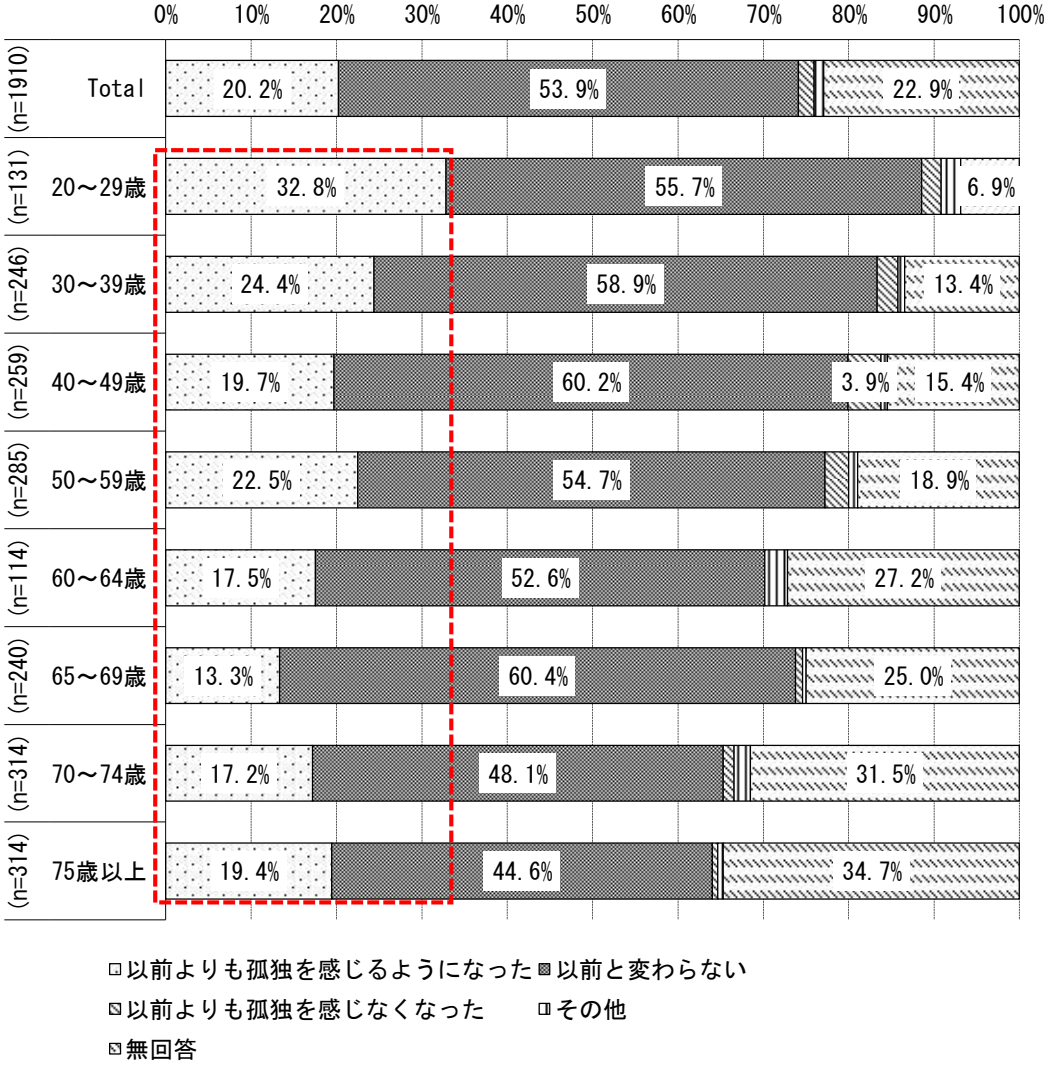
孤独感を地区別にみると、「八潮地区」では「全くない」の割合が他地区と比べ 20.3%と低くなっている。

問９　問８で回答した「孤独であると感じる」状況は、新型コロナウイルス感染症の流行以前と比べ、どのように変化しましたか。（１つに○）



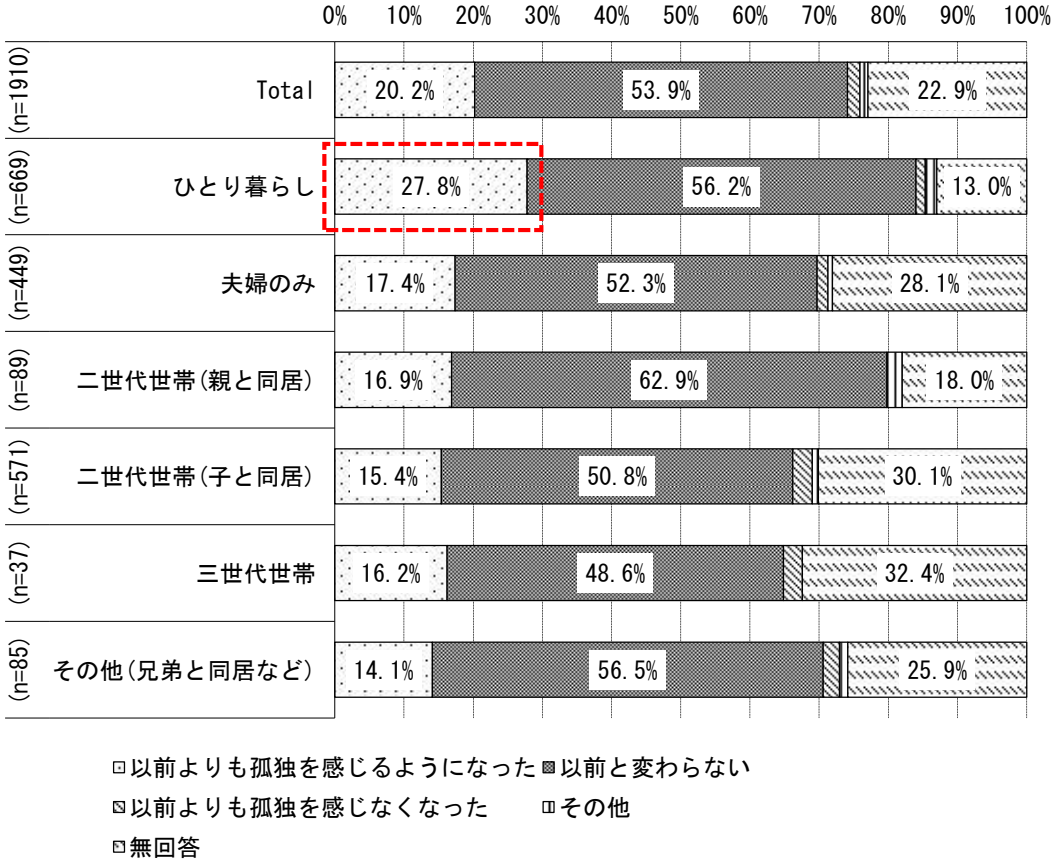
「以前と変わらない」の割合が最も高く 53.9%となっている。次いで、「以前よりも孤独を感じるようになった（20.2%)」、「以前よりも孤独を感じなくなった（1.8%)」となっている。

【問９_年齢区分別】



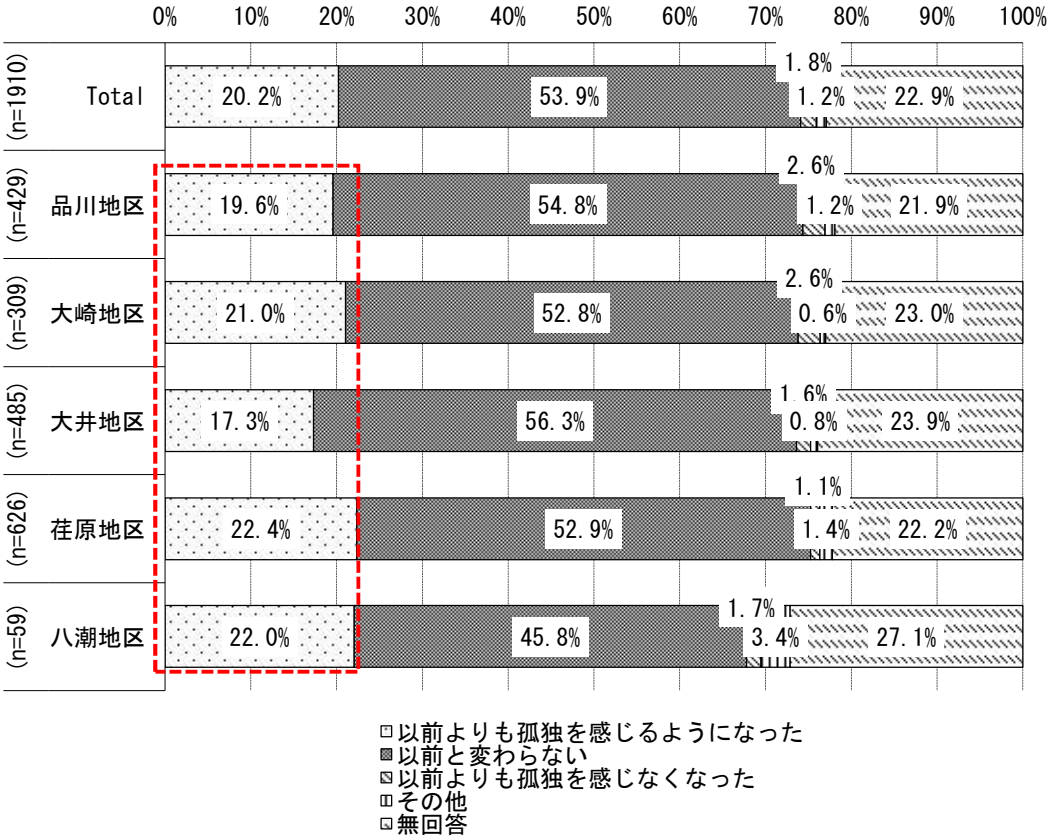
新型コロナウイルス感染症の流行以前との孤独感の比較を年齢別にみると、年齢区分が高いほど「無回答」の割合が高くなっており、全体の傾向を比較できないが、どの年齢区分でも「以前よりも孤独を感じるようになった」の割合が１割以上あり、特に「20～29 歳」では 32.8%が「以前よりも孤独を感じるようになった」と回答している。

【問９_世帯構成別】



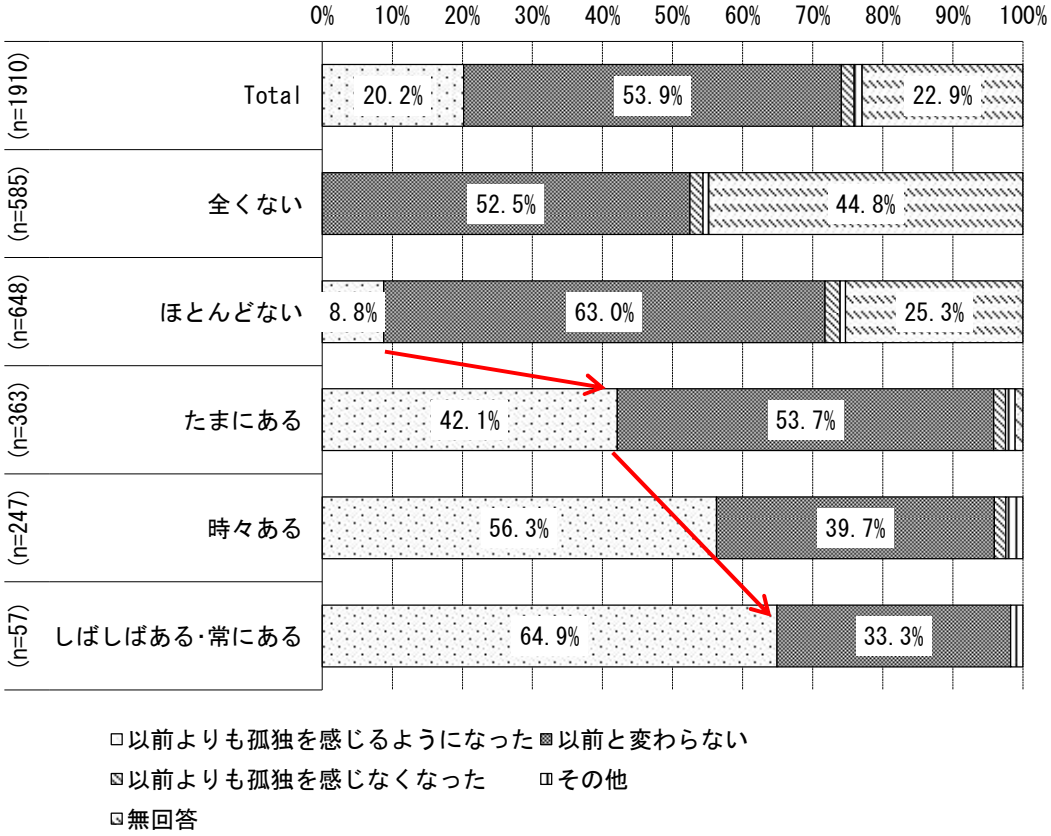
新型コロナウイルス感染症の流行以前との孤独感の比較を世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」では、「以前よりも孤独を感じるようになった」の割合が 27.8%となっている。

【問９_地区別】



新型コロナウイルス感染症の流行以前との孤独感の比較を地区別にみると、地区による差は見られず、いずれの地区でも「以前よりも孤独を感じるようになった」の割合が２割程度となっている。

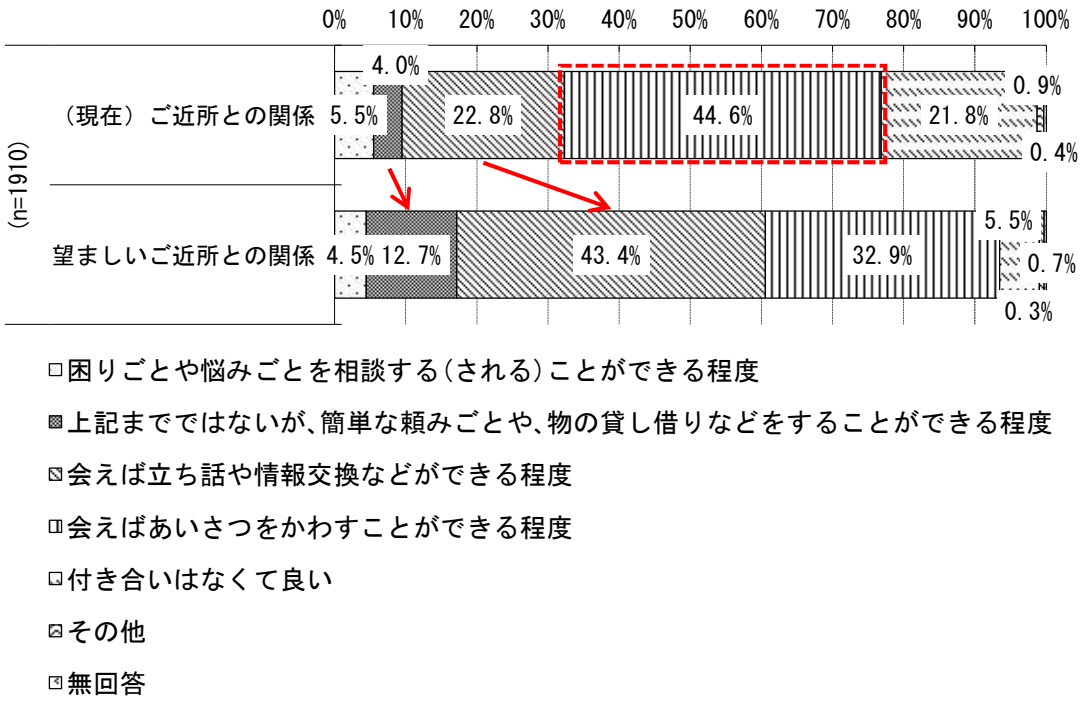
【問９_孤独の状況別】



現在の孤独の状況別に、新型コロナウイルス感染症の流行以前との孤独感の変化をみると、孤独があると回答した人ほど、「以前よりも孤独を感じるようになった」の割合が高くなる傾向が見られる。

問 10　あなたの、現在のご近所との関わり方についてお答えください。（１つに○）

問 11　あなたにとって望ましいと思うご近所との関わり方についてお答えください。（１つに○）



現在のご近所との関わり方では、「会えばあいさつをかわす程度」の割合が最も高く 44.6%となっている。次いで、「会えば立ち話や情報交換などをする程度（22.8%）」、「付き合いはほとんどない（21.8%）」となっている。

望ましいご近所との関係では、「会えば立ち話や情報交換などができる程度」の割合が最も高く 43.4%となっている。次いで、「会えばあいさつをかわすことができる程度（32.9%）」、「上記までではないが、簡単な頼みごとや、物の貸し借りなどをすることができる程度（12.7%）」となっている。

【問 10「あなたの、現在のご近所との関わり方」、問 11「あなたにとって望ましいと思うご近所との関わり方」の比較】

【問 10、11_年齢区分別】

	合計	困りごとや悩みごとを相談する(される)ことがある	上記までではないが、簡単な頼みごとや、物の貸し借りなどをすることがある	会えば立ち話や情報交換などをする程度	会えばあいさつをかわす程度	付き合いはほとんどない	その他	無回答
Total **（現在）**	1910	105	76	436	851	417	18	7
	100.0%	5.5%	4.0%	22.8%	44.6%	21.8%	0.9%	0.4%
Total **（望ましい）**	1910	85	243	829	628	106	13	6
	100.0%	4.5%	12.7%	43.4%	32.9%	5.5%	0.7%	0.3%
20～29歳（現在）	131	2	0	5	42	82	0	0
	100.0%	1.5%	0.0%	3.8%	32.1%	62.6%	0.0%	0.0%
20～29歳（望ましい）	131	1	9	33	66	21	1	0
	100.0%	0.8%	6.9%	25.2%	50.4%	16.0%	0.8%	0.0%
30～39歳（現在）	246	9	3	20	116	97	1	0
	100.0%	3.7%	1.2%	8.1%	47.2%	39.4%	0.4%	0.0%
30～39歳（望ましい）	246	10	29	82	103	21	1	0
	100.0%	4.1%	11.8%	33.3%	41.9%	8.5%	0.4%	0.0%
40～49歳（現在）	259	12	17	43	119	66	1	1
	100.0%	4.6%	6.6%	16.6%	45.9%	25.5%	0.4%	0.4%
40～49歳（望ましい）	259	14	40	94	86	23	2	0
	100.0%	5.4%	15.4%	36.3%	33.2%	8.9%	0.8%	0.0%
50～59歳（現在）	285	15	10	45	142	68	4	1
	100.0%	5.3%	3.5%	15.8%	49.8%	23.9%	1.4%	0.4%
50～59歳（望ましい）	285	7	35	131	93	16	3	0
	100.0%	2.5%	12.3%	46.0%	32.6%	5.6%	1.1%	0.0%
60～64歳（現在）	114	6	4	22	62	19	1	0
	100.0%	5.3%	3.5%	19.3%	54.4%	16.7%	0.9%	0.0%
60～64歳（望ましい）	114	5	17	47	40	4	1	0
	100.0%	4.4%	14.9%	41.2%	35.1%	3.5%	0.9%	0.0%
65～69歳（現在）	240	9	11	63	124	30	3	0
	100.0%	3.8%	4.6%	26.2%	51.7%	12.5%	1.3%	0.0%
65～69歳（望ましい）	240	8	32	109	79	12	0	0
	100.0%	3.3%	13.3%	45.4%	32.9%	5.0%	0.0%	0.0%
70～74歳（現在）	314	19	14	111	131	31	6	2
	100.0%	6.1%	4.5%	35.4%	41.7%	9.9%	1.9%	0.6%
70～74歳（望ましい）	314	14	46	164	79	7	2	2
	100.0%	4.5%	14.6%	52.2%	25.2%	2.2%	0.6%	0.6%
75歳以上（現在）	314	33	17	125	112	23	2	2
	100.0%	10.5%	5.4%	39.8%	35.7%	7.3%	0.6%	0.6%
75歳以上（望ましい）	314	26	35	167	78	2	3	3
	100.0%	8.3%	11.1%	53.2%	24.8%	0.6%	1.0%	1.0%

現在のご近所との関わり方と望ましい関わり方を年齢区分別にみると、「20～29 歳」では、現在の関わり方は「付き合いはほとんどない」の割合が 62.6%となっているが、望ましい関わり方では「付き合いはほとんどない」の割合は 16.0%となり、「会えば挨拶を交わす程度」が 50.4%、「会えば立ち話や情報交換などができる程度」が 25.2%となっている。

いずれの年代でも、現在の状況よりも関わり方を深めたいと考えている。

【問 10、11_居住年数別】

	合計	困りごとや悩みごとを相談する(される)ことがある	上記までではないが、簡単な頼みごとや、物の貸し借りなどをすることがある	会えば立ち話や情報交換などをする程度	会えばあいさつをかわす程度	付き合いはほとんどない	その他	無回答
Total	1910	105	76	436	851	417	18	7
	100.0%	5.5%	4.0%	22.8%	44.6%	21.8%	0.9%	0.4%
Total	1910	85	243	829	628	106	13	6
	100.0%	4.5%	12.7%	43.4%	32.9%	5.5%	0.7%	0.3%
1年未満	151	4	0	8	76	62	0	1
	100.0%	2.6%	0.0%	5.3%	50.3%	41.1%	0.0%	0.7%
1年未満	151	5	12	49	65	19	1	0
	100.0%	3.3%	7.9%	32.5%	43.0%	12.6%	0.7%	0.0%
1～5年未満	406	15	11	43	166	170	1	0
	100.0%	3.7%	2.7%	10.6%	40.9%	41.9%	0.2%	0.0%
1～5年未満	406	12	42	151	154	44	2	1
	100.0%	3.0%	10.3%	37.2%	37.9%	10.8%	0.5%	0.2%
5年～10年未満	283	13	11	57	129	66	6	1
	100.0%	4.6%	3.9%	20.1%	45.6%	23.3%	2.1%	0.4%
5年～10年未満	283	12	39	111	98	21	1	1
	100.0%	4.2%	13.8%	39.2%	34.6%	7.4%	0.4%	0.4%
10年以上	1066	73	54	328	479	118	11	3
	100.0%	6.8%	5.1%	30.8%	44.9%	11.1%	1.0%	0.3%
10年以上	1066	56	150	517	310	22	9	2
	100.0%	5.3%	14.1%	48.5%	29.1%	2.1%	0.8%	0.2%

現在のご近所との関わり方と望ましい関わり方を居住年数別にみると、現在のご近所との関わり方では、居住年数が長いほど、ご近所との関わりがある割合が高くなっており、「会えば立ち話や情報交換などをする程度」の割合は、「1 年未満」では 5.3%であるが、「10 年以上」では 30.8%となっている。

一方で、望ましい関わり方を見ると、「会えば立ち話や情報交換などをする程度」の割合は、「1 年未満」では 32.5%、「10 年以上」では 48.5%と、居住年数が短い区民であっても現在の状況よりも関わり方を深めたいと考えている。

【問 10、11_地区別】

	合計	困りごとや悩みごとを相談する(される)ことがある	上記までではないが、簡単な頼みごとや、物の貸し借りなどをすることがある	会えば立ち話や情報交換などをする程度	会えばあいさつをかわす程度	付き合いはほとんどない	その他	無回答
Total **（現在）**	1910	105	76	436	851	417	18	7
	100.0%	5.5%	4.0%	22.8%	44.6%	21.8%	0.9%	0.4%
Total **（望ましい）**	1910	85	243	829	628	106	13	6
	100.0%	4.5%	12.7%	43.4%	32.9%	5.5%	0.7%	0.3%
品川地区（現在）	429	35	19	83	193	93	2	4
	100.0%	8.2%	4.4%	19.3%	45.0%	21.7%	0.5%	0.9%
品川地区（望ましい）	429	28	54	178	140	26	2	1
	100.0%	6.5%	12.6%	41.5%	32.6%	6.1%	0.5%	0.2%
大崎地区（現在）	309	12	10	69	133	82	2	1
	100.0%	3.9%	3.2%	22.3%	43.0%	26.5%	0.6%	0.3%
大崎地区（望ましい）	309	11	38	128	110	16	3	3
	100.0%	3.6%	12.3%	41.4%	35.6%	5.2%	1.0%	1.0%
大井地区（現在）	485	26	12	113	226	103	5	0
	100.0%	5.4%	2.5%	23.3%	46.6%	21.2%	1.0%	0.0%
大井地区（望ましい）	485	17	55	225	160	27	1	0
	100.0%	3.5%	11.3%	46.4%	33.0%	5.6%	0.2%	0.0%
荏原地区（現在）	626	28	32	151	276	131	8	0
	100.0%	4.5%	5.1%	24.1%	44.1%	20.9%	1.3%	0.0%
荏原地区（望ましい）	626	26	87	268	205	35	5	0
	100.0%	4.2%	13.9%	42.8%	32.7%	5.6%	0.8%	0.0%
八潮地区（現在）	59	4	3	20	23	8	1	0
	100.0%	6.8%	5.1%	33.9%	39.0%	13.6%	1.7%	0.0%
八潮地区（望ましい）	59	3	9	30	13	2	2	0
	100.0%	5.1%	15.3%	50.8%	22.0%	3.4%	3.4%	0.0%

現在のご近所との関わり方と望ましい関わり方を地区別にみると、いずれの地区においても、現在の関わり方では「会えば挨拶を交わす程度」の割合が最も高いが、望ましい関わり方では「会えば立ち話や情報交換などができる程度」の割合が最も高くなっている。

【問 10、11_孤独の状況別】

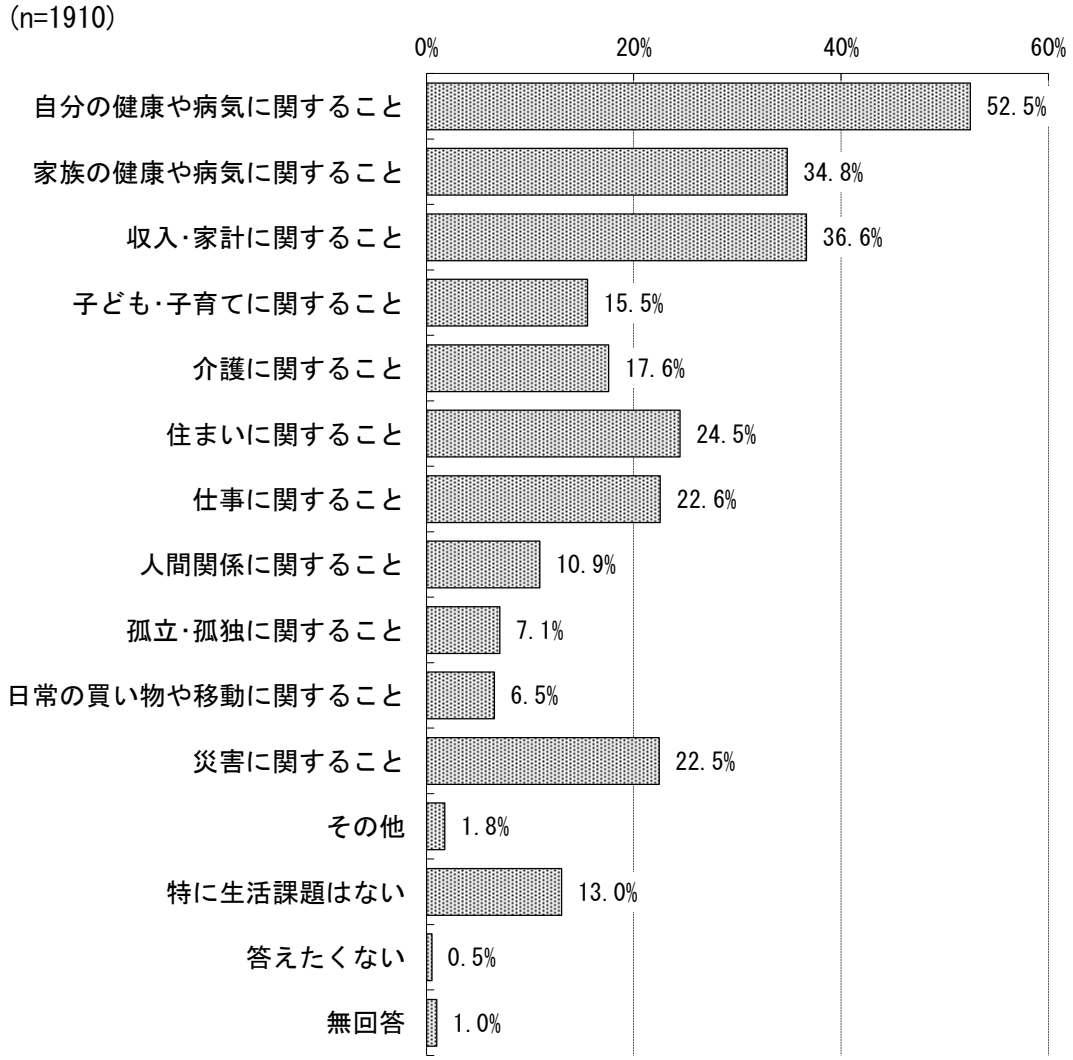
	合計	困りごとや悩みごとを相談する(される)ことがある	上記までではないが、簡単な頼みごとや、物の貸し借りなどをすることがある	会えば立ち話や情報交換などをする程度	会えばあいさつをかわす程度	付き合いはほとんどない	その他	無回答
Total **（現在）**	1910	105	76	436	851	417	18	7
	100.0%	5.5%	4.0%	22.8%	44.6%	21.8%	0.9%	0.4%
Total **（望ましい）**	1910	85	243	829	628	106	13	6
	100.0%	4.5%	12.7%	43.4%	32.9%	5.5%	0.7%	0.3%
全くない（現在）	585	58	33	135	262	93	4	0
	100.0%	9.9%	5.6%	23.1%	44.8%	15.9%	0.7%	0.0%
全くない（望ましい）	585	47	67	248	185	33	5	0
	100.0%	8.0%	11.5%	42.4%	31.6%	5.6%	0.9%	0.0%
ほとんどない（現在）	648	26	25	175	289	129	4	0
	100.0%	4.0%	3.9%	27.0%	44.6%	19.9%	0.6%	0.0%
ほとんどない（望ましい）	648	20	82	295	216	32	2	1
	100.0%	3.1%	12.7%	45.5%	33.3%	4.9%	0.3%	0.2%
たまにある（現在）	363	13	13	82	164	86	5	0
	100.0%	3.6%	3.6%	22.6%	45.2%	23.7%	1.4%	0.0%
たまにある（望ましい）	363	11	50	171	110	19	1	1
	100.0%	3.0%	13.8%	47.1%	30.3%	5.2%	0.3%	0.3%
時々ある（現在）	247	6	4	38	110	84	4	1
	100.0%	2.4%	1.6%	15.4%	44.5%	34.0%	1.6%	0.4%
時々ある（望ましい）	247	4	35	96	95	15	2	0
	100.0%	1.6%	14.2%	38.9%	38.5%	6.1%	0.8%	0.0%
しばしばある･常にある（現在）	57	1	1	6	25	23	1	0
	100.0%	1.8%	1.8%	10.5%	43.9%	40.4%	1.8%	0.0%
しばしばある･常にある（望ましい）	57	3	8	18	21	6	1	0
	100.0%	5.3%	14.0%	31.6%	36.8%	10.5%	1.8%	0.0%

現在のご近所との関わり方と望ましい関わり方を孤独の状況別にみると、現在の関わり方について「付き合いはほとんどない」の割合は、孤独が「しばしばある・常にある」人では 40.4%と孤独がある人ほど割合が高くなっている。

一方で、ご近所との望ましい関わり方としては、孤独の状況によらず、いずれも「会えば挨拶を交わす程度」、「会えば立ち話や情報交換などができる程度」の割合が高くなっている。

3．困ったときの相談について

問 12　あなたが、現在、日常生活を送る上で課題と感じることがあればお答えください。（あてはまるものすべてに○）



「自分の健康や病気に関すること」の割合が最も高く 52.5%となっている。次いで、「収入･家計に関すること（36.6%）」、「家族の健康や病気に関すること（34.8%）」となっている。

【問 12_年齢区分別】

	合計	自分の健康や病気に関すること	家族の健康や病気に関すること	収入・家計に関すること	子ども・子育てに関すること	介護に関すること	住まいに関すること	仕事に関すること	人間関係に関すること
Total	1910	1002	665	700	297	336	467	431	209
	100.0%	52.5%	34.8%	36.6%	15.5%	17.6%	24.5%	22.6%	10.9%
20～29歳	131	53	22	77	17	4	24	51	22
	100.0%	40.5%	16.8%	58.8%	13.0%	3.1%	18.3%	38.9%	16.8%
30～39歳	246	93	78	136	106	24	61	85	48
	100.0%	37.8%	31.7%	55.3%	43.1%	9.8%	24.8%	34.6%	19.5%
40～49歳	259	110	104	115	97	39	86	80	41
	100.0%	42.5%	40.2%	44.4%	37.5%	15.1%	33.2%	30.9%	15.8%
50～59歳	285	154	109	109	52	68	92	104	34
	100.0%	54.0%	38.2%	38.2%	18.2%	23.9%	32.3%	36.5%	11.9%
60～64歳	114	70	48	55	7	31	41	35	11
	100.0%	61.4%	42.1%	48.2%	6.1%	27.2%	36.0%	30.7%	9.6%
65～69歳	240	131	86	71	5	47	53	39	13
	100.0%	54.6%	35.8%	29.6%	2.1%	19.6%	22.1%	16.2%	5.4%
70～74歳	314	204	104	77	7	51	67	25	21
	100.0%	65.0%	33.1%	24.5%	2.2%	16.2%	21.3%	8.0%	6.7%
75歳以上	314	184	113	57	6	70	41	11	18
	100.0%	58.6%	36.0%	18.2%	1.9%	22.3%	13.1%	3.5%	5.7%

	合計	孤立・孤独に関すること	日常の買い物や移動に関すること	災害に関すること	その他	特に生活課題はない	答えたくない	無回答
Total	1910	135	125	429	34	249	10	19
	100.0%	7.1%	6.5%	22.5%	1.8%	13.0%	0.5%	1.0%
20～29歳	131	10	14	23	0	12	0	0
	100.0%	7.6%	10.7%	17.6%	0.0%	9.2%	0.0%	0.0%
30～39歳	246	20	18	66	1	23	1	0
	100.0%	8.1%	7.3%	26.8%	0.4%	9.3%	0.4%	0.0%
40～49歳	259	19	17	62	5	31	1	1
	100.0%	7.3%	6.6%	23.9%	1.9%	12.0%	0.4%	0.4%
50～59歳	285	28	14	72	9	36	2	2
	100.0%	9.8%	4.9%	25.3%	3.2%	12.6%	0.7%	0.7%
60～64歳	114	7	7	33	3	5	2	1
	100.0%	6.1%	6.1%	28.9%	2.6%	4.4%	1.8%	0.9%
65～69歳	240	8	8	45	3	46	1	2
	100.0%	3.3%	3.3%	18.8%	1.3%	19.2%	0.4%	0.8%
70～74歳	314	28	24	68	7	38	2	3
	100.0%	8.9%	7.6%	21.7%	2.2%	12.1%	0.6%	1.0%
75歳以上	314	14	22	58	6	56	1	9
	100.0%	4.5%	7.0%	18.5%	1.9%	17.8%	0.3%	2.9%

日常生活での課題を年齢区分別にみると、「自分の健康や病気に関すること」では 50 歳以上の世代で 5 割以上となっている。

「収入・家計に関すること」では、「30～39 歳」、「40～49 歳」で割合が高く、「子ども・子育てに関すること」について、年齢区分が低い年齢層の割合が高い傾向がみられる。

「災害に関すること」では、いずれの年代でも、2 割程度となっている。

【問 12_地区別】

	合計	自分の健康や病気に関すること	家族の健康や病気に関すること	収入・家計に関すること	子ども・子育てに関すること	介護に関すること	住まいに関すること	仕事に関すること	人間関係に関すること
Total	1910	1002	665	700	297	336	467	431	209
	100.0%	52.5%	34.8%	36.6%	15.5%	17.6%	24.5%	22.6%	10.9%
品川地区	429	227	147	155	60	84	104	89	46
	100.0%	52.9%	34.3%	36.1%	14.0%	19.6%	24.2%	20.7%	10.7%
大崎地区	309	149	103	108	51	45	65	63	36
	100.0%	48.2%	33.3%	35.0%	16.5%	14.6%	21.0%	20.4%	11.7%
大井地区	485	240	171	165	82	77	112	106	51
	100.0%	49.5%	35.3%	34.0%	16.9%	15.9%	23.1%	21.9%	10.5%
荏原地区	626	348	223	243	97	121	175	157	66
	100.0%	55.6%	35.6%	38.8%	15.5%	19.3%	28.0%	25.1%	10.5%
八潮地区	59	37	21	29	7	9	11	16	10
	100.0%	62.7%	35.6%	49.2%	11.9%	15.3%	18.6%	27.1%	16.9%

	合計	孤立・孤独に関すること	日常の買い物や移動に関すること	災害に関すること	その他	特に生活課題はない	答えたくない	無回答
Total	1910	135	125	429	34	249	10	19
	100.0%	7.1%	6.5%	22.5%	1.8%	13.0%	0.5%	1.0%
品川地区	429	33	31	105	8	47	2	9
	100.0%	7.7%	7.2%	24.5%	1.9%	11.0%	0.5%	2.1%
大崎地区	309	22	17	75	3	53	2	1
	100.0%	7.1%	5.5%	24.3%	1.0%	17.2%	0.6%	0.3%
大井地区	485	26	39	112	9	71	0	3
	100.0%	5.4%	8.0%	23.1%	1.9%	14.6%	0.0%	0.6%
荏原地区	626	49	34	128	13	71	5	5
	100.0%	7.8%	5.4%	20.4%	2.1%	11.3%	0.8%	0.8%
八潮地区	59	5	4	9	1	7	1	0
	100.0%	8.5%	6.8%	15.3%	1.7%	11.9%	1.7%	0.0%

日常生活での課題を地区別にみると、「八潮地区」では、「自分の健康や病気に関すること」、「収入・家計に関すること」、「人間関係に関すること」の割合が、他の地区に比べ高くなっている。

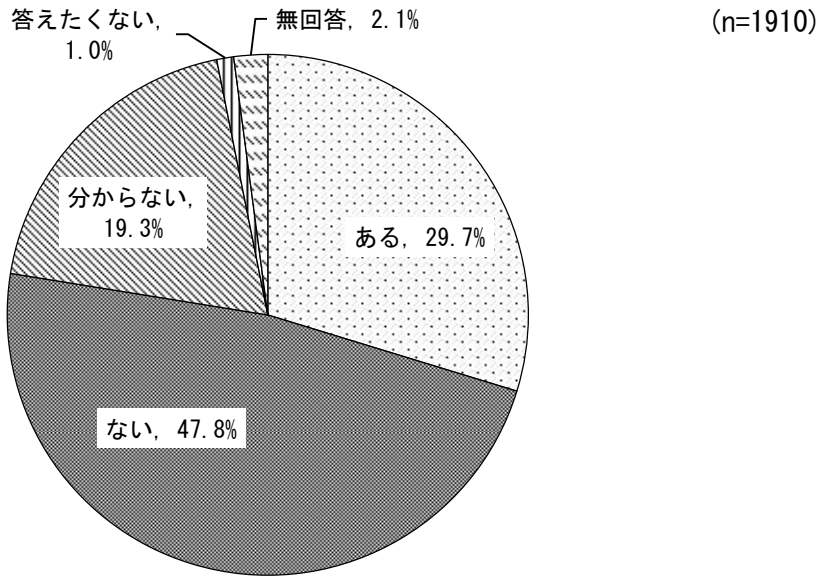
【問 12_孤独の状況別】

	合計	自分の健康や病気に関すること	家族の健康や病気に関すること	収入・家計に関すること	子ども・子育てに関すること	介護に関すること	住まいに関すること	仕事に関すること	人間関係に関すること
Total	1910	1002	665	700	297	336	467	431	20
	100.0%	52.5%	34.8%	36.6%	15.5%	17.6%	24.5%	22.6%	10.9
全くない	585	233	207	171	119	77	116	99	1
	100.0%	39.8%	35.4%	29.2%	20.3%	13.2%	19.8%	16.9%	2.9
ほとんどない	648	345	235	221	95	119	158	127	4
	100.0%	53.2%	36.3%	34.1%	14.7%	18.4%	24.4%	19.6%	7.4
たまにある	363	216	125	146	43	71	88	91	5
	100.0%	59.5%	34.4%	40.2%	11.8%	19.6%	24.2%	25.1%	16.3
時々ある	247	161	85	130	30	59	80	91	6
	100.0%	65.2%	34.4%	52.6%	12.1%	23.9%	32.4%	36.8%	25.1
しばしばある・常にある	57	40	13	32	10	10	25	23	2
	100.0%	70.2%	22.8%	56.1%	17.5%	17.5%	43.9%	40.4%	40.4

	合計	孤立・孤独に関すること	日常の買い物や移動に関すること	災害に関すること	その他	特に生活課題はない	答えたくない	無回答
Total	1910	135	125	429	34	249	10	19
	100.0%	7.1%	6.5%	22.5%	1.8%	13.0%	0.5%	1.0%
全くない	585	2	29	123	7	125	6	7
	100.0%	0.3%	5.0%	21.0%	1.2%	21.4%	1.0%	1.2%
ほとんどない	648	16	40	158	13	86	2	3
	100.0%	2.5%	6.2%	24.4%	2.0%	13.3%	0.3%	0.5%
たまにある	363	33	29	75	8	28	1	5
	100.0%	9.1%	8.0%	20.7%	2.2%	7.7%	0.3%	1.4%
時々ある	247	55	18	60	5	10	0	1
	100.0%	22.3%	7.3%	24.3%	2.0%	4.0%	0.0%	0.4%
しばしばある・常にある	57	29	9	13	1	0	1	0
	100.0%	50.9%	15.8%	22.8%	1.8%	0.0%	1.8%	0.0%

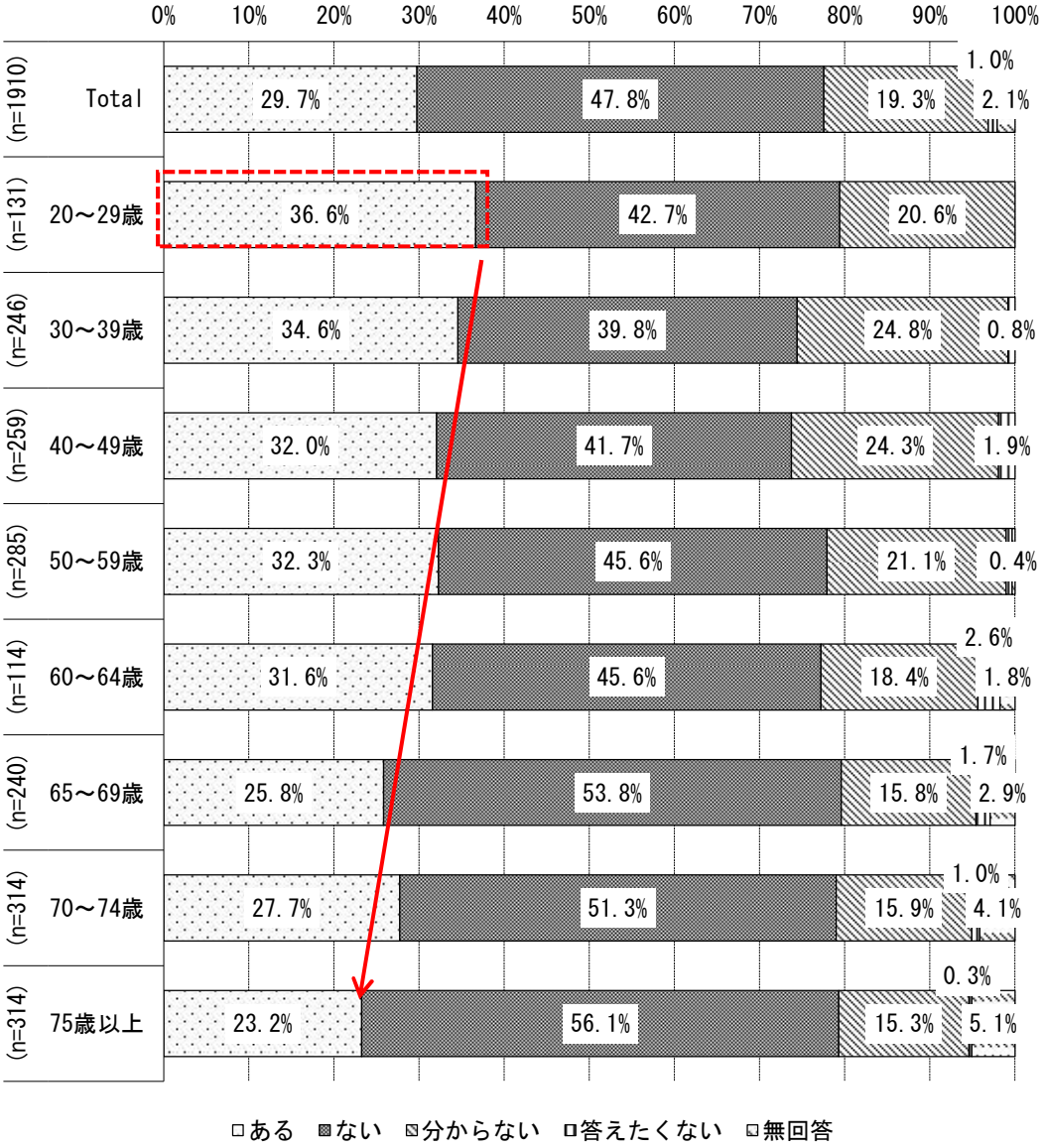
日常生活での課題を孤独の状況別にみると、「自分の健康や病気に関すること」、「収入・家計に関すること」、「人間関係に関すること」、「孤立・孤独に関すること」の割合が、孤独がある人ほど高くなっている。

問 13　日常生活を送る上で、自分自身では解決することが難しい課題はありますか。
（１つに○）



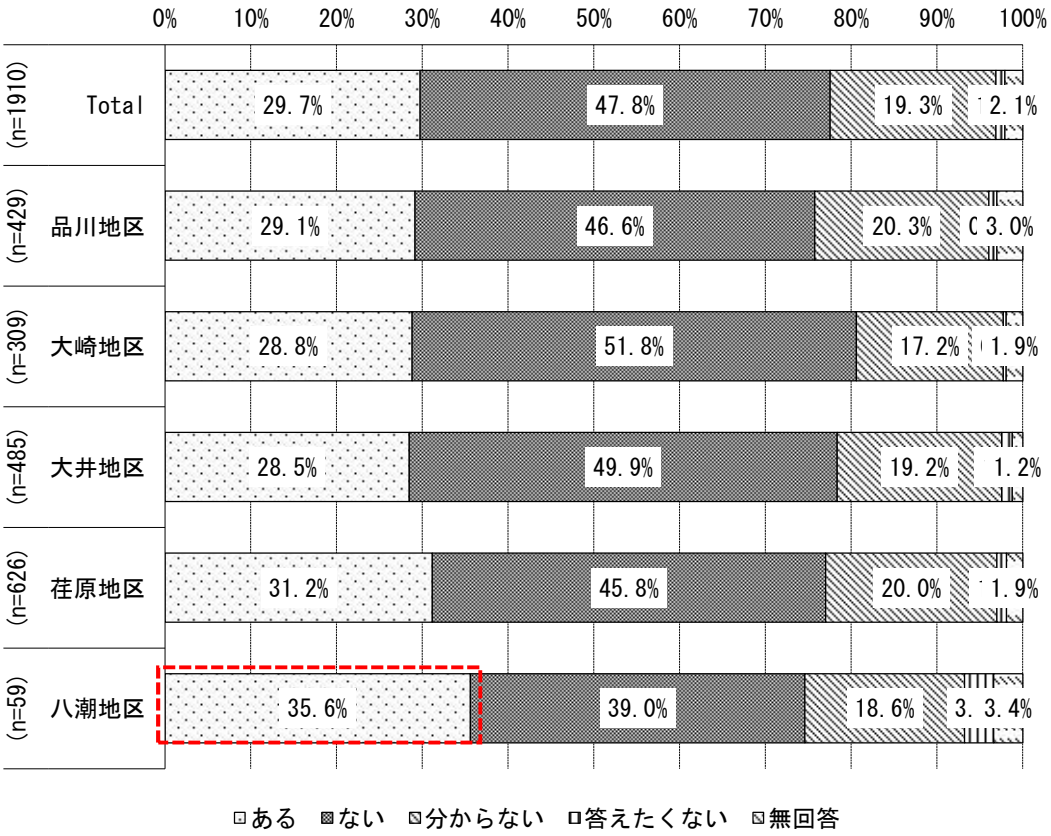
「ある」が 29.7%、「ない」が 47.8%「分からない」が 19.3%となっている。

【問 13_年齢区分別】



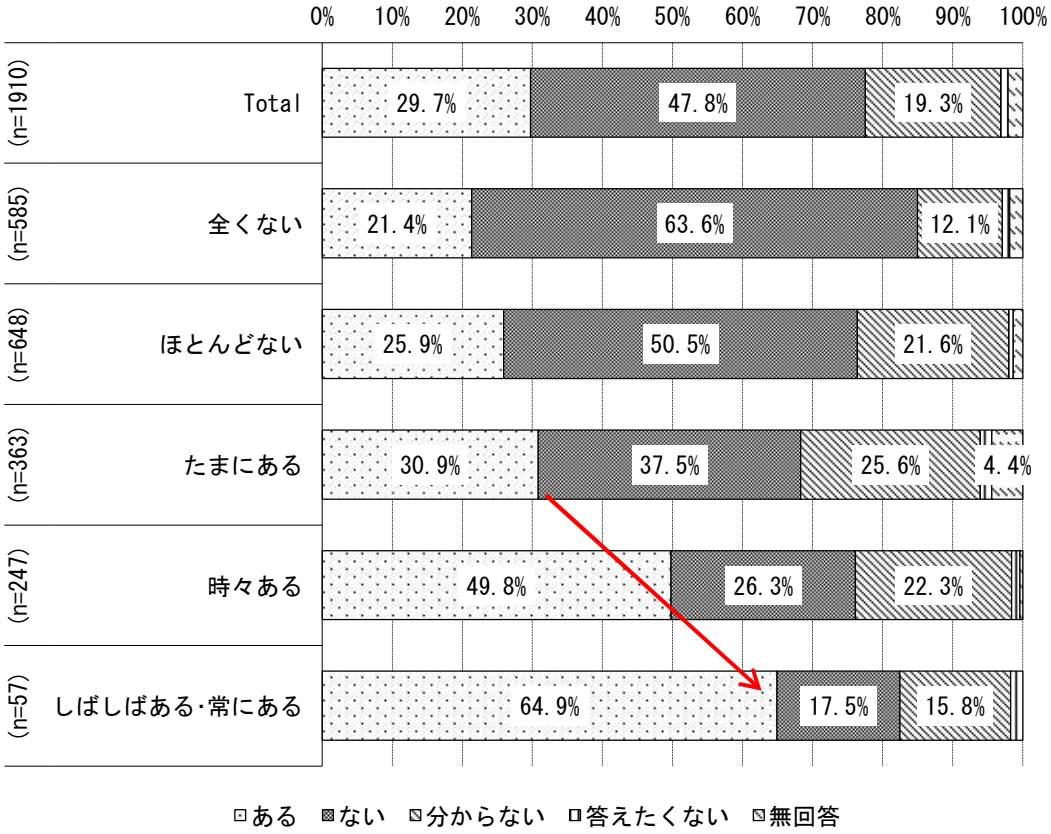
日常生活にて自分自身では解決することが難しい課題の有無を年齢区分別にみると、「20～29 歳」では「ある」の割合が 36.6%と他の年代と比べ最も高くなっている。「ある」の割合は年齢区分が低くなるにつれて低くなる傾向がみられる。

【問 13_地区別】



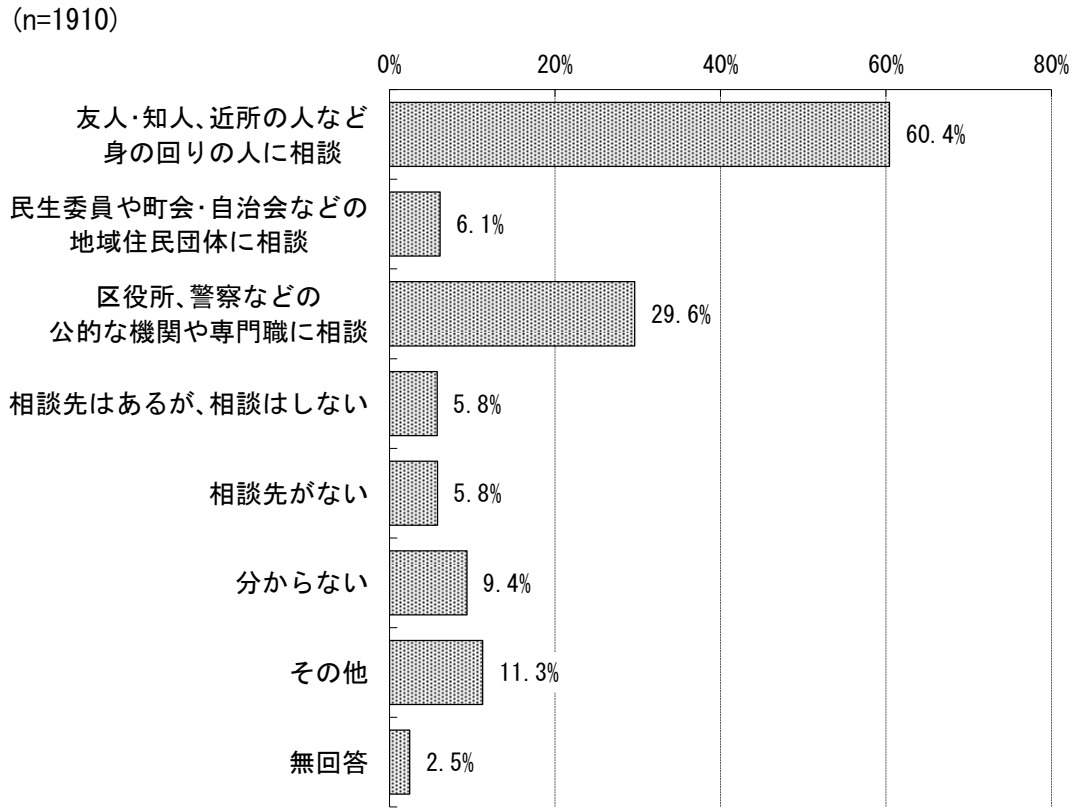
日常生活にて自分自身では解決することが難しい課題の有無を地区別にみると、「八潮地区」では「ある」の割合が 35.6%と他の地区と比べ高くなっている。

【問 13_孤独の状況別】



日常生活にて自分自身では解決することが難しい課題の有無を孤独の状況別にみると、課題が「ある」とした人の割合は、孤独が「たまにある」では 30.9%だが、「時々ある」では 49.8%、「しばしばある・常にある」では 64.9%と高くなっている。

問 14　自分自身では解決することが難しい課題が発生した場合、あなたは誰に/どこに相談しますか。（あてはまるものすべてに○）



「友人･知人、近所の人など身の回りの人に相談」の割合が最も高く 60.4%となっている。次いで、「区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談（29.6%)」、「その他（11.3%)」となっている。なお、「その他」の回答としては、家族や子どもという意見が多くみられた。

【問 14_年齢区分別】

	合計	友人・知人、近所の人など身の回りの人に相談	民生委員や町会・自治会などの地域住民団体に相談	区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談	相談先はあるが、相談はしない	相談先がない	分からない	その他	無回答
Total	1910	1154	117	566	110	111	179	215	47
	100.0%	60.4%	6.1%	29.6%	5.8%	5.8%	9.4%	11.3%	2.5%
20～29歳	131	103	2	9	10	8	7	7	1
	100.0%	78.6%	1.5%	6.9%	7.6%	6.1%	5.3%	5.3%	0.8%
30～39歳	246	193	11	56	8	18	16	15	1
	100.0%	78.5%	4.5%	22.8%	3.3%	7.3%	6.5%	6.1%	0.4%
40～49歳	259	179	8	76	13	20	32	22	4
	100.0%	69.1%	3.1%	29.3%	5.0%	7.7%	12.4%	8.5%	1.5%
50～59歳	285	182	13	80	15	14	36	23	8
	100.0%	63.9%	4.6%	28.1%	5.3%	4.9%	12.6%	8.1%	2.8%
60～64歳	114	72	5	38	7	6	7	16	1
	100.0%	63.2%	4.4%	33.3%	6.1%	5.3%	6.1%	14.0%	0.9%
65～69歳	240	128	18	94	12	13	20	33	5
	100.0%	53.3%	7.5%	39.2%	5.0%	5.4%	8.3%	13.8%	2.1%
70～74歳	314	154	20	102	16	21	34	46	13
	100.0%	49.0%	6.4%	32.5%	5.1%	6.7%	10.8%	14.6%	4.1%
75歳以上	314	140	40	110	28	9	26	52	13
	100.0%	44.6%	12.7%	35.0%	8.9%	2.9%	8.3%	16.6%	4.1%

日常生活にて自分自身では解決することが難しい課題があった場合の相談先について年齢区分別にみると、「20～29 歳」では「友人・知人、近所の人など身の回りの人に相談」の割合が 78.6%と最も高く、年齢区分が低くなるにつれて割合が低くなっている。

一方で、「区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談」の割合は、「20～29 歳」では 6.9%だが、年齢区分が高くなるにしたがって割合が高くなる傾向が見られる。

「75 歳以上」では、「民生委員や町会・自治会などの地域住民団体に相談」の割合が 12.7%となっており、他の区分と比べ高くなっている。

【問 14 地区別】

	合計	友人・知人、近所の人など身の回りの人に相談	民生委員や町会・自治会などの地域住民団体に相談	区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談	相談先はあるが、相談はしない	相談先がない	分からない	その他	無回答
Total	1910	1154	117	566	110	111	179	215	47
	100.0%	60.4%	6.1%	29.6%	5.8%	5.8%	9.4%	11.3%	2.5%
品川地区	429	261	32	128	24	29	35	41	13
	100.0%	60.8%	7.5%	29.8%	5.6%	6.8%	8.2%	9.6%	3.0%
大崎地区	309	197	11	86	24	14	26	41	5
	100.0%	63.8%	3.6%	27.8%	7.8%	4.5%	8.4%	13.3%	1.6%
大井地区	485	287	37	141	24	33	48	53	11
	100.0%	59.2%	7.6%	29.1%	4.9%	6.8%	9.9%	10.9%	2.3%
荏原地区	626	378	30	189	36	33	61	69	17
	100.0%	60.4%	4.8%	30.2%	5.8%	5.3%	9.7%	11.0%	2.7%
八潮地区	59	31	7	22	2	2	8	11	0
	100.0%	52.5%	11.9%	37.3%	3.4%	3.4%	13.6%	18.6%	0.0%

日常生活にて自分自身では解決することが難しい課題があった場合の相談先について地区別にみると、「八潮地区」では「友人・知人、近所の人など身の回りの人に相談」の割合が 52.5%と他の地区と比べ割合が低く、「民生委員や町会・自治会などの地域住民団体に相談」、「区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談」の割合が他の地区と比べ高くなっている。

【問 14_孤独の状況別】

	合計	友人・知人、近所の人など身の回りの人に相談	民生委員や町会・自治会などの地域住民団体に相談	区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談	相談先はあるが、相談はしない	相談先がない	分からない	その他	無回答
Total	1910	1154	117	566	110	111	179	215	4
	100.0%	60.4%	6.1%	29.6%	5.8%	5.8%	9.4%	11.3%	2.5
全くない	585	368	33	174	25	14	40	67	2
	100.0%	62.9%	5.6%	29.7%	4.3%	2.4%	6.8%	11.5%	4.3
ほとんどない	648	389	48	217	28	26	61	73	1
	100.0%	60.0%	7.4%	33.5%	4.3%	4.0%	9.4%	11.3%	2.0
たまにある	363	229	24	98	32	21	41	43	
	100.0%	63.1%	6.6%	27.0%	8.8%	5.8%	11.3%	11.8%	1.4
時々ある	247	140	9	67	22	31	25	29	
	100.0%	56.7%	3.6%	27.1%	8.9%	12.6%	10.1%	11.7%	0.8
しばしばある・常にある	57	25	3	9	3	18	9	2	
	100.0%	43.9%	5.3%	15.8%	5.3%	31.6%	15.8%	3.5%	0.0

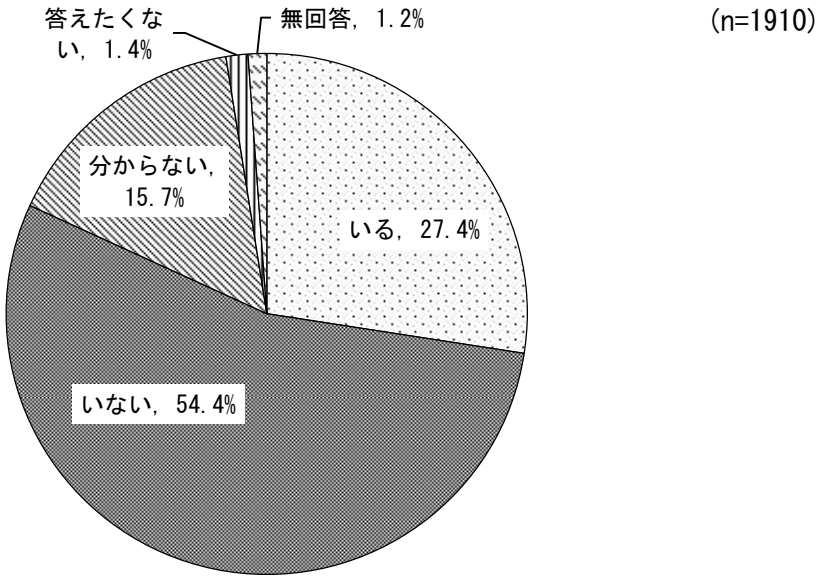
日常生活にて自分自身では解決することが難しい課題があった場合の相談先について、孤独の状況別にみると、孤独が「しばしばある・常にある」とした人では、「相談先がない」の割合が 31.6%となっている。

【問 14_日常生活にて自分自身では解決することが難しい課題の有無別】

	合計	友人・知人、近所の人など身の回りの人に相談	民生委員や町会・自治会などの地域住民団体に相談	区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談	相談先はあるが、相談はしない	相談先がない	分からない	その他	無回答
Total	1910	1154	117	566	110	111	179	215	47
	100.0%	60.4%	6.1%	29.6%	5.8%	5.8%	9.4%	11.3%	2.5%
ある	568	319	45	172	47	61	54	70	2
	100.0%	56.2%	7.9%	30.3%	8.3%	10.7%	9.5%	12.3%	0.4%
ない	913	588	50	270	37	26	60	102	34
	100.0%	64.4%	5.5%	29.6%	4.1%	2.8%	6.6%	11.2%	3.7%
分からない	369	225	18	109	21	19	62	33	1
	100.0%	61.0%	4.9%	29.5%	5.7%	5.1%	16.8%	8.9%	0.3%
答えたくない	20	9	0	6	3	4	2	0	0
	100.0%	45.0%	0.0%	30.0%	15.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%

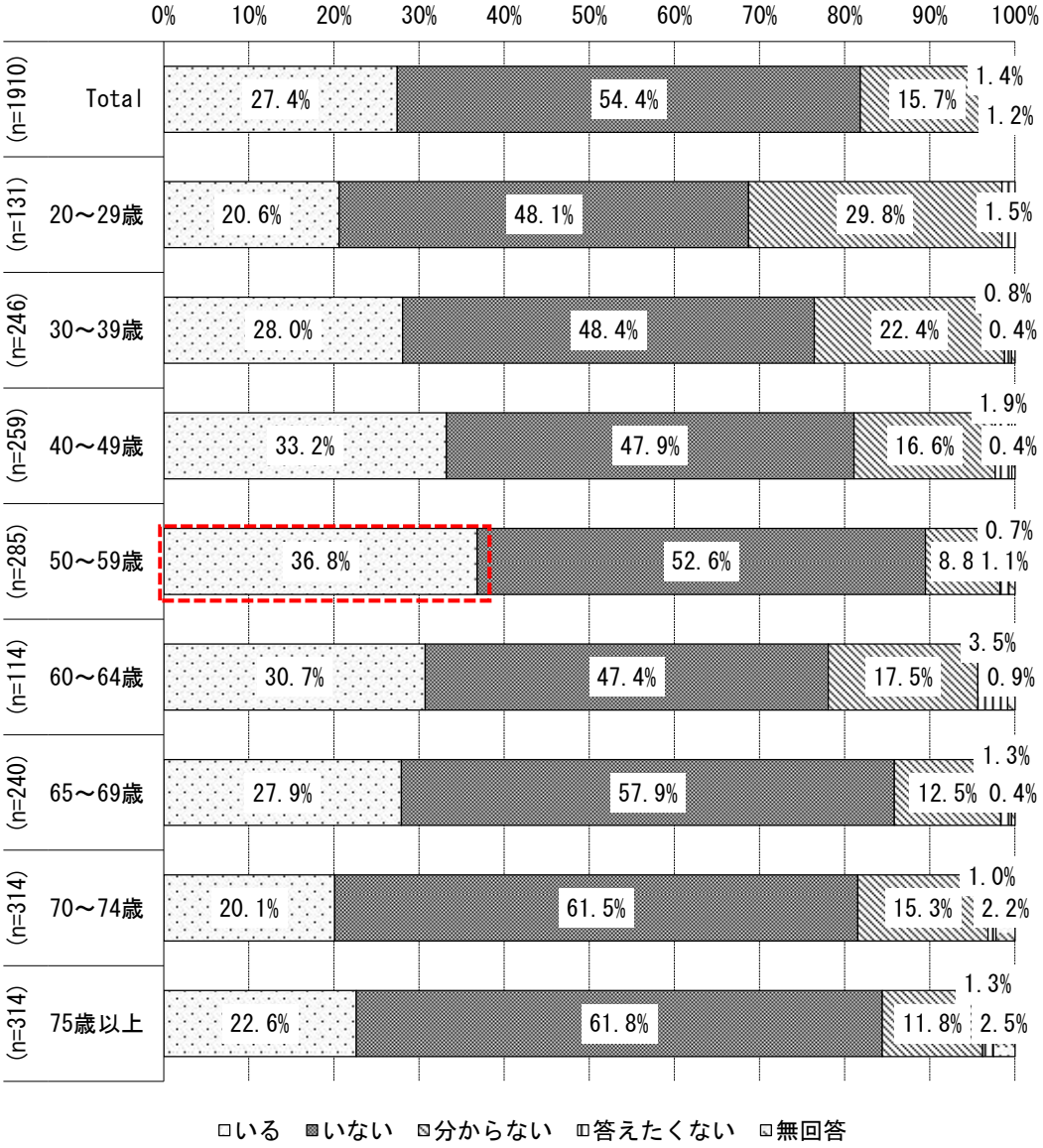
日常生活にて自分自身では解決することが難しい課題があった場合の相談先について、課題の有無別にみると、課題が「ある」とした人では「相談先がない」の割合が 10.7%となっている。

問 15　あなたの家族や親族のうち、現在、日常生活を送る上で課題を抱えている人はいますか。（１つに○）



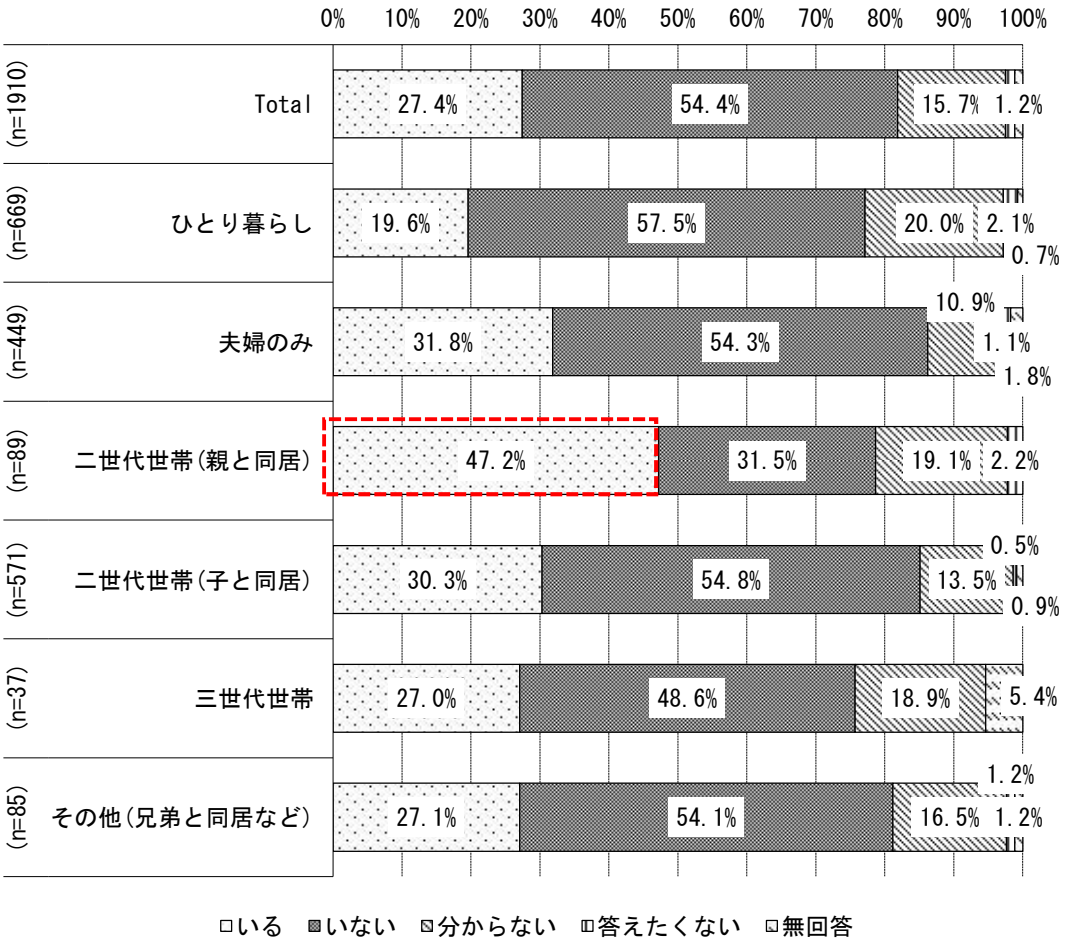
「いる」が 27.4%、「いない」が 54.4%、「分からない」が 15.7%となっている。

【問 15_年齢区分別】



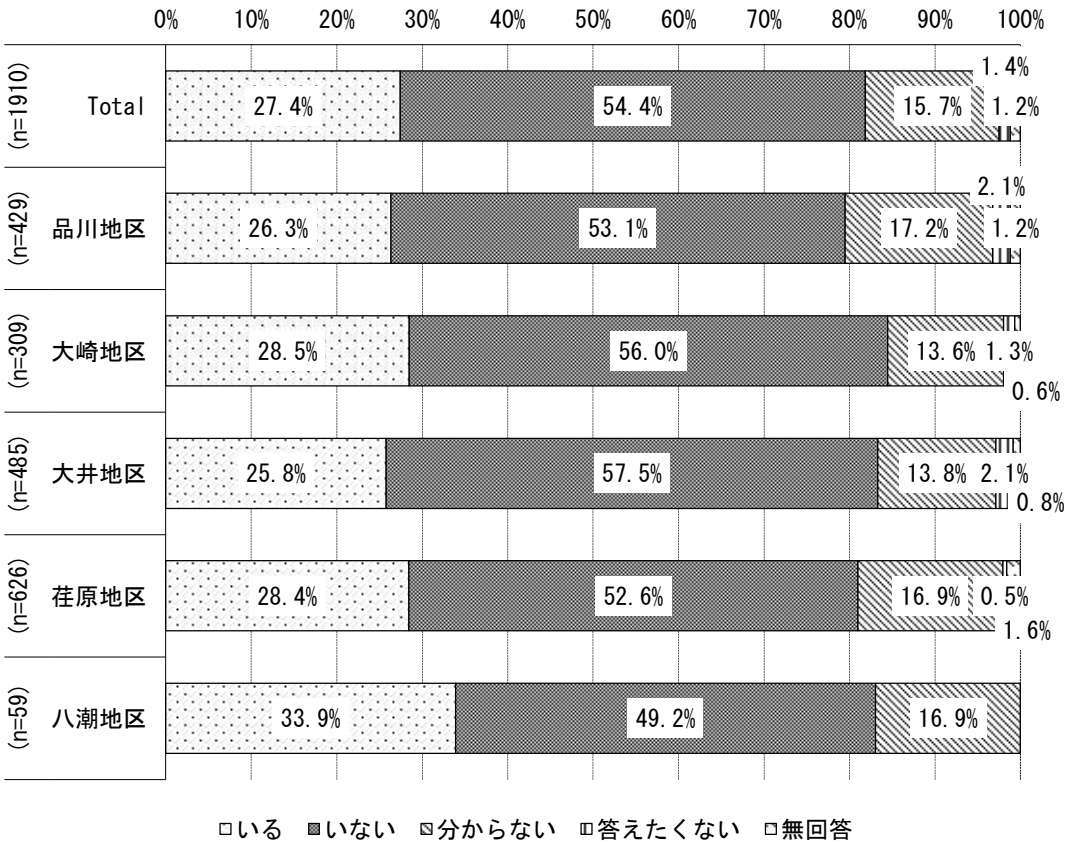
家族や親族のうち、日常生活を送る上で課題を抱えている人の有無を年齢区分別にみると、「50～59 歳」では「いる」の割合が 36.8%と他の年代と比べ高くなっている。

【問 15_世帯別】



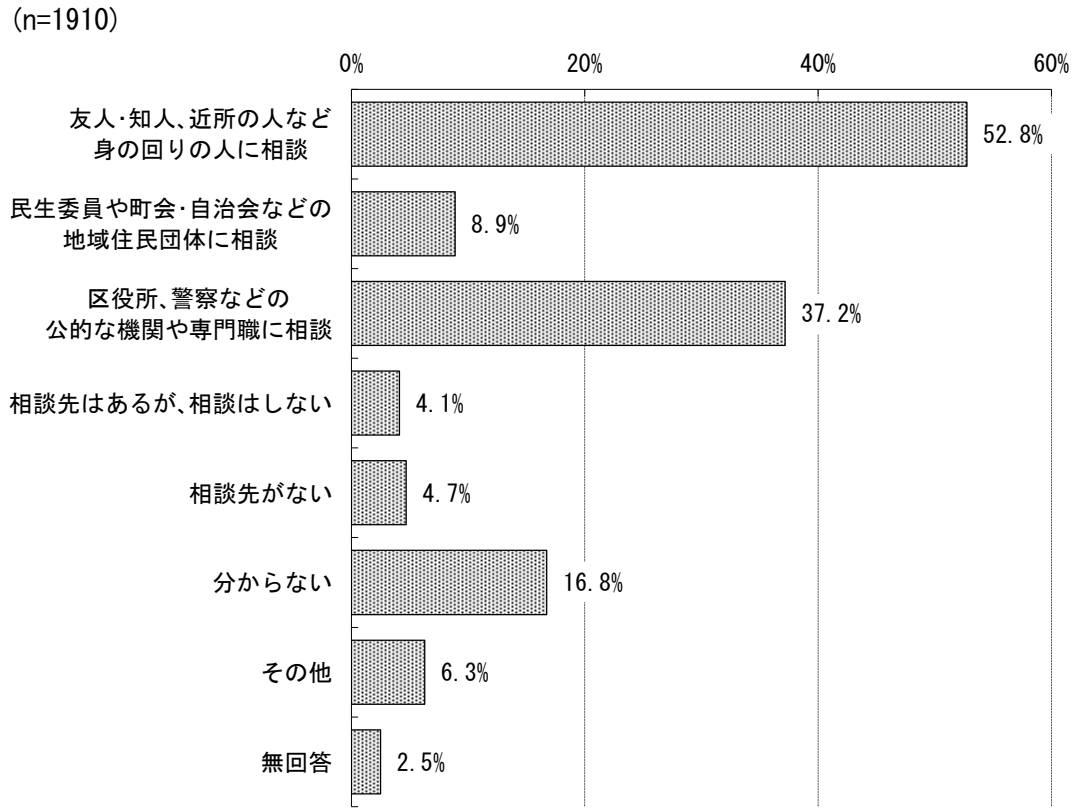
家族や親族のうち、日常生活を送る上で課題を抱えている人の有無を世帯別にみると、「二世代世帯（親と同居）」では「いる」の割合が 47.2%と他の年代と比べ高くなっている。

【問 15_地区別】



家族や親族のうち、日常生活を送る上で課題を抱えている人の有無を地区別にみると、「八潮地区」では「いる」の割合が３３.9%と他の地区と比べ高くなっている。

問 16　家族や親族に解決することが難しい課題が発生した場合、家族や親族の抱えている課題について、あなたやあなたの家族は誰に/どこに相談しますか。
（あてはまるものすべてに○）



「友人･知人、近所の人など身の回りの人に相談」の割合が最も高く 52.8%となっている。次いで、「区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談（37.2%）」、「分からない（16.8%）」となっている。

【問 16_年齢区分別】

	合計	友人・知人、近所の人など身の回りの人に相談	民生委員や町会・自治会などの地域住民団体に相談	区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談	相談先はあるが、相談はしない	相談先がない	分からない	その他	無回答
Total	1910	1008	170	710	79	90	320	120	48
	100.0%	52.8%	8.9%	37.2%	4.1%	4.7%	16.8%	6.3%	2.5%
20～29歳	131	90	13	28	1	5	18	7	2
	100.0%	68.7%	9.9%	21.4%	0.8%	3.8%	13.7%	5.3%	1.5%
30～39歳	246	159	13	67	9	11	45	10	4
	100.0%	64.6%	5.3%	27.2%	3.7%	4.5%	18.3%	4.1%	1.6%
40～49歳	259	156	21	106	13	16	38	9	6
	100.0%	60.2%	8.1%	40.9%	5.0%	6.2%	14.7%	3.5%	2.3%
50～59歳	285	175	26	112	10	13	40	16	3
	100.0%	61.4%	9.1%	39.3%	3.5%	4.6%	14.0%	5.6%	1.1%
60～64歳	114	60	10	45	3	6	20	9	2
	100.0%	52.6%	8.8%	39.5%	2.6%	5.3%	17.5%	7.9%	1.8%
65～69歳	240	123	22	104	13	10	36	12	2
	100.0%	51.2%	9.2%	43.3%	5.4%	4.2%	15.0%	5.0%	0.8%
70～74歳	314	120	25	131	11	21	66	27	10
	100.0%	38.2%	8.0%	41.7%	3.5%	6.7%	21.0%	8.6%	3.2%
75歳以上	314	122	40	116	18	8	56	30	18
	100.0%	38.9%	12.7%	36.9%	5.7%	2.5%	17.8%	9.6%	5.7%

家族や親族に解決することが難しい課題があった場合の相談先について年齢区分別にみると、「20～29 歳」では「友人・知人、近所の人など身の回りの人に相談」の割合が 68.7%と最も高く、年齢区分が低くなるにつれて割合が低くなっている。

一方で、「区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談」の割合は、「20～29 歳」では 21.4%、「30～39 歳」では 27.2%だが、40 歳以上の区分ではいずれも 4 割程度となっている。

また、「分からない」の割合がいずれの年代も 2 割程度となっている。

【問 16_世帯別】

	合計	友人・知人、近所の人など身の回りの人に相談	民生委員や町会・自治会などの地域住民団体に相談	区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談	相談先はあるが、相談はしない	相談先がない	分からない	その他	無回答
Total	1910	1008	170	710	79	90	320	120	48
	100.0%	52.8%	8.9%	37.2%	4.1%	4.7%	16.8%	6.3%	2.5%
ひとり暮らし	669	351	60	229	23	43	133	36	13
	100.0%	52.5%	9.0%	34.2%	3.4%	6.4%	19.9%	5.4%	1.9%
夫婦のみ	449	239	37	187	19	15	60	34	16
	100.0%	53.2%	8.2%	41.6%	4.2%	3.3%	13.4%	7.6%	3.6%
二世代世帯(親と同居)	89	43	8	33	7	3	14	12	2
	100.0%	48.3%	9.0%	37.1%	7.9%	3.4%	15.7%	13.5%	2.2%
二世代世帯(子と同居)	571	308	50	211	25	24	90	32	14
	100.0%	53.9%	8.8%	37.0%	4.4%	4.2%	15.8%	5.6%	2.5%
三世代世帯	37	20	5	19	2	0	9	1	0
	100.0%	54.1%	13.5%	51.4%	5.4%	0.0%	24.3%	2.7%	0.0%
その他(兄弟と同居など)	85	44	10	27	1	5	14	5	2
	100.0%	51.8%	11.8%	31.8%	1.2%	5.9%	16.5%	5.9%	2.4%

家族や親族に解決することが難しい課題があった場合の相談先について世帯別にみると、課題を抱えた家族や親族が「いる」と回答した割合が 47.2%と他の年代と比べ高い「二世代世帯（親と同居）」では、「友人・知人、近所の人など身の回りの人に相談」の割合が、48.3%、では「区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談」の割合が 37.1%となっている。

【問 16_地区別】

	合計	友人･知人、近所の人など身の回りの人に相談	民生委員や町会･自治会などの地域住民団体に相談	区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談	相談先はあるが、相談はしない	相談先がない	分からない	その他	無回答
Total	1910	1008	170	710	79	90	320	120	48
	100.0%	52.8%	8.9%	37.2%	4.1%	4.7%	16.8%	6.3%	2.5%
品川地区	429	222	40	157	13	21	72	23	13
	100.0%	51.7%	9.3%	36.6%	3.0%	4.9%	16.8%	5.4%	3.0%
大崎地区	309	175	22	107	13	7	46	28	6
	100.0%	56.6%	7.1%	34.6%	4.2%	2.3%	14.9%	9.1%	1.9%
大井地区	485	247	47	186	17	30	83	32	12
	100.0%	50.9%	9.7%	38.4%	3.5%	6.2%	17.1%	6.6%	2.5%
荏原地区	626	336	55	240	33	31	104	31	15
	100.0%	53.7%	8.8%	38.3%	5.3%	5.0%	16.6%	5.0%	2.4%
八潮地区	59	28	6	20	3	1	14	6	1
	100.0%	47.5%	10.2%	33.9%	5.1%	1.7%	23.7%	10.2%	1.7%

家族や親族に解決することが難しい課題があった場合の相談先について地区別にみると、「八潮地区」では「分からない」の割合が 23.7%と他の地区と比べ高くなっている。

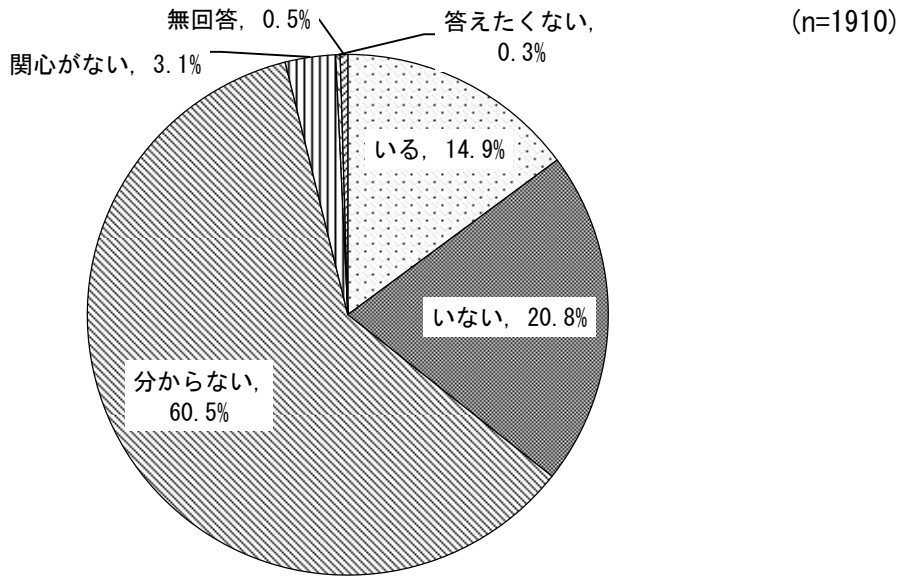
【問 16_家族や親族に解決することが難しい課題の有無別】

	合計	友人･知人、近所の人など身の回りの人に相談	民生委員や町会･自治会などの地域住民団体に相談	区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談	相談先はあるが、相談はしない	相談先がない	分からない	その他	無回答
Total	1910	1008	170	710	79	90	320	120	48
	100.0%	52.8%	8.9%	37.2%	4.1%	4.7%	16.8%	6.3%	2.5%
いる	524	271	54	200	37	40	71	49	1
	100.0%	51.7%	10.3%	38.2%	7.1%	7.6%	13.5%	9.4%	0.2%
いない	1039	594	96	410	29	29	141	54	27
	100.0%	57.2%	9.2%	39.5%	2.8%	2.8%	13.6%	5.2%	2.6%
分からない	299	135	20	90	12	16	95	14	5
	100.0%	45.2%	6.7%	30.1%	4.0%	5.4%	31.8%	4.7%	1.7%
答えたくない	26	6	0	6	1	5	11	0	1
	100.0%	23.1%	0.0%	23.1%	3.8%	19.2%	42.3%	0.0%	3.8%

家族や親族に解決することが難しい課題があった場合の相談先について、解決することが難しい課題を抱える家族や親族の有無別にみると、抱えた人が「いる」とした人では、「友人･知人､近所の人など身の回りの人に相談」や「区役所､警察などの公的な機関や専門職に相談」の割合が高く、「民生委員や町会･自治会などの地域住民団体に相談」も 10.3%となっている。

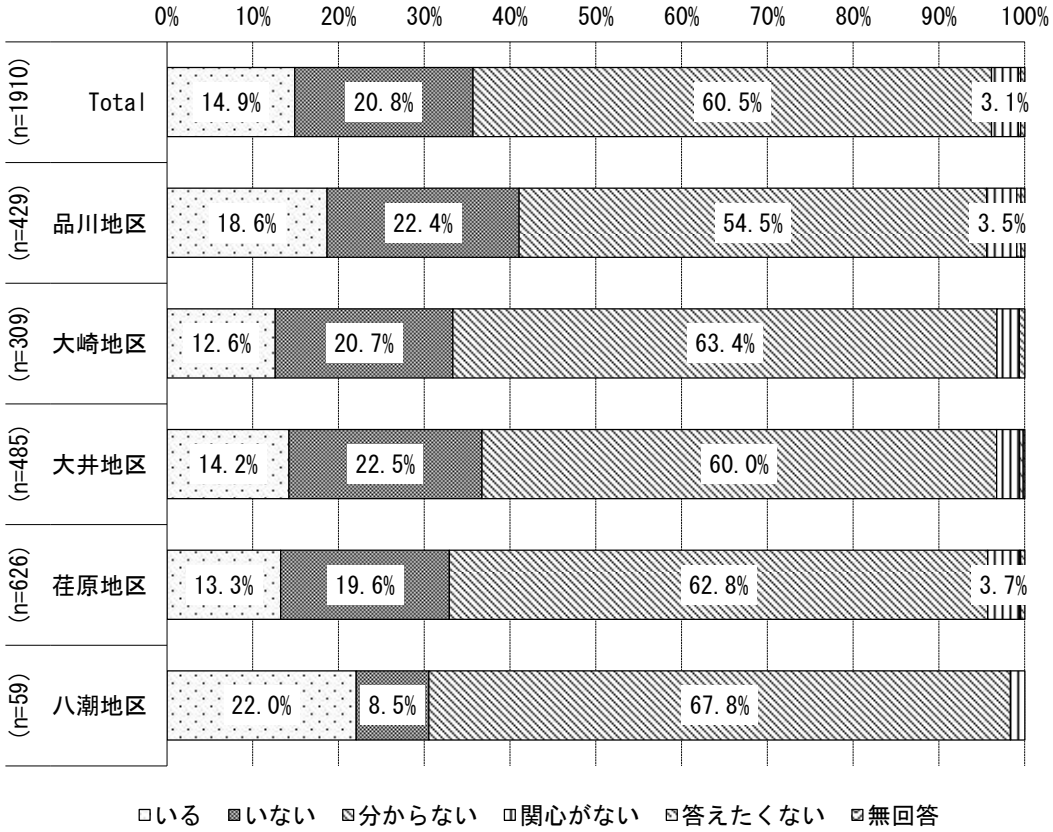
一方で、「相談先がない」の割合が 7.6%、「分からない」の割合が 13.5%となっている。

問 17　あなたから見て、地域の中に、何か困りごとがありそうな人や世帯、手助けが必要ではないかと思うような人や世帯はいますか。（１つに○）



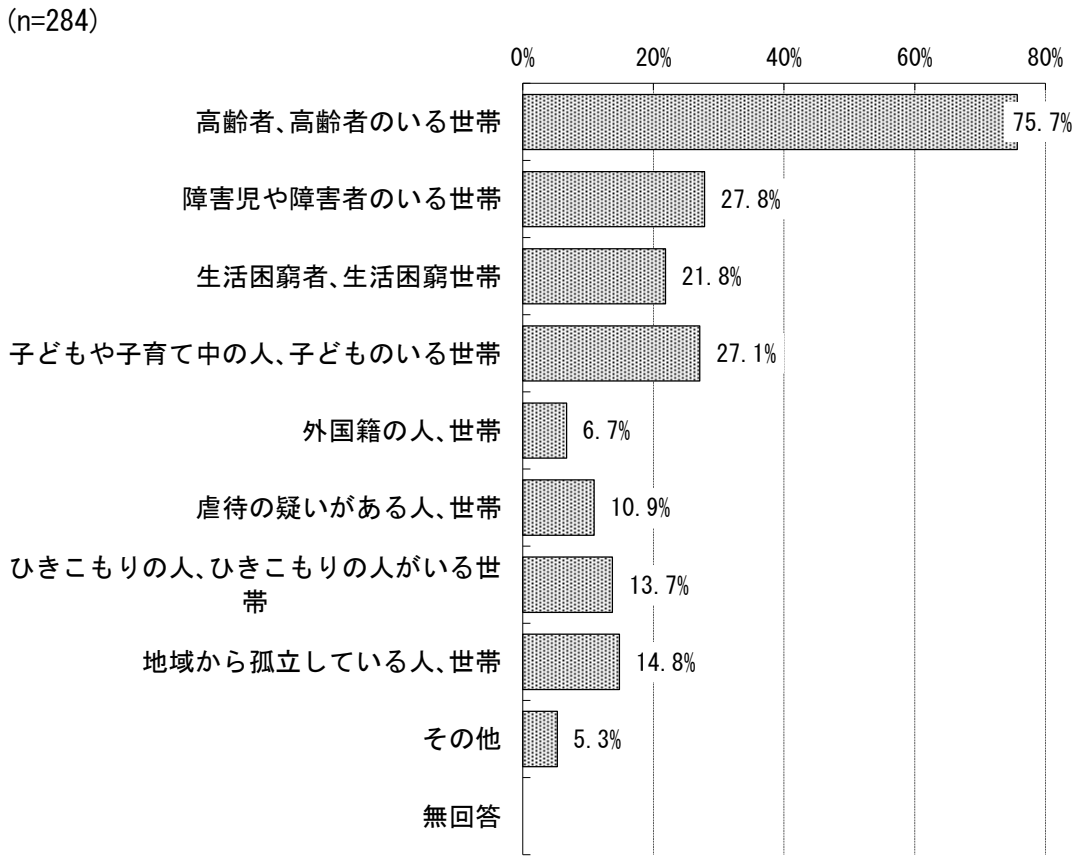
「いる」が 14.9%、「いない」が 20.8%、「分からない」が 60.5%となっている。

【問 17_地区別】



地域の中に、何か困りごとがありそうな人や世帯、手助けが必要ではないかと思うような人や世帯の有無を地区別にみると、「品川地区」では「いる」の割合が 18.6%、「八潮地区」では 22.0%と他の区分と比べ高くなっている。

問 18　問 17 で、何か困りごとがありそうな人や世帯、手助けが必要ではないかと思うような人や世帯が 「１．いる」 と回答した方におたずねします。
それはどのような人や世帯ですか。（あてはまるものすべてに○）



「高齢者、高齢者のいる世帯」の割合が最も高く 75.7%となっている。次いで、「障害児や障害者のいる世帯（27.8%）」、「子どもや子育て中の人、子どものいる世帯（27.1%）」となっている。

【問 18_地区別】

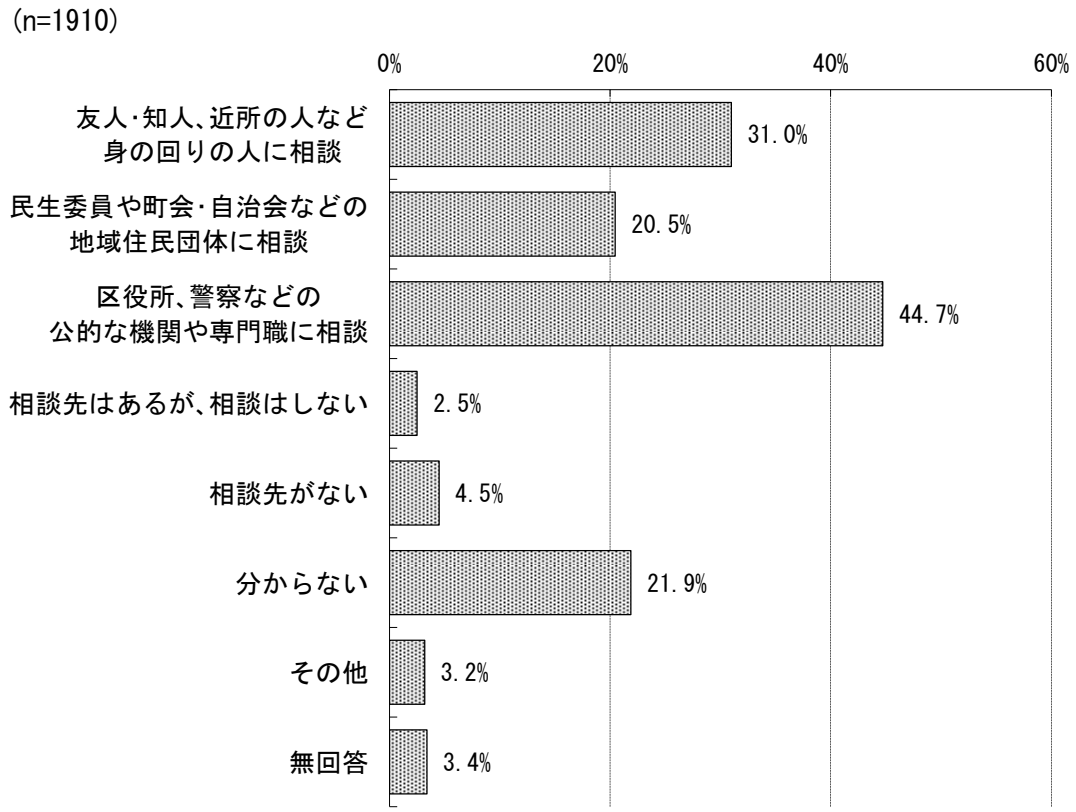
	合計	高齢者、高齢者のいる世帯	障害児や障害者のいる世帯	生活困窮者、生活困窮世帯	子どもや子育て中の人、子どものいる世帯	外国籍の人、世帯
Total	284	215	79	62	77	19
	100.0%	75.7%	27.8%	21.8%	27.1%	6.7%
品川地区	80	60	25	24	22	8
	100.0%	75.0%	31.3%	30.0%	27.5%	10.0%
大崎地区	39	29	13	6	13	1
	100.0%	74.4%	33.3%	15.4%	33.3%	2.6%
大井地区	69	52	15	12	22	7
	100.0%	75.4%	21.7%	17.4%	31.9%	10.1%
荏原地区	83	62	24	15	19	3
	100.0%	74.7%	28.9%	18.1%	22.9%	3.6%
八潮地区	13	12	2	5	1	0
	100.0%	92.3%	15.4%	38.5%	7.7%	0.0%

	合計	虐待の疑いがある人、世帯	ひきこもりの人、ひきこもりの人がいる世帯	地域から孤立している人、世帯	その他	無回答
Total	284	31	39	42	15	0
	100.0%	10.9%	13.7%	14.8%	5.3%	0.0%
品川地区	80	8	14	13	4	0
	100.0%	10.0%	17.5%	16.2%	5.0%	0.0%
大崎地区	39	5	7	7	4	0
	100.0%	12.8%	17.9%	17.9%	10.3%	0.0%
大井地区	69	8	11	11	2	0
	100.0%	11.6%	15.9%	15.9%	2.9%	0.0%
荏原地区	83	8	7	10	5	0
	100.0%	9.6%	8.4%	12.0%	6.0%	0.0%
八潮地区	13	2	0	1	0	0
	100.0%	15.4%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%

地域の中に、何か困りごとがありそうな人や世帯、手助けが必要ではないかと思うような人や世帯が「いる」とした場合の人や世帯について地区別にみると、「いる」とした割合が高かった「品川地区」、「八潮地区」では、「生活困窮者、生活困窮世帯」の割合が他の地区と比べ高くなっている。

また、「八潮地区」では、「高齢者、高齢者のいる世帯」の割合が他の地区と比べ高くなっている。

問 19　何か困りごとがありそうな人や世帯、手助けが必要ではないかと思うような人や世帯に、あなたが気付いた場合、そのような人や世帯について、あなたは誰に/どこに相談しますか。（あてはまるものすべてに○）



「区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談」の割合が最も高く 44.7%となっている。次いで、「友人･知人、近所の人など身の回りの人に相談（31.0%）」、「分からない（21.9%）」となっている。「その他」の意見としては、マンションの管理組合やオーナー、といった意見も多くみられた。

【問 19_年齢区分別】

	合計	友人・知人、近所の人など身の回りの人に相談	民生委員や町会・自治会などの地域住民団体に相談	区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談	相談先はあるが、相談はしない	相談先がない	分からない	その他	無回答
Total	1910	592	391	854	48	86	418	61	65
	100.0%	31.0%	20.5%	44.7%	2.5%	4.5%	21.9%	3.2%	3.4%
20～29歳	131	40	25	42	6	6	38	2	4
	100.0%	30.5%	19.1%	32.1%	4.6%	4.6%	29.0%	1.5%	3.1%
30～39歳	246	79	30	101	11	17	62	6	4
	100.0%	32.1%	12.2%	41.1%	4.5%	6.9%	25.2%	2.4%	1.6%
40～49歳	259	84	35	121	10	16	65	4	4
	100.0%	32.4%	13.5%	46.7%	3.9%	6.2%	25.1%	1.5%	1.5%
50～59歳	285	99	51	147	4	9	59	10	2
	100.0%	34.7%	17.9%	51.6%	1.4%	3.2%	20.7%	3.5%	0.7%
60～64歳	114	36	21	66	2	3	20	5	1
	100.0%	31.6%	18.4%	57.9%	1.8%	2.6%	17.5%	4.4%	0.9%
65～69歳	240	70	54	106	3	12	51	6	8
	100.0%	29.2%	22.5%	44.2%	1.3%	5.0%	21.3%	2.5%	3.3%
70～74歳	314	98	82	145	4	15	59	12	12
	100.0%	31.2%	26.1%	46.2%	1.3%	4.8%	18.8%	3.8%	3.8%
75歳以上	314	85	92	125	8	7	61	16	29
	100.0%	27.1%	29.3%	39.8%	2.5%	2.2%	19.4%	5.1%	9.2%

地域の中に、何か困りごとがありそうな人や世帯、手助けが必要ではないかと思うような人や世帯に気付いた場合の相談先について年齢区分別にみると、いずれの年代でも「区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談」の割合が高くなっている。

また、「民生委員や町会・自治会などの地域住民団体に相談」の割合は、年齢区分が高くなるに従って高くなる傾向が見られる。「分からない」の割合は、若い年齢層で高くなっている。

【問 19_地区別】

	合計	友人・知人、近所の人など身の回りの人に相談	民生委員や町会・自治会などの地域住民団体に相談	区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談	相談先はあるが、相談はしない	相談先がない	分からない	その他	無回答
Total	1910	592	391	854	48	86	418	61	65
	100.0%	31.0%	20.5%	44.7%	2.5%	4.5%	21.9%	3.2%	3.4%
品川地区	429	132	88	205	12	14	96	13	14
	100.0%	30.8%	20.5%	47.8%	2.8%	3.3%	22.4%	3.0%	3.3%
大崎地区	309	100	56	141	8	10	62	17	10
	100.0%	32.4%	18.1%	45.6%	2.6%	3.2%	20.1%	5.5%	3.2%
大井地区	485	136	84	211	17	29	116	10	16
	100.0%	28.0%	17.3%	43.5%	3.5%	6.0%	23.9%	2.1%	3.3%
荏原地区	626	205	142	274	9	30	130	19	23
	100.0%	32.7%	22.7%	43.8%	1.4%	4.8%	20.8%	3.0%	3.7%
八潮地区	59	19	21	23	2	3	13	2	1
	100.0%	32.2%	35.6%	39.0%	3.4%	5.1%	22.0%	3.4%	1.7%

地域の中に、何か困りごとがありそうな人や世帯、手助けが必要ではないかと思うような人や世帯に気付いた場合の相談先について地区別にみると、「八潮地区」では「民生委員や町会・自治会などの地域住民団体に相談」の割合が 35.6%と他の地区と比べ高くなっている。

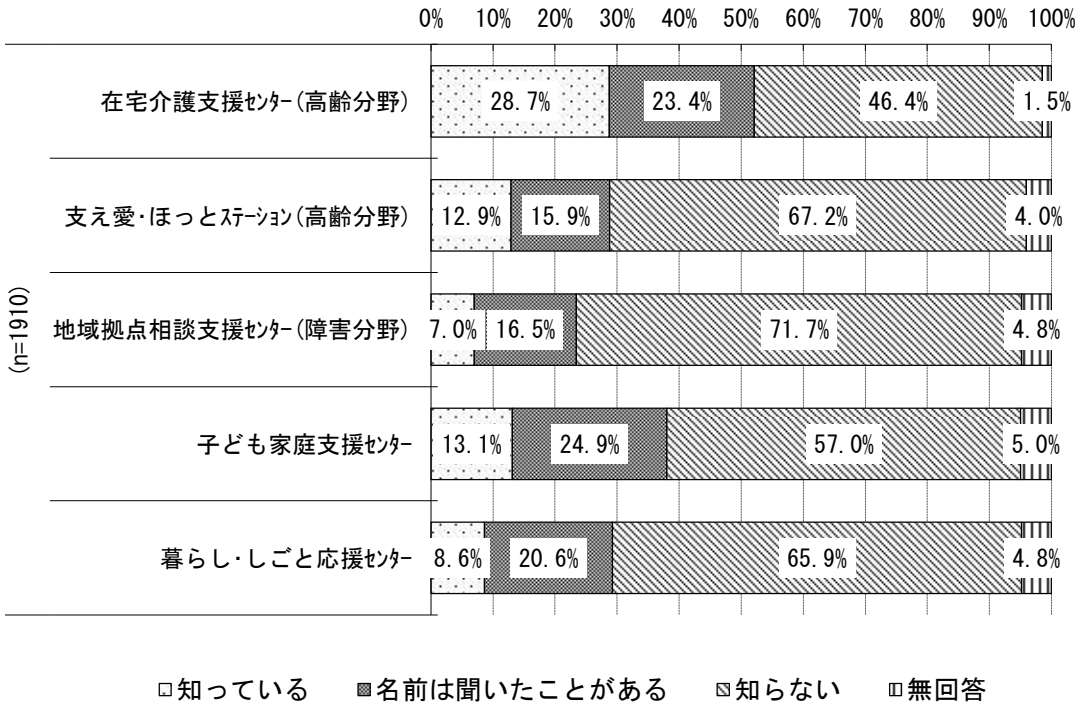
【問 19_地域の中に、何か困りごとがありそうな人や世帯、手助けが必要ではないかと思うような人や世帯の有無別】

	合計	友人･知人、近所の人など身の回りの人に相談	民生委員や町会･自治会などの地域住民団体に相談	区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談	相談先はあるが、相談はしない	相談先がない	分からない	その他	無回答
Total	1910	592	391	854	48	86	418	61	65
	100.0%	31.0%	20.5%	44.7%	2.5%	4.5%	21.9%	3.2%	3.4%
いる	284	114	71	111	17	24	45	25	1
	100.0%	40.1%	25.0%	39.1%	6.0%	8.5%	15.8%	8.8%	0.4%
いない	397	155	84	190	8	9	51	8	12
	100.0%	39.0%	21.2%	47.9%	2.0%	2.3%	12.8%	2.0%	3.0%
分からない	1155	315	233	530	18	43	303	25	41
	100.0%	27.3%	20.2%	45.9%	1.6%	3.7%	26.2%	2.2%	3.5%
関心がない	60	8	3	23	5	10	15	2	2
	100.0%	13.3%	5.0%	38.3%	8.3%	16.7%	25.0%	3.3%	3.3%
答えたくない	5	0	0	0	0	0	4	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%

地域の中に、何か困りごとがありそうな人や世帯、手助けが必要ではないかと思うような人や世帯の有無別に相談先についてみると、地域に課題を抱えた人が「いる」とした人では、「友人･知人、近所の人など身の回りの人に相談」や「区役所､警察などの公的な機関や専門職に相談」の割合が高く、「民生委員や町会･自治会などの地域住民団体に相談」も 25.0%となっている。

一方で、「相談先がない」の割合が 6.0%、「分からない」の割合が 15.8%となっている。

問 20　あなたは、品川区にある以下の相談機関について知っていますか。
（項目ごとに１つに○）



各分野の相談機関については、いずれも「知らない」の割合が最も高くなっているが、在宅介護支援センター（高齢分野）については、「知っている」、「名前は聞いたことがある」の合計が約５割となっている。

【問 20_年齢区分別】

■在宅介護支援センター(高齢分野)

	合計	知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答
Total	1910	549	447	886	28
	100.0%	28.7%	23.4%	46.4%	1.5%
20～29歳	131	10	14	107	0
	100.0%	7.6%	10.7%	81.7%	0.0%
30～39歳	246	14	31	200	1
	100.0%	5.7%	12.6%	81.3%	0.4%
40～49歳	259	28	54	176	1
	100.0%	10.8%	20.8%	68.0%	0.4%
50～59歳	285	66	64	150	5
	100.0%	23.2%	22.5%	52.6%	1.8%
60～64歳	114	32	38	41	3
	100.0%	28.1%	33.3%	36.0%	2.6%
65～69歳	240	80	75	80	5
	100.0%	33.3%	31.3%	33.3%	2.1%
70～74歳	314	145	87	80	2
	100.0%	46.2%	27.7%	25.5%	0.6%
75歳以上	314	173	82	49	10
	100.0%	55.1%	26.1%	15.6%	3.2%

■支え愛･ほっとステーション(高齢分野)

	合計	知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答
Total	1910	247	303	1283	77
	100.0%	12.9%	15.9%	67.2%	4.0%
20～29歳	131	5	8	118	0
	100.0%	3.8%	6.1%	90.1%	0.0%
30～39歳	246	6	29	209	2
	100.0%	2.4%	11.8%	85.0%	0.8%
40～49歳	259	17	34	207	1
	100.0%	6.6%	13.1%	79.9%	0.4%
50～59歳	285	27	48	203	7
	100.0%	9.5%	16.8%	71.2%	2.5%
60～64歳	114	16	18	76	4
	100.0%	14.0%	15.8%	66.7%	3.5%
65～69歳	240	32	44	156	8
	100.0%	13.3%	18.3%	65.0%	3.3%
70～74歳	314	73	60	168	13
	100.0%	23.2%	19.1%	53.5%	4.1%
75歳以上	314	70	61	142	41
	100.0%	22.3%	19.4%	45.2%	13.1%

■地域拠点相談支援センター(障害分野)

	合計	知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答
Total	1910	133	315	1370	92
	100.0%	7.0%	16.5%	71.7%	4.8%
20～29歳	131	7	11	112	1
	100.0%	5.3%	8.4%	85.5%	0.8%
30～39歳	246	4	24	216	2
	100.0%	1.6%	9.8%	87.8%	0.8%
40～49歳	259	11	42	205	1
	100.0%	4.2%	16.2%	79.2%	0.4%
50～59歳	285	15	40	224	6
	100.0%	5.3%	14.0%	78.6%	2.1%
60～64歳	114	9	20	82	3
	100.0%	7.9%	17.5%	71.9%	2.6%
65～69歳	240	19	45	168	8
	100.0%	7.9%	18.8%	70.0%	3.3%
70～74歳	314	34	63	195	22
	100.0%	10.8%	20.1%	62.1%	7.0%
75歳以上	314	34	69	164	47
	100.0%	10.8%	22.0%	52.2%	15.0%

■子ども家庭支援センター

	合計	知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答
Total	1910	251	476	1088	95
	100.0%	13.1%	24.9%	57.0%	5.0%
20～29歳	131	8	30	93	0
	100.0%	6.1%	22.9%	71.0%	0.0%
30～39歳	246	34	58	152	2
	100.0%	13.8%	23.6%	61.8%	0.8%
40～49歳	259	57	66	135	1
	100.0%	22.0%	25.5%	52.1%	0.4%
50～59歳	285	37	72	172	4
	100.0%	13.0%	25.3%	60.4%	1.4%
60～64歳	114	13	26	70	5
	100.0%	11.4%	22.8%	61.4%	4.4%
65～69歳	240	28	55	148	9
	100.0%	11.7%	22.9%	61.7%	3.8%
70～74歳	314	40	79	171	24
	100.0%	12.7%	25.2%	54.5%	7.6%
75歳以上	314	34	90	143	47
	100.0%	10.8%	28.7%	45.5%	15.0%

■暮らし・しごと応援センター

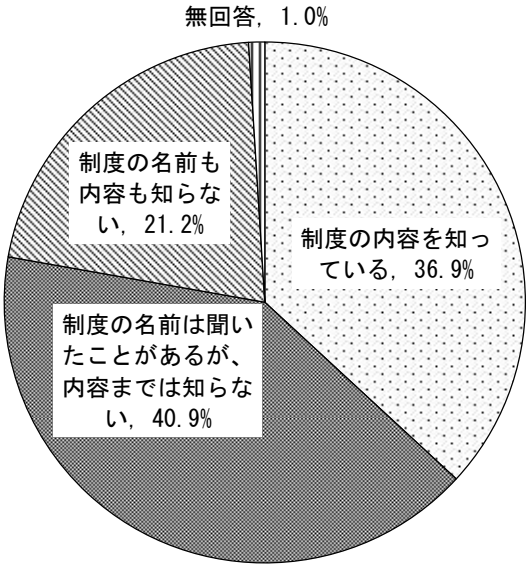
	合計	知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答
Total	1910	165	394	1259	92
	100.0%	8.6%	20.6%	65.9%	4.8%
20～29歳	131	6	17	108	0
	100.0%	4.6%	13.0%	82.4%	0.0%
30～39歳	246	10	34	200	2
	100.0%	4.1%	13.8%	81.3%	0.8%
40～49歳	259	25	49	183	2
	100.0%	9.7%	18.9%	70.7%	0.8%
50～59歳	285	21	58	200	6
	100.0%	7.4%	20.4%	70.2%	2.1%
60～64歳	114	11	25	74	4
	100.0%	9.6%	21.9%	64.9%	3.5%
65～69歳	240	23	59	151	7
	100.0%	9.6%	24.6%	62.9%	2.9%
70～74歳	314	38	71	182	23
	100.0%	12.1%	22.6%	58.0%	7.3%
75歳以上	314	31	81	157	45
	100.0%	9.9%	25.8%	50.0%	14.3%

問 21　問 20 の相談機関以外に、あなたが相談したことのある、もしくは相談したことはないが、知っている相談先はありますか。（自由記載）※公的なもの（保健センター、児童センターなど）だけでなく、NPO（特定非営利活動法人）や民間の相談先でも結構です。

・　東京都女性相談センター
・　品川区消費者センター
・　社会福祉協議会
・　病院、病院のソーシャルワーカー
・　税務署
・　消費者苦情センター
・　民生委員
・　区民相談
・　区役所の法律相談
・　品川区高齢者生活相談室
・　保健センター
・　児童センター
・　児童相談所
・　法テラス
・　司法書士
・　NPO 団体
・　こども食堂
・　都民共済でんわ健康相談室
・　HELP、Bond、わかくさ、ウィメンズプラザ、東京弁護士会、ウエルク、フレスク（入管）　／など

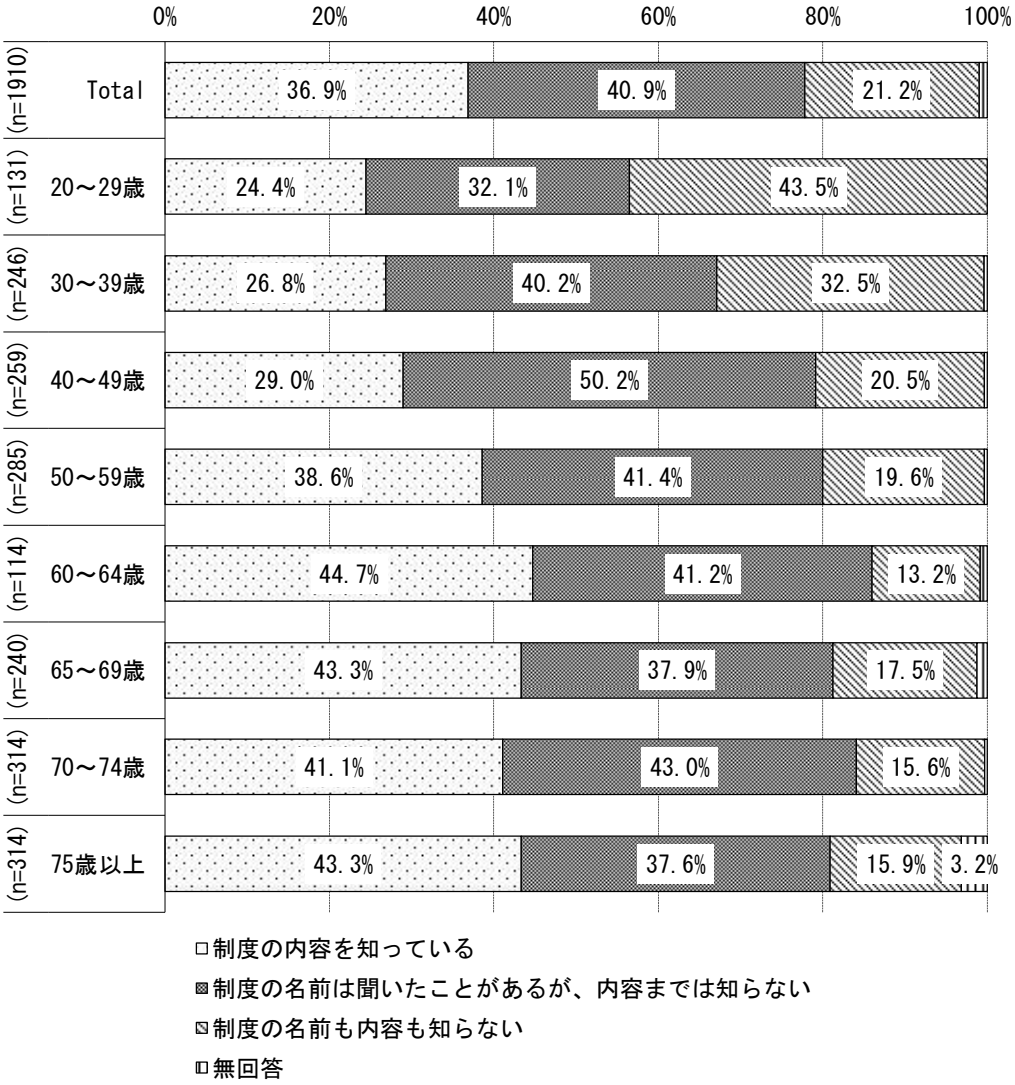
問 22　あなたは、成年後見制度について知っていますか。(1 つに○)

(n=1910)



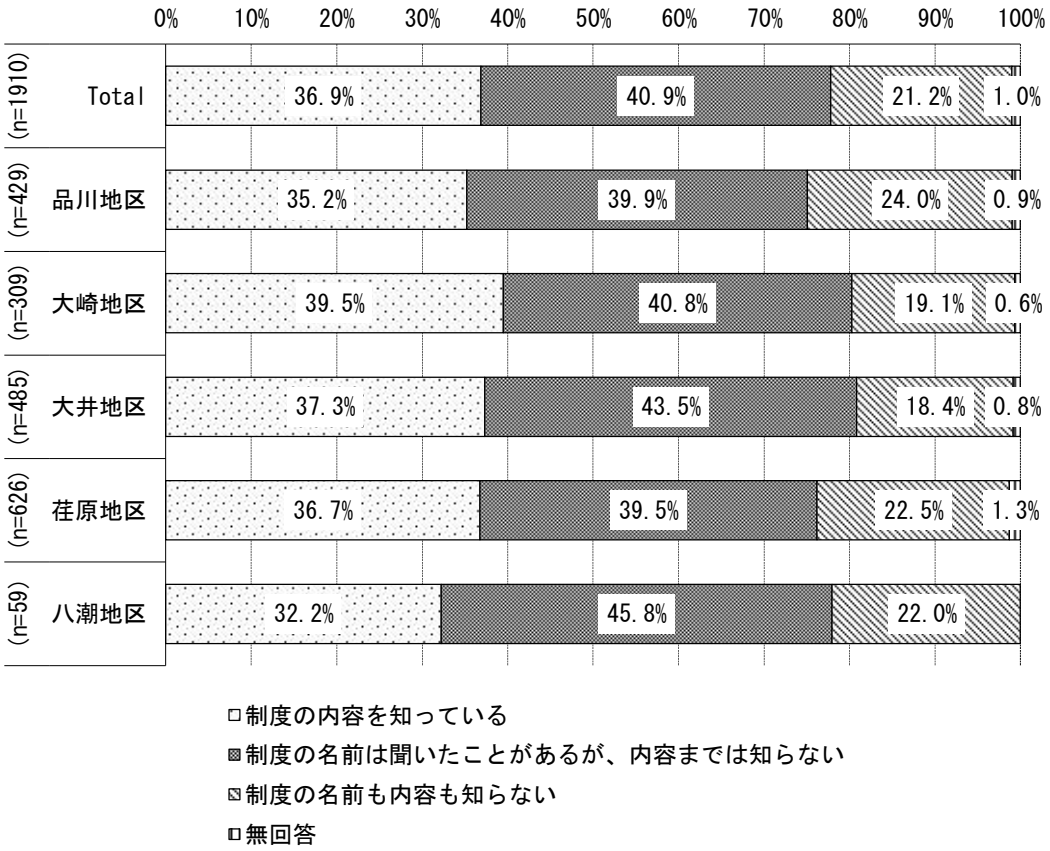
「制度の名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない」の割合が最も高く 40.9%となっている。次いで、「制度の内容を知っている（36.9%)」、「制度の名前も内容も知らない（21.2%)」となっている。

【問 22_年齢区分別】



成年後見制度の認知状況を年齢別にみると、60 歳以上では 4 割以上の人が「制度の内容を知っている」と回答しているが、20 歳～49 歳の年齢区分では、「制度の内容を知っている」の割合は 3 割以下となっている。

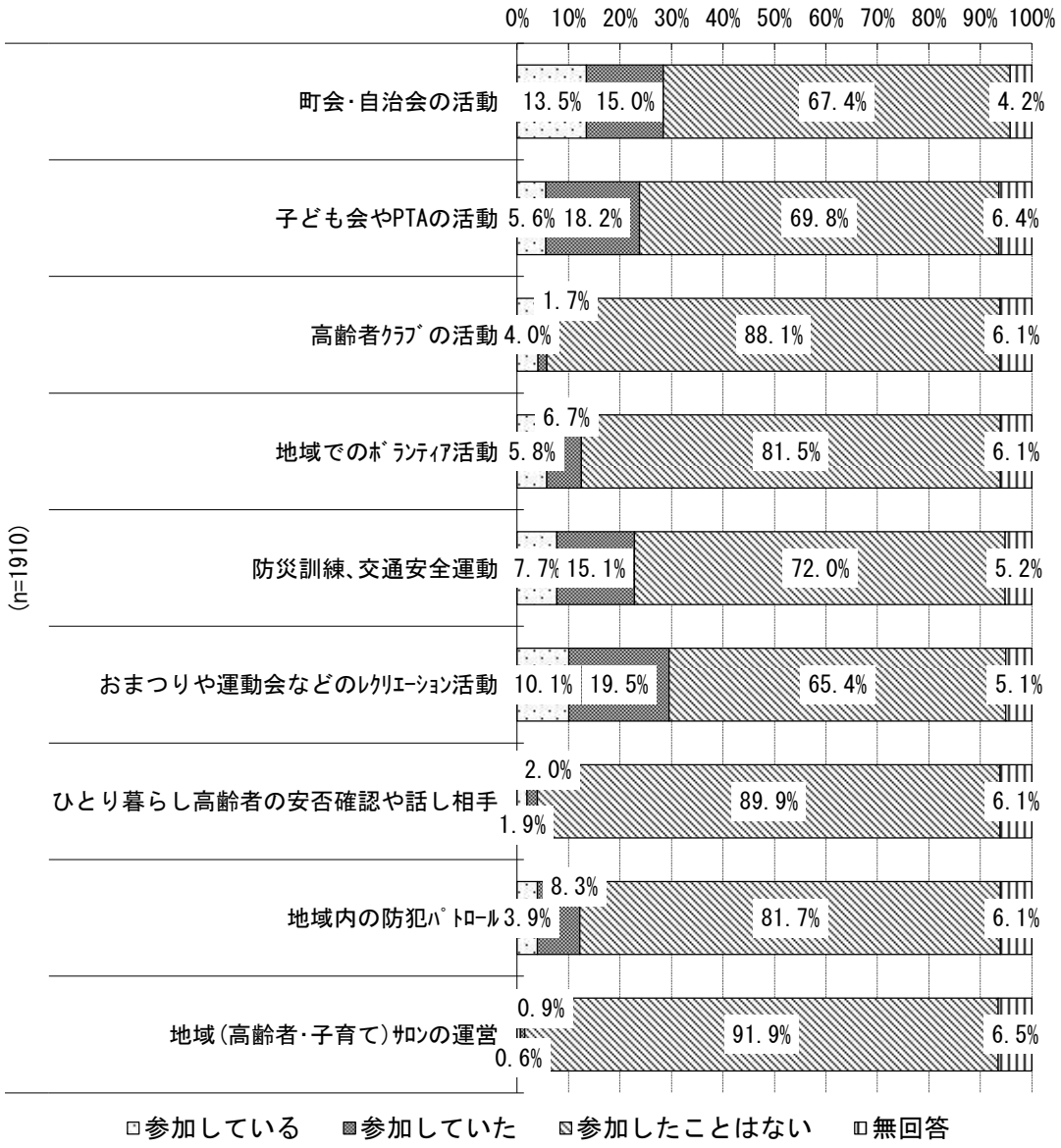
【問 22_地区別】



成年後見制度の認知状況を地区別にみると、「大崎地区」にて「制度の内容を知っている」と回答した割合が 39.5%と高く、「八潮地区」では 32.2%と低くなっている。

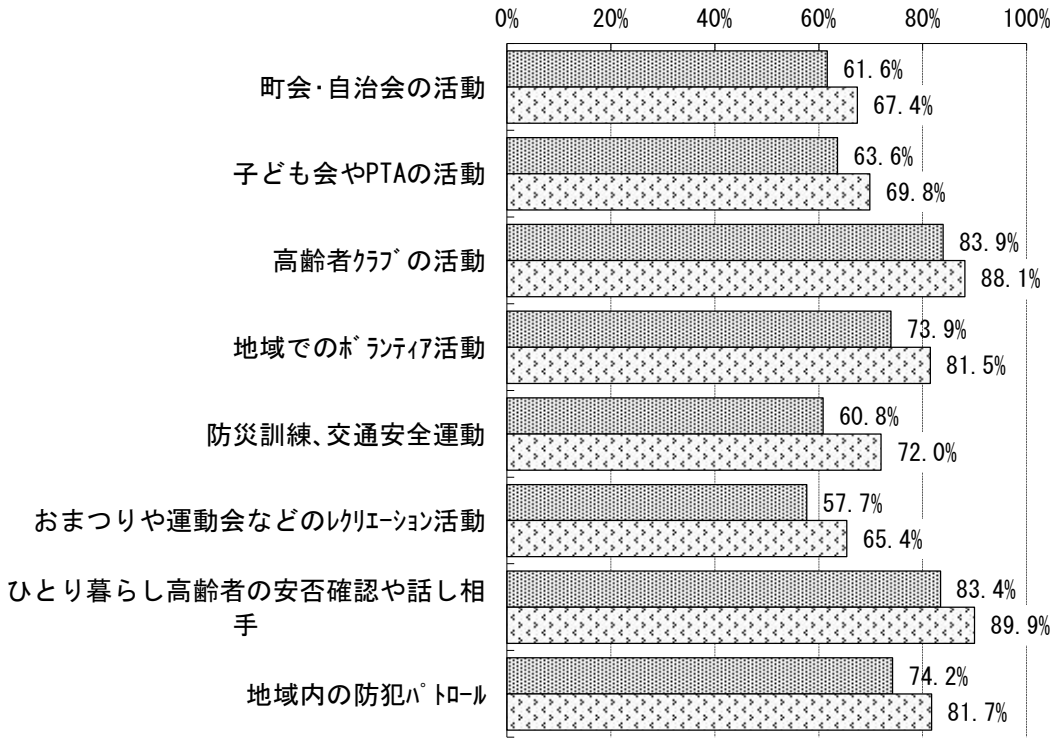
４．地域活動やボランティア活動について

問 23　現在までの地域活動やボランティア活動への参加状況についてお答えください。
（項目ごとに１つに○）



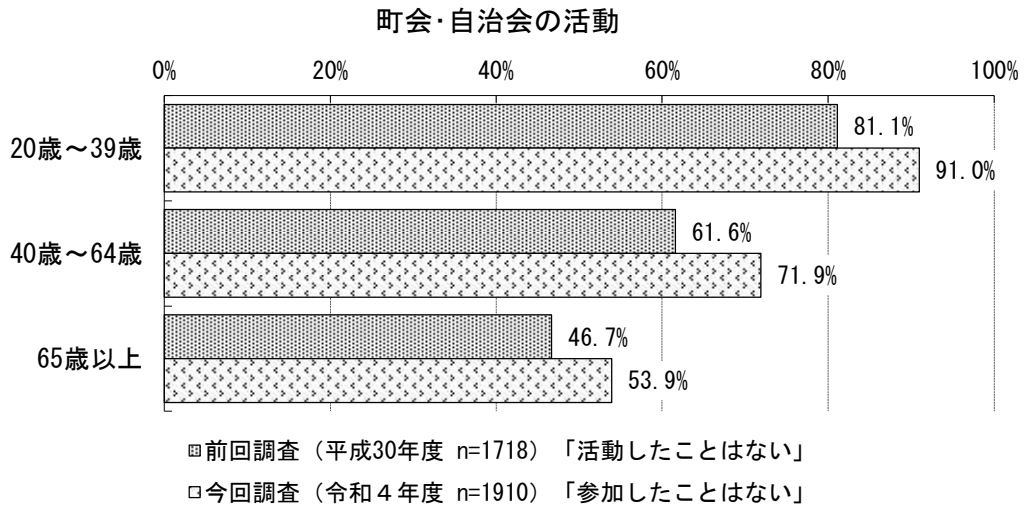
おまつりや運動会などのレクリエーション活動では、「参加している」が 10.1%、「参加していた」が 19.5%、町会・自治会の活動では、「参加している」が 13.5%、「参加していた」が 15.0%、子ども会や PTA の活動では、「参加している」が 5.6%、「参加していた」が 18.2%、防災訓練、交通安全運動では、「参加している」が 7.7%、「参加していた」が 15.1%となっている。

【問 23 の「現在までの地域活動やボランティア活動への参加状況」について、前回調査（平成３０年度）と比較】

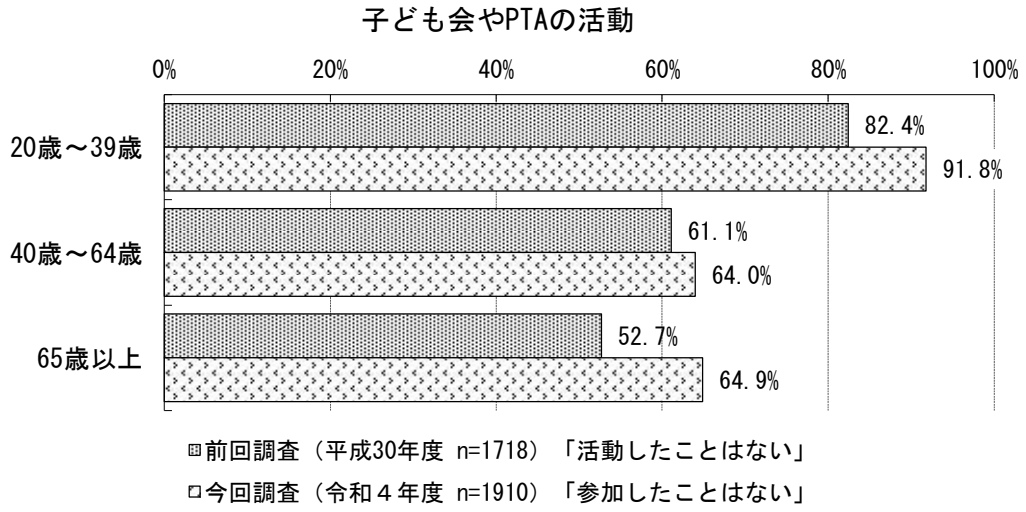


問 23 の「現在までの地域活動やボランティア活動への参加状況」について、前回調査の「活動したことはない」と、今回調査の「参加したことはない」を比較すると、いずれの項目についても、活動に参加したことがないとする割合が高くなっている。

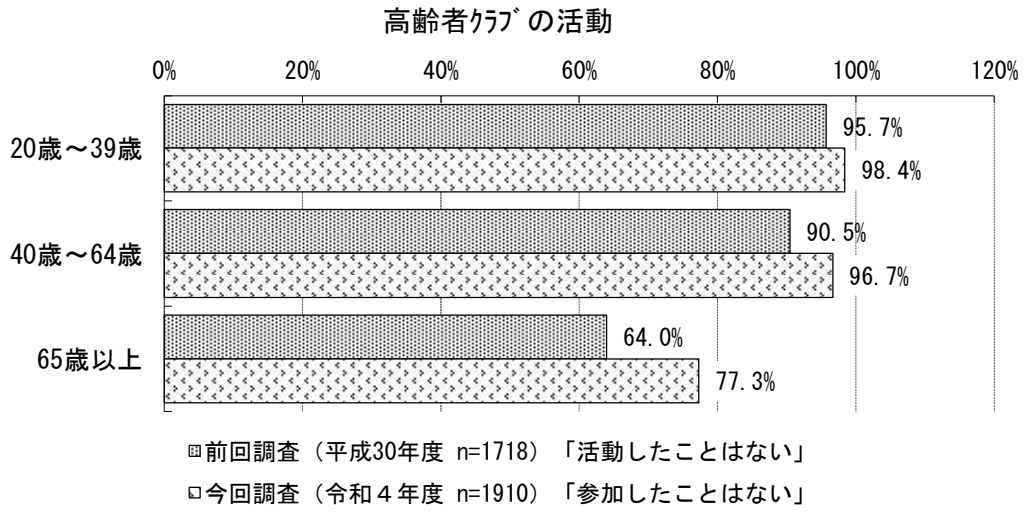
【年齢区分別_町会･自治会の活動】



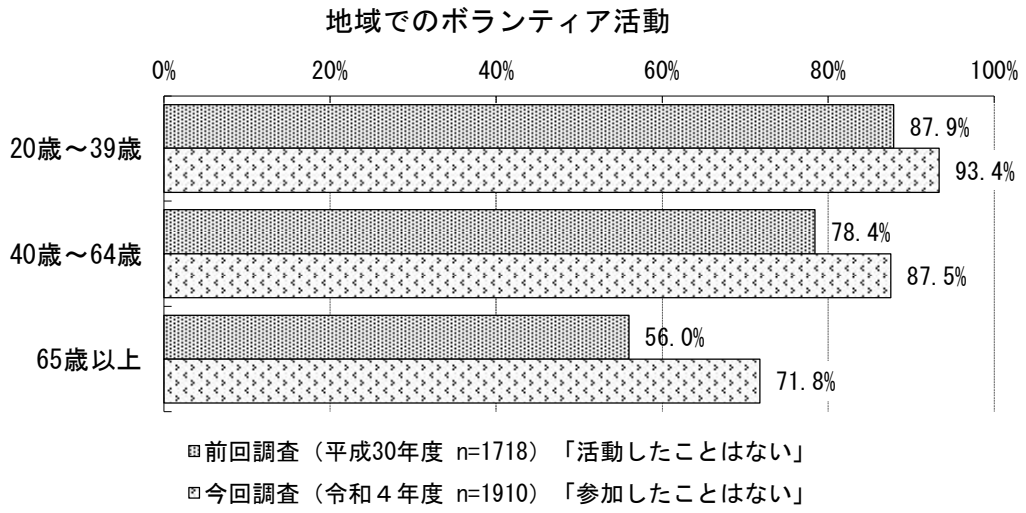
【年齢区分別_子ども会や PTA の活動】



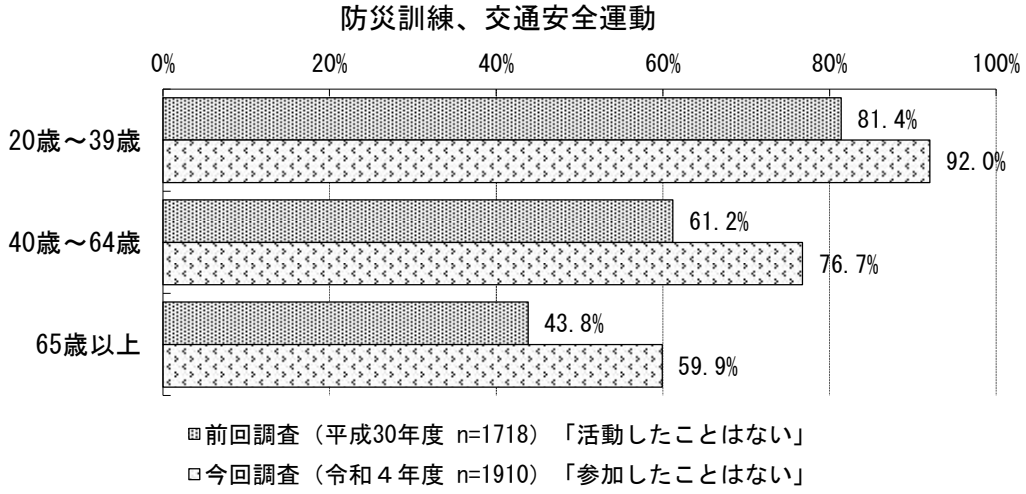
【年齢区分別_高齢者クラブの活動】



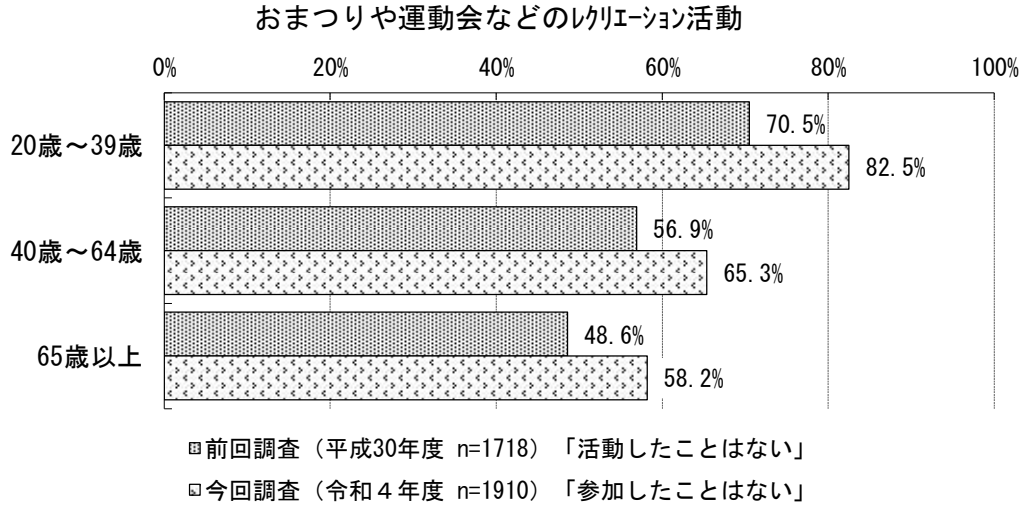
【年齢区分別_地域でのボランティア活動】



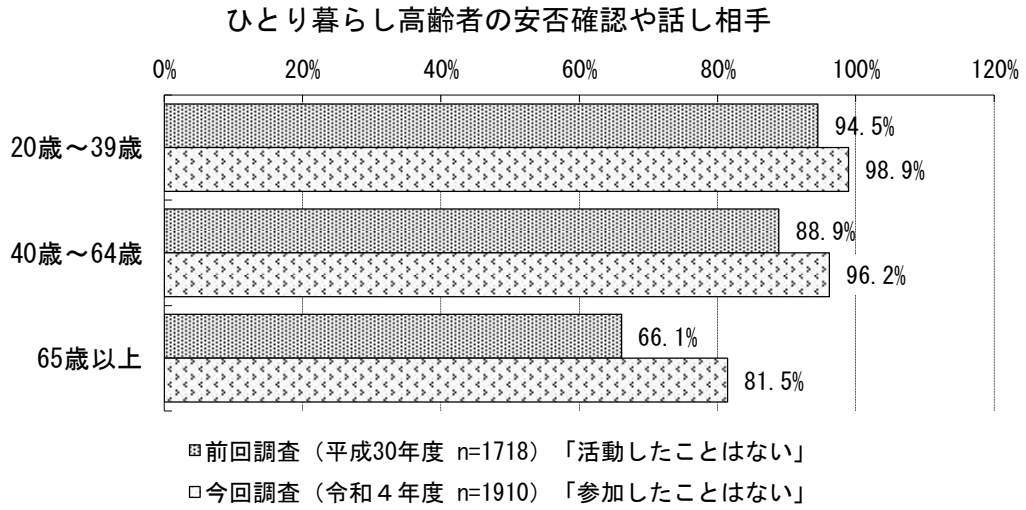
【年齢区分別_防災訓練、交通安全運動】



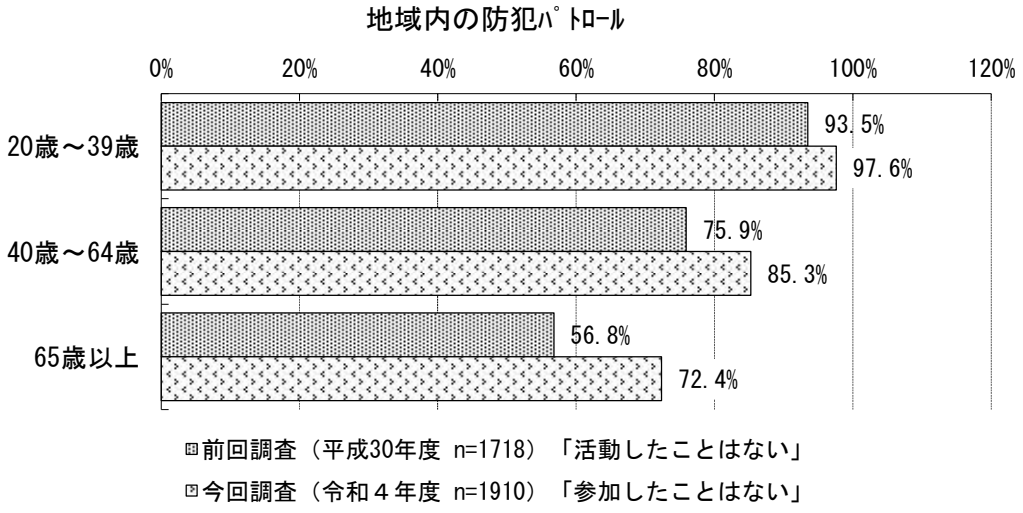
【年齢区分別_おまつりや運動会などのレクリエーション活動】



【年齢区分別_ひとり暮らし高齢者の安否確認や話し相手】

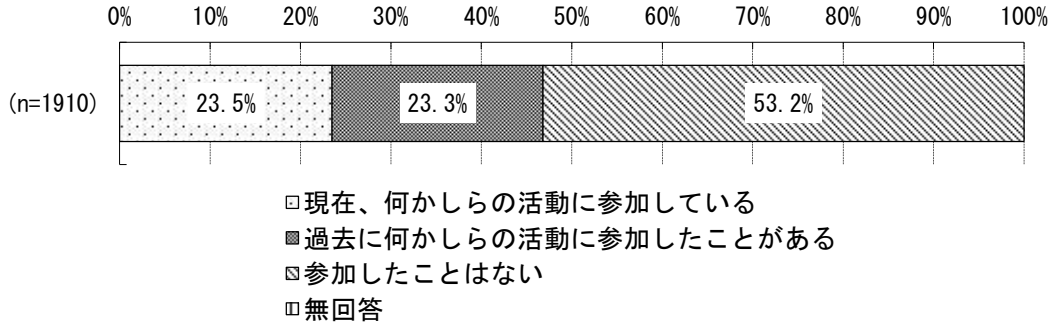


【年齢区分別_地域内の防犯パトロール】



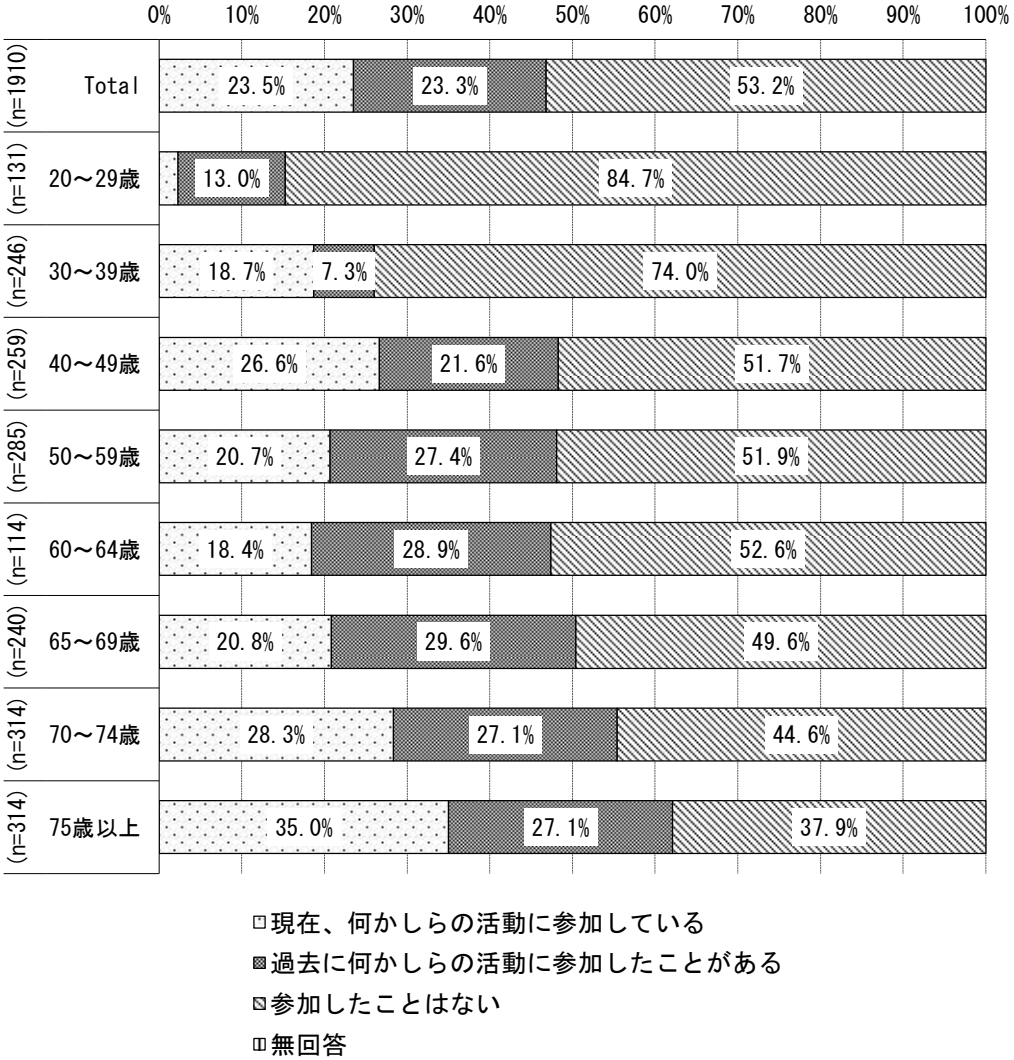
年齢区分別に各地域活動への参加状況を比較すると、いずれの項目についても、活動に参加したことがないとする割合が高くなっている。

【問 23 の「現在までの地域活動やボランティア活動への参加状況」について、活動内容によらず「現在までに何かしらの活動に参加している・参加していたか」で再集計】



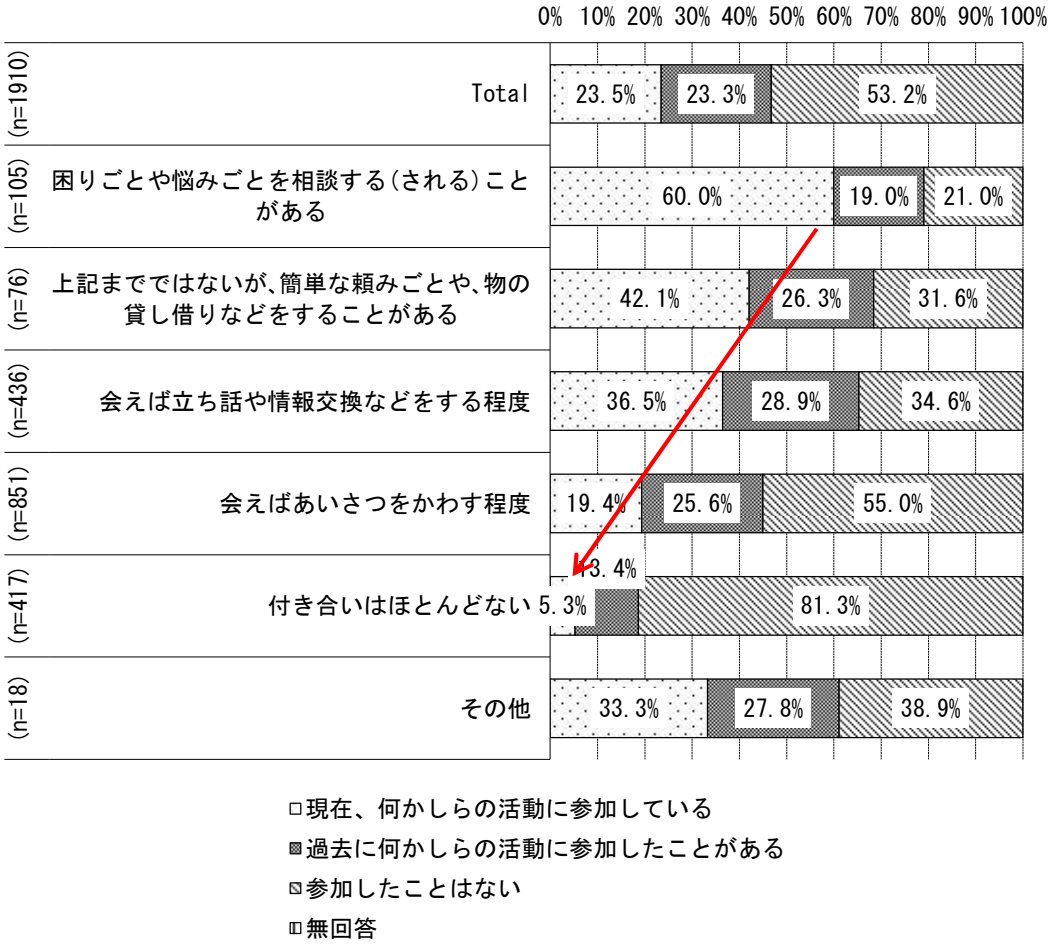
問 23 の「現在までの地域活動やボランティア活動への参加状況」について、活動内容によらず「現在までに何かしらの活動に参加している・参加していたか」で見ると、「現在、何かしらの活動に参加している」が 23.5%、「過去に何かしらの活動に参加したことがある」が 23.3%となっている。

【問 23_現在までに何かしらの活動に参加している・参加していた_年齢区分別】



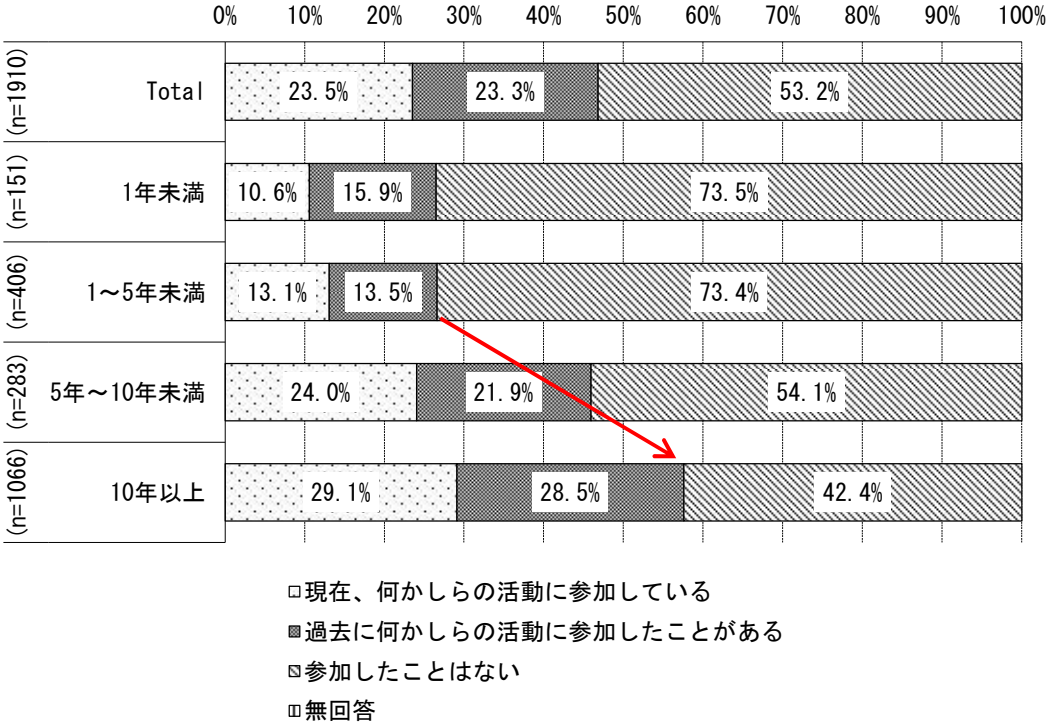
年齢区分別に見ると、40 歳以上の年齢区分では、過去を含め何かしらの活動に参加している・参加したことがあると回答した割が約 5 割となっている。

【問 23_現在までに何かしらの活動に参加している・参加していた_現在のご近所との関わり方別】



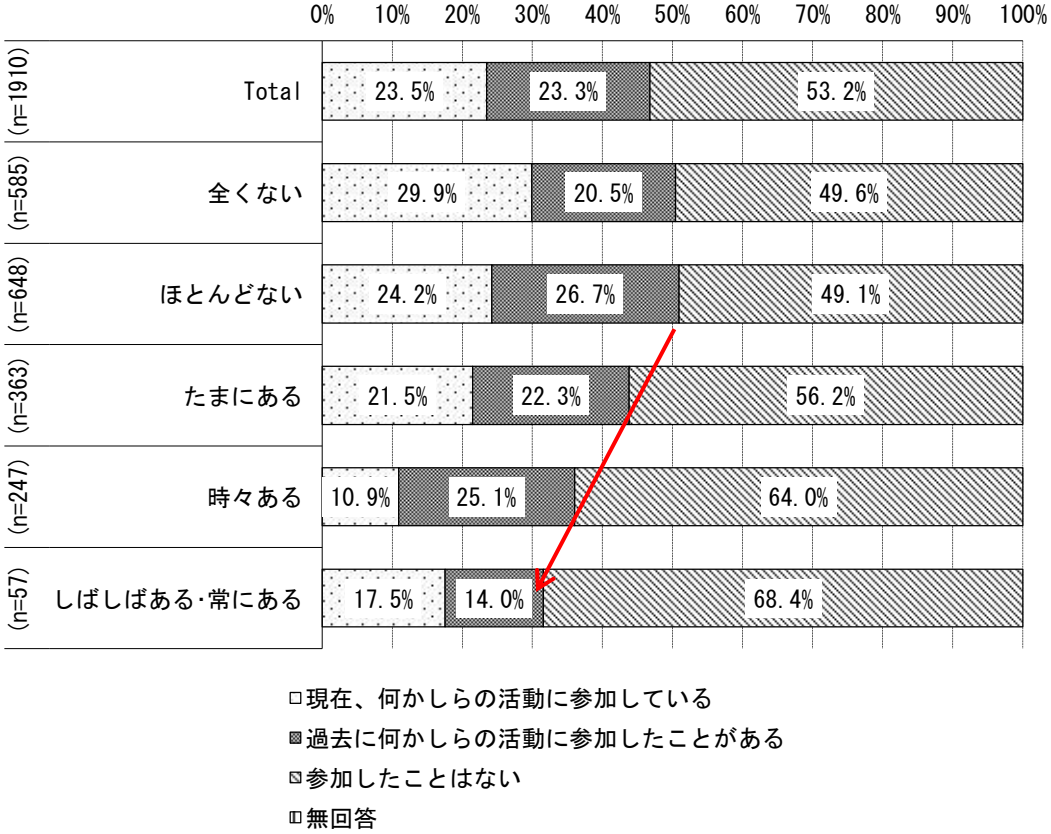
現在のご近所との関わり方別に見ると、ご近所との関わりがあるほど「現在、何かしらの活動に参加している」の割合が高くなっており、「付き合いはほとんどない」の場合は「参加したことがない」の割合が 8 割以上となっている。

【問 23_現在までに何かしらの活動に参加している・参加していた_居住年数別】



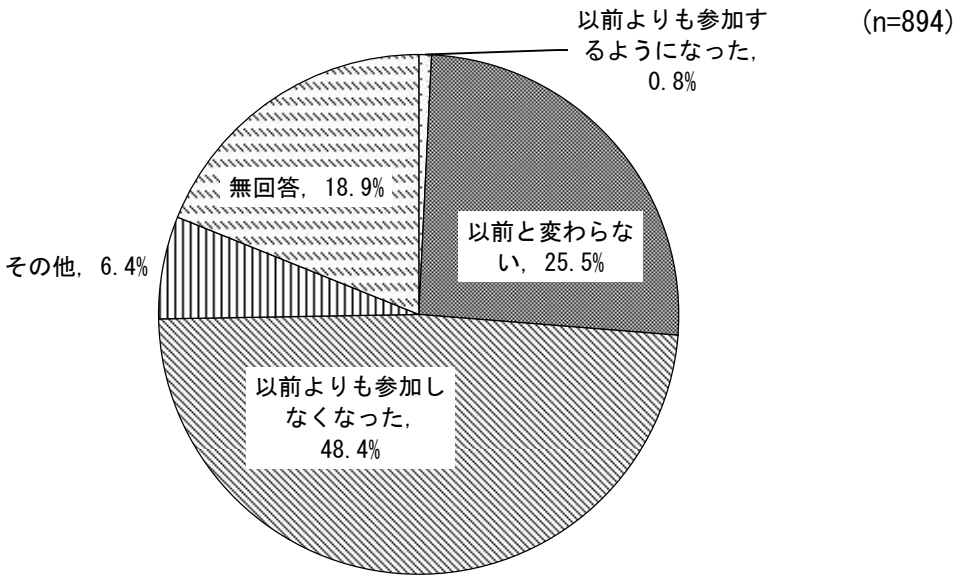
居住年数別に見ると、5 年未満までは「現在、何かしらの活動に参加している」、「過去に何かしらの活動に参加したことがある」の割合が合わせて 25%程度であるが、「5 年～10 年未満」では約 45%、「10 年以上」では約 60%となっている。

【問 23_現在までに何かしらの活動に参加している・参加していた_孤独の状況別】



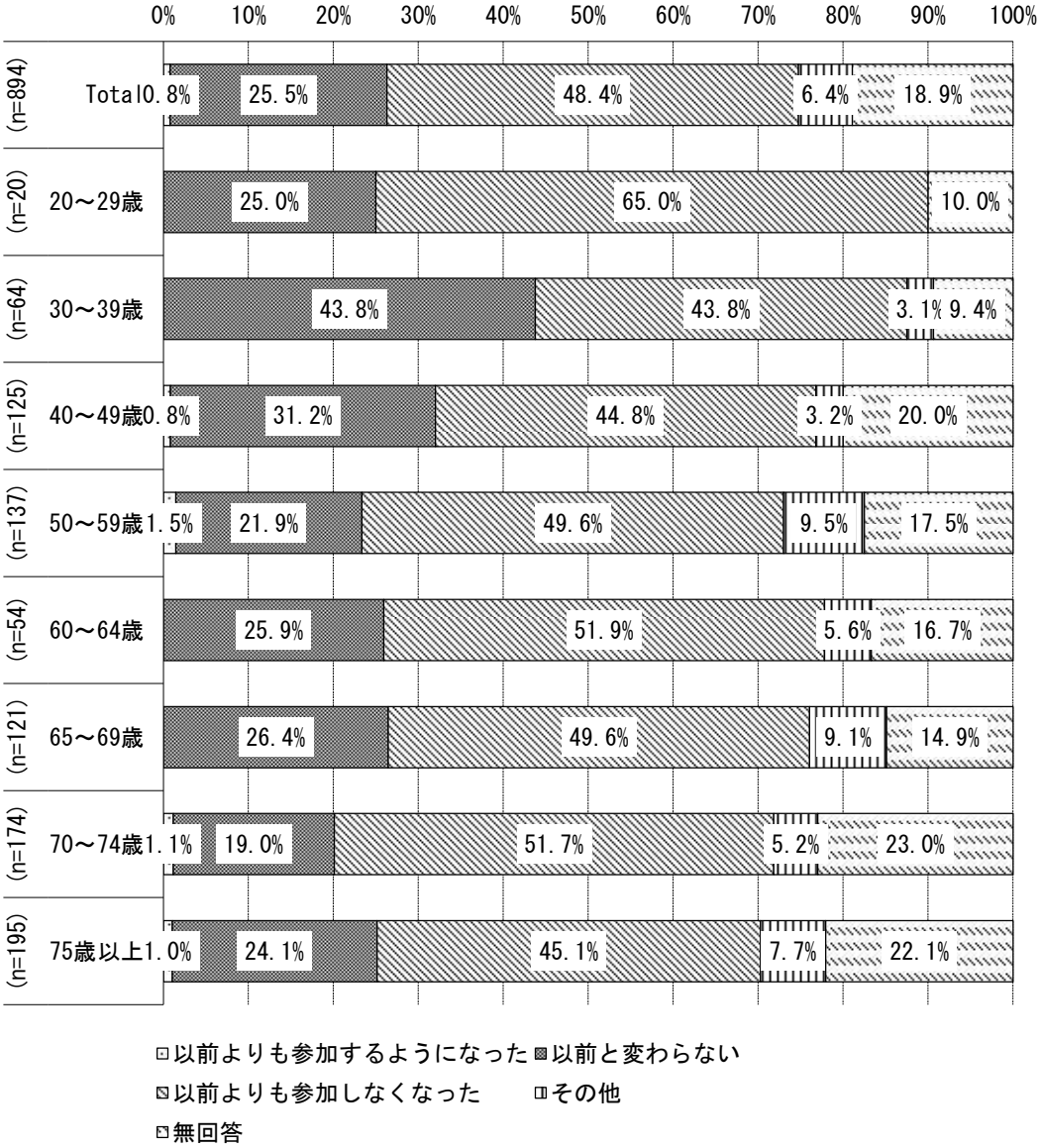
孤独の状況別に見ると、孤独があるとする人ほど「参加したことはない」の割合が高くなっている。

問 24　問 23 で、地域活動やボランティア活動に「１．参加している」　「２．参加していた」と回答した方におたずねします。地域活動やボランティア活動への参加状況は、新型コロナウイルス感染症の流行以前と比べ、どのように変化しましたか。（１つに○）



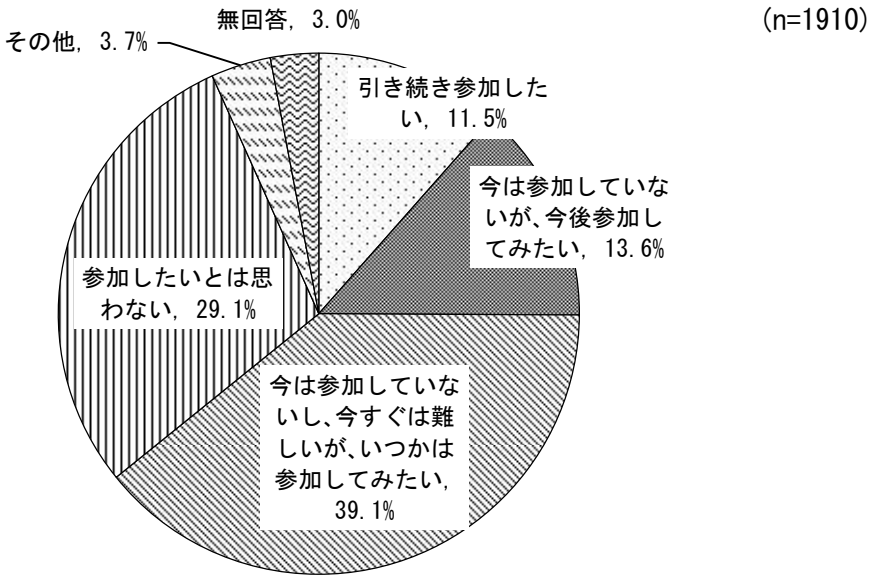
「以前よりも参加しなくなった」の割合が最も高く 48.4%となっている。次いで、「以前と変わらない（25.5%)」、「その他（6.4%)」となっている。

【問 24_年齢区分別】



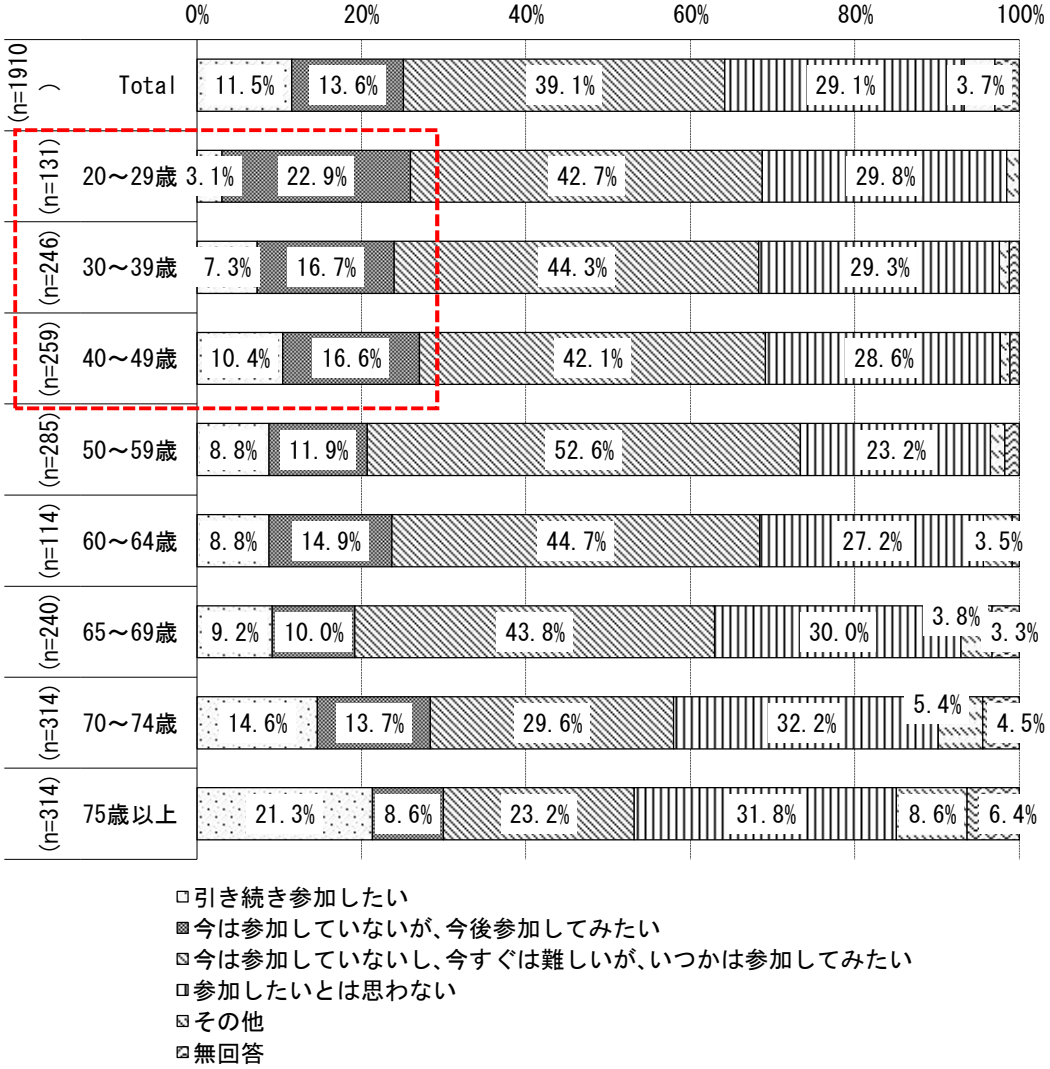
新型コロナウイルス感染症の流行以前との参加状況について年齢区分別にみると、いずれの区分においても、「以前より参加しなくなった」の割合が高くなっている。

問 25　地域活動やボランティア活動への今後の参加意欲についてお答えください。
（１つに○）



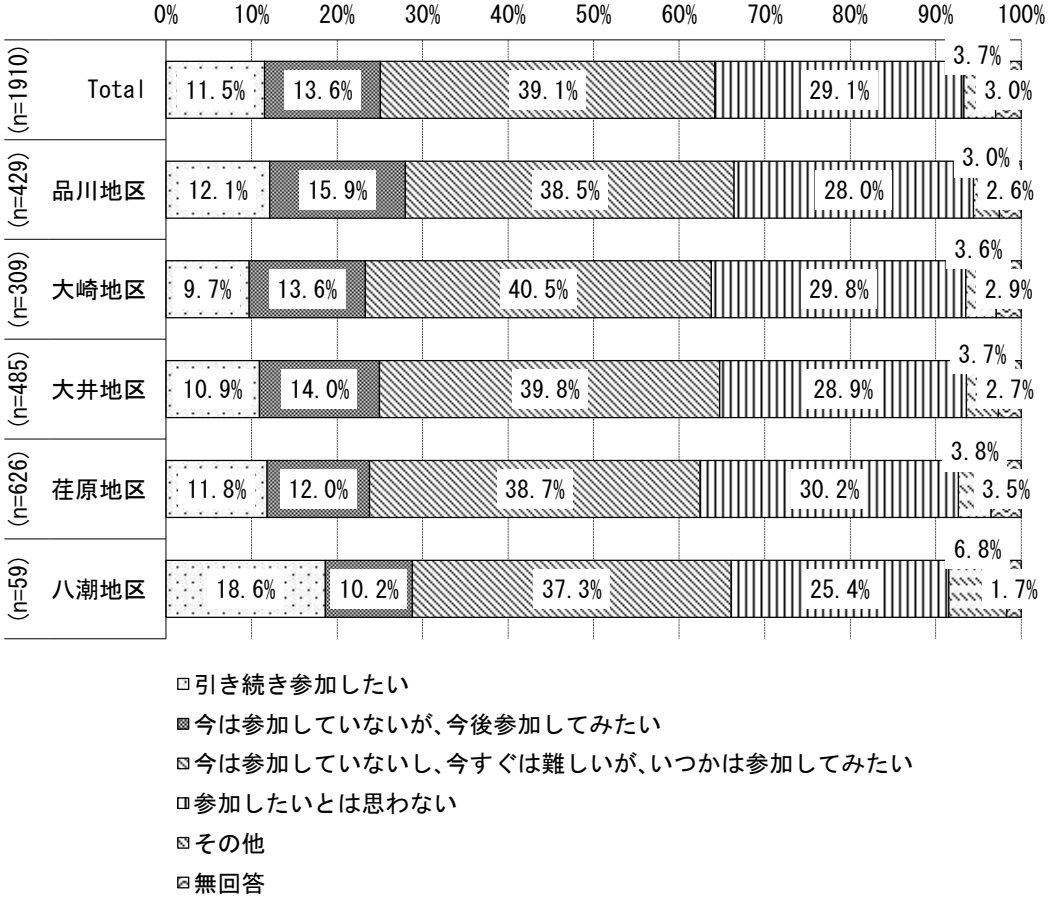
「今は参加していないし、今すぐは難しいが、いつかは参加してみたい」の割合が最も高く 39.1%となっている。次いで、「参加したいとは思わない（29.1%）」、「今は参加していないが、今後参加してみたい（13.6%）」となっている。

【問 25_年齢区分別】



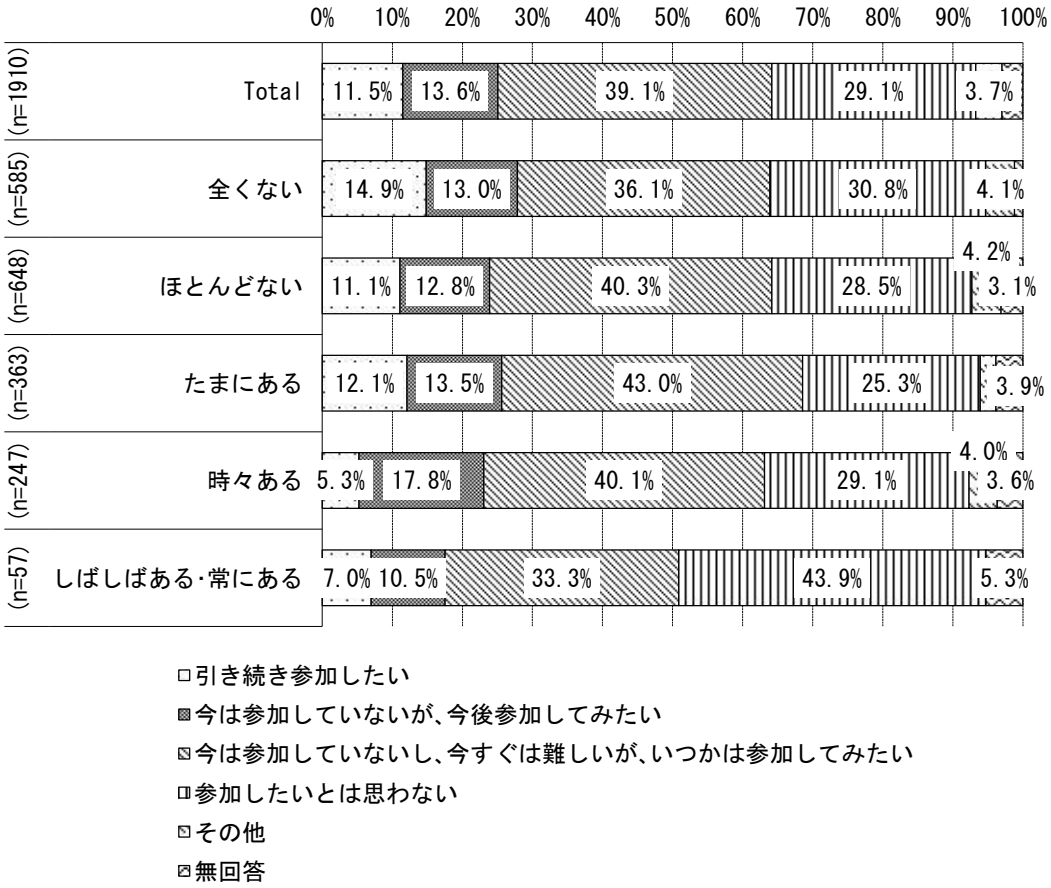
地域活動やボランティア活動への今後の参加意欲を年齢別にみると、いずれの年齢区分においても「参加したいとは思わない」の割合が約 3 割を占めているが、「20～29 歳」では、「今は参加していないが、今後参加してみたい」が 22.9%と他の年齢区分と比べ割合が高く、49 歳までの比較的若い年齢層においても地域活動やボランティア活動に参加している、今後参加してみたいとする割合が一定割合存在している。

【問 25_地区別】



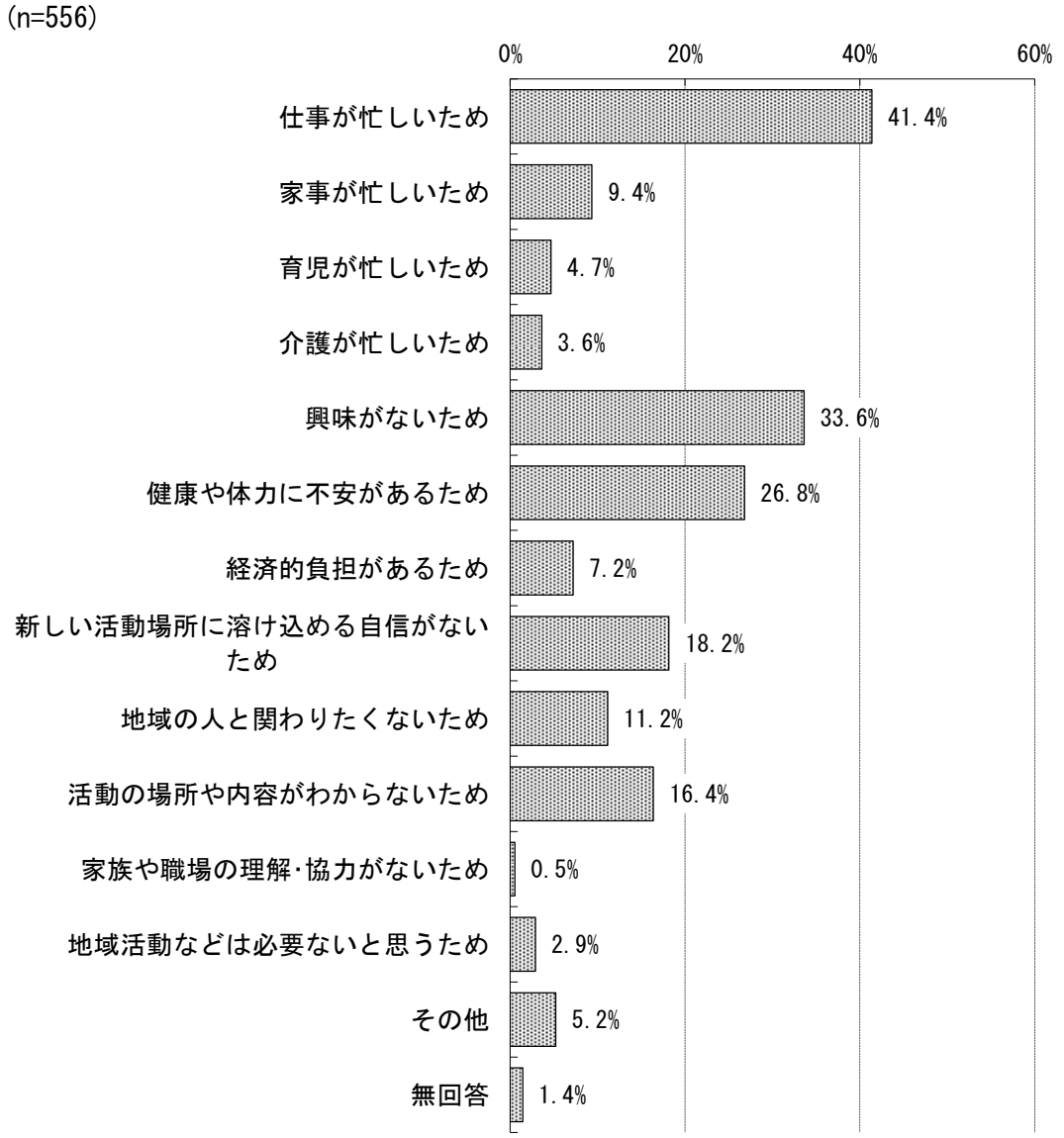
地域活動やボランティア活動への今後の参加意欲を地区別にみると、いずれの年齢区分においても「参加したいとは思わない」の割合が約 3 割を占めているが、「八潮地区」では、「引き続き参加したい」の割合が 18.6%と他の地区と比べ高くなっている。

【問 25_孤独の状況別】



地域活動やボランティア活動への今後の参加意欲を孤独の状況別にみると、孤独が「しばしばある・常にある」では、「参加したいとは思わない」の割合が 43.9%と他の区分と比べ高くなっている。

問 26　問 25 で「4. 参加したいとは思わない」と答えた方におたずねします。参加したいと思わない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



「仕事が忙しいため」の割合が最も高く 41.4%となっている。次いで、「興味がないため（33.6%）」、「健康や体力に不安があるため（26.8%）」となっている。

【問 25_年齢区分別】

	合計	仕事が忙しいため	家事が忙しいため	育児が忙しいため	介護が忙しいため	興味がないため	健康や体力に不安があるため	経済的負担があるため
Total	556	230	52	26	20	187	149	40
	100.0%	41.4%	9.4%	4.7%	3.6%	33.6%	26.8%	7.2%
20～29歳	39	23	5	2	0	20	2	5
	100.0%	59.0%	12.8%	5.1%	0.0%	51.3%	5.1%	12.8%
30～39歳	72	47	11	10	0	29	6	6
	100.0%	65.3%	15.3%	13.9%	0.0%	40.3%	8.3%	8.3%
40～49歳	74	50	9	10	3	30	5	3
	100.0%	67.6%	12.2%	13.5%	4.1%	40.5%	6.8%	4.1%
50～59歳	66	44	11	3	4	19	7	2
	100.0%	66.7%	16.7%	4.5%	6.1%	28.8%	10.6%	3.0%
60～64歳	31	12	4	1	4	9	8	1
	100.0%	38.7%	12.9%	3.2%	12.9%	29.0%	25.8%	3.2%
65～69歳	72	29	4	0	2	27	18	5
	100.0%	40.3%	5.6%	0.0%	2.8%	37.5%	25.0%	6.9%
70～74歳	101	18	5	0	2	27	49	9
	100.0%	17.8%	5.0%	0.0%	2.0%	26.7%	48.5%	8.9%
75歳以上	100	7	3	0	5	26	53	9
	100.0%	7.0%	3.0%	0.0%	5.0%	26.0%	53.0%	9.0%

	合計	新しい活動場所に溶け込める自信がないため	地域の人と関わりたくないため	活動の場所や内容がわからないため	家族や職場の理解･協力がないため	地域活動などは必要ないと思うため	その他	無回答
Total	556	101	62	91	3	16	29	8
	100.0%	18.2%	11.2%	16.4%	0.5%	2.9%	5.2%	1.4%
20～29歳	39	11	6	4	0	1	0	0
	100.0%	28.2%	15.4%	10.3%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%
30～39歳	72	10	12	18	1	5	5	0
	100.0%	13.9%	16.7%	25.0%	1.4%	6.9%	6.9%	0.0%
40～49歳	74	11	9	8	1	2	2	0
	100.0%	14.9%	12.2%	10.8%	1.4%	2.7%	2.7%	0.0%
50～59歳	66	10	7	11	0	3	0	1
	100.0%	15.2%	10.6%	16.7%	0.0%	4.5%	0.0%	1.5%
60～64歳	31	8	4	6	0	1	1	0
	100.0%	25.8%	12.9%	19.4%	0.0%	3.2%	3.2%	0.0%
65～69歳	72	12	8	11	0	3	5	0
	100.0%	16.7%	11.1%	15.3%	0.0%	4.2%	6.9%	0.0%
70～74歳	101	20	9	18	1	1	8	1
	100.0%	19.8%	8.9%	17.8%	1.0%	1.0%	7.9%	1.0%
75歳以上	100	19	7	15	0	0	8	6
	100.0%	19.0%	7.0%	15.0%	0.0%	0.0%	8.0%	6.0%

地域活動やボランティア活動に「参加したいとは思わない」と回答した場合について、参加したくない理由を年齢別にみると、「20～59 歳」では、「仕事が忙しいため」の割合が約 6 割となっている。また、「20～29 歳」では「興味がないため」が 51.3%、「75 歳以上」では「健康や体力に不安があるため」が 53.0%となっている。

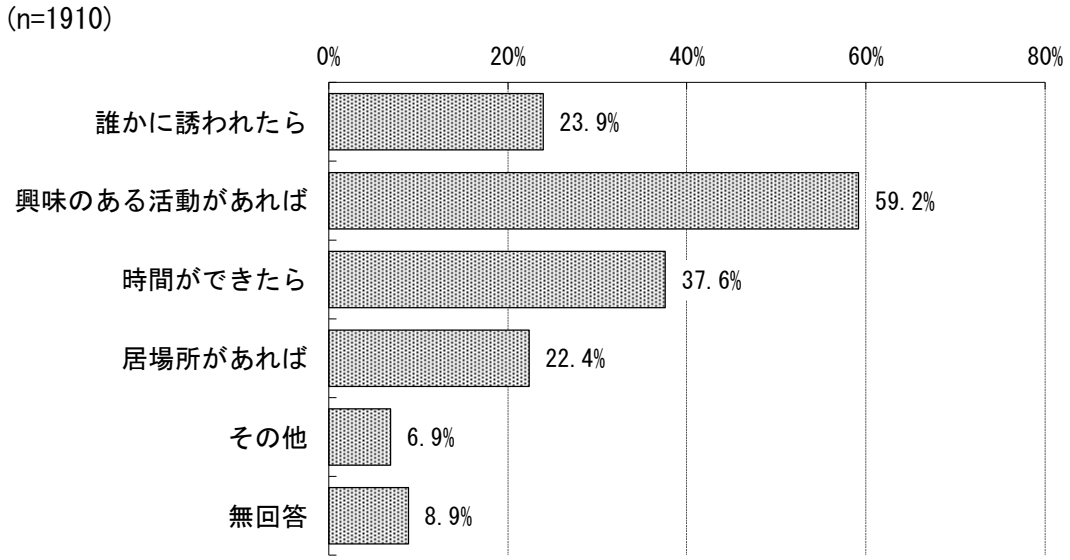
【問 25_孤独の状況別】

	合計	仕事が忙しいため	家事が忙しいため	育児が忙しいため	介護が忙しいため	興味がないため	健康や体力に不安があるため	経済的負担があるため
Total	556	230	52	26	20	187	149	40
	100.0%	41.4%	9.4%	4.7%	3.6%	33.6%	26.8%	7.2%
全くない	180	78	22	14	3	67	31	5
	100.0%	43.3%	12.2%	7.8%	1.7%	37.2%	17.2%	2.8%
ほとんどない	185	79	16	8	7	56	53	9
	100.0%	42.7%	8.6%	4.3%	3.8%	30.3%	28.6%	4.9%
たまにある	92	36	8	2	7	24	35	13
	100.0%	39.1%	8.7%	2.2%	7.6%	26.1%	38.0%	14.1%
時々ある	72	27	6	2	2	30	18	9
	100.0%	37.5%	8.3%	2.8%	2.8%	41.7%	25.0%	12.5%
しばしばある･常にある	25	10	0	0	1	10	11	4
	100.0%	40.0%	0.0%	0.0%	4.0%	40.0%	44.0%	16.0%

	合計	新しい活動場所に溶け込める自信がないため	地域の人と関わりたくないため	活動の場所や内容がわからないため	家族や職場の理解･協力がないため	地域活動などは必要ないと思うため	その他	無回答
Total	556	101	62	91	3	16	29	8
	100.0%	18.2%	11.2%	16.4%	0.5%	2.9%	5.2%	1.4%
全くない	180	22	15	19	1	8	13	4
	100.0%	12.2%	8.3%	10.6%	0.6%	4.4%	7.2%	2.2%
ほとんどない	185	27	15	35	0	4	7	2
	100.0%	14.6%	8.1%	18.9%	0.0%	2.2%	3.8%	1.1%
たまにある	92	28	15	17	2	3	5	0
	100.0%	30.4%	16.3%	18.5%	2.2%	3.3%	5.4%	0.0%
時々ある	72	14	11	15	0	1	3	1
	100.0%	19.4%	15.3%	20.8%	0.0%	1.4%	4.2%	1.4%
しばしばある･常にある	25	10	6	5	0	0	1	0
	100.0%	40.0%	24.0%	20.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%

地域活動やボランティア活動に「参加したいとは思わない」と回答した場合について、参加したくない理由を孤独の状況別にみると、「しばしばある・常にある」では、「地域の人と関わりたくないため」が 24.0%と他に区分と比べ高いが、「新しい活動場所に溶け込める自信がないため」の割合も 40.0%と高くなっている。

問 27　あなたはどういうきっかけがあれば地域活動やボランティアに参加したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



「興味のある活動があれば」の割合が最も高く 59.2%となっている。次いで、「時間ができたら（37.6%）」、「誰かに誘われたら（23.9%）」となっている。

【問 27_年齢区分別】

	合計	誰かに誘われたら	興味のある活動があれば	時間ができたら	居場所があれば	その他	無回答
Total	1910	457	1130	718	427	132	170
	100.0%	23.9%	59.2%	37.6%	22.4%	6.9%	8.9%
20～29歳	131	57	88	54	31	3	1
	100.0%	43.5%	67.2%	41.2%	23.7%	2.3%	0.8%
30～39歳	246	108	165	125	59	8	7
	100.0%	43.9%	67.1%	50.8%	24.0%	3.3%	2.8%
40～49歳	259	72	175	137	55	14	9
	100.0%	27.8%	67.6%	52.9%	21.2%	5.4%	3.5%
50～59歳	285	67	176	149	64	13	11
	100.0%	23.5%	61.8%	52.3%	22.5%	4.6%	3.9%
60～64歳	114	20	69	54	29	10	2
	100.0%	17.5%	60.5%	47.4%	25.4%	8.8%	1.8%
65～69歳	240	36	142	84	57	20	23
	100.0%	15.0%	59.2%	35.0%	23.7%	8.3%	9.6%
70～74歳	314	47	179	61	67	31	46
	100.0%	15.0%	57.0%	19.4%	21.3%	9.9%	14.6%
75歳以上	314	49	132	54	65	32	69
	100.0%	15.6%	42.0%	17.2%	20.7%	10.2%	22.0%

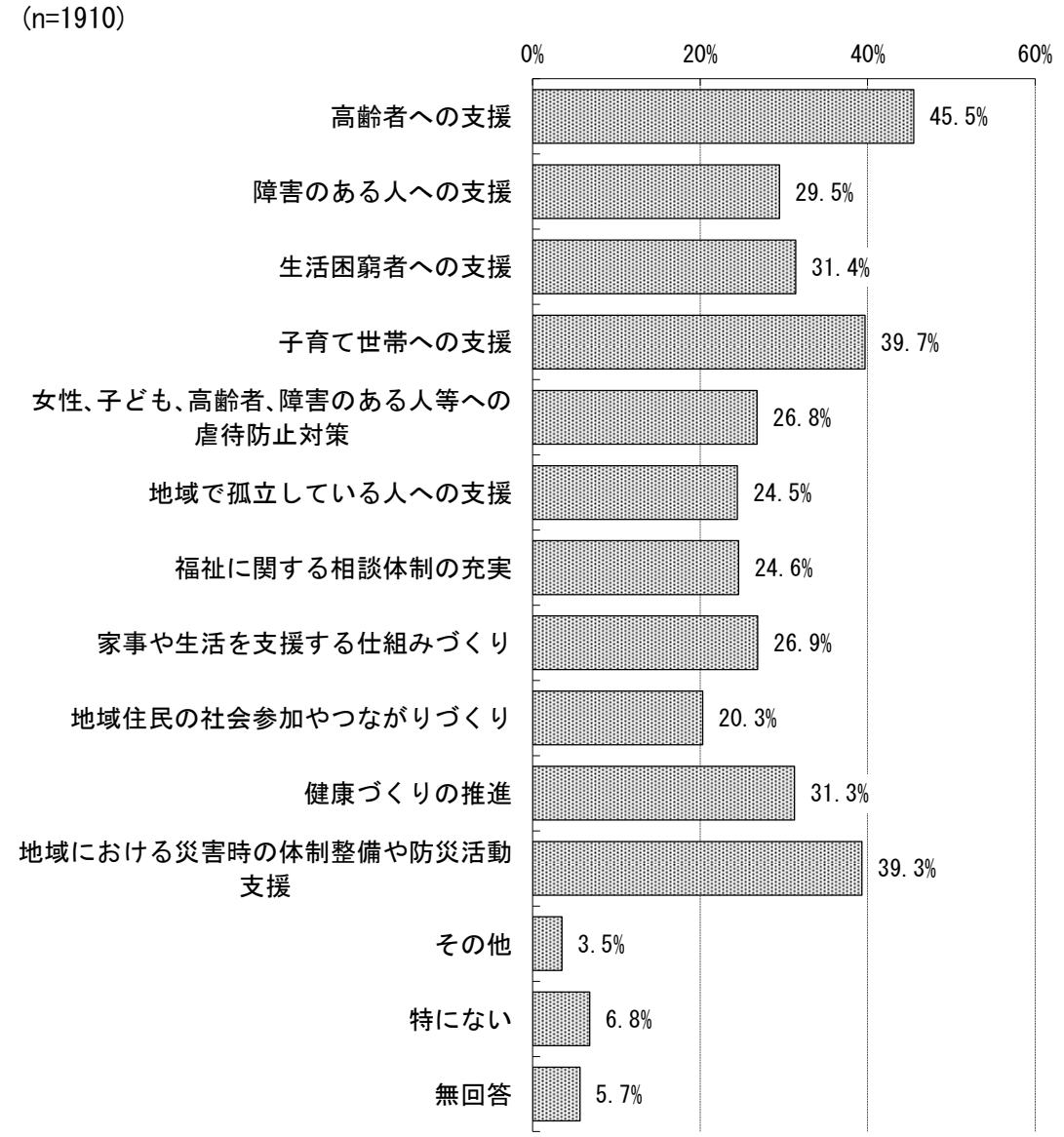
地域活動やボランティア活動への参加のきっかけを年齢区分別にみると、「誰かに誘われたら」では、「20～29 歳」、「30～39 歳」で 4 割以上となっており年齢区分による傾向の差がみられる。

【問 27_孤独の状況別】

	合計	誰かに誘われたら	興味のある活動があれば	時間ができたら	居場所があれば	その他	無回答
Total	1910	457	1130	718	427	132	170
	100.0%	23.9%	59.2%	37.6%	22.4%	6.9%	8.9%
全くない	585	142	326	233	102	37	50
	100.0%	24.3%	55.7%	39.8%	17.4%	6.3%	8.5%
ほとんどない	648	146	387	246	147	48	53
	100.0%	22.5%	59.7%	38.0%	22.7%	7.4%	8.2%
たまにある	363	80	226	136	89	24	40
	100.0%	22.0%	62.3%	37.5%	24.5%	6.6%	11.0%
時々ある	247	69	162	87	73	17	13
	100.0%	27.9%	65.6%	35.2%	29.6%	6.9%	5.3%
しばしばある･常にある	57	20	28	16	16	5	6
	100.0%	35.1%	49.1%	28.1%	28.1%	8.8%	10.5%

地域活動やボランティア活動への参加のきっかけを孤独の状況別にみると、「誰かに誘われたら」では、孤独が「時々ある」で 27.9%、「しばしばある・常にある」で 35.1%と高くなっている。

問 28　地域で充実してほしい施策についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）
※施策について、具体的な意見があれば、自由記載欄に記載してください。



「高齢者への支援」の割合が最も高く 45.5%となっている。次いで、「子育て世帯への支援（39.7%）」、「地域における災害時の体制整備や防災活動支援（39.3%）」となっている。

【問 28_年齢区分別】

	合計	高齢者への支援	障害のある人への支援	生活困窮者への支援	子育て世帯への支援	女性、子ども、高齢者、障害のある人等への虐待防止対策	地域で孤立している人への支援	福祉に関する相談体制の充実
Total	1910	869	563	600	758	512	467	470
	100.0%	45.5%	29.5%	31.4%	39.7%	26.8%	24.5%	24.6%
20～29歳	131	21	21	39	78	39	14	12
	100.0%	16.0%	16.0%	29.8%	59.5%	29.8%	10.7%	9.2%
30～39歳	246	47	45	39	156	63	52	29
	100.0%	19.1%	18.3%	15.9%	63.4%	25.6%	21.1%	11.8%
40～49歳	259	85	55	57	127	62	55	50
	100.0%	32.8%	21.2%	22.0%	49.0%	23.9%	21.2%	19.3%
50～59歳	285	152	104	101	93	86	73	82
	100.0%	53.3%	36.5%	35.4%	32.6%	30.2%	25.6%	28.8%
60～64歳	114	70	45	47	49	39	37	37
	100.0%	61.4%	39.5%	41.2%	43.0%	34.2%	32.5%	32.5%
65～69歳	240	135	77	87	82	67	66	70
	100.0%	56.3%	32.1%	36.3%	34.2%	27.9%	27.5%	29.2%
70～74歳	314	196	117	129	98	87	92	87
	100.0%	62.4%	37.3%	41.1%	31.2%	27.7%	29.3%	27.7%
75歳以上	314	162	98	100	74	69	77	102
	100.0%	51.6%	31.2%	31.8%	23.6%	22.0%	24.5%	32.5%

	合計	家事や生活を支援する仕組みづくり	地域住民の社会参加やつながりづくり	健康づくりの推進	地域における災害時の体制整備や防災活動支援	その他	特にない	無回答
Total	1910	513	388	597	751	67	130	108
	100.0%	26.9%	20.3%	31.3%	39.3%	3.5%	6.8%	5.7%
20～29歳	131	55	26	34	31	7	10	2
	100.0%	42.0%	19.8%	26.0%	23.7%	5.3%	7.6%	1.5%
30～39歳	246	107	42	77	95	4	10	5
	100.0%	43.5%	17.1%	31.3%	38.6%	1.6%	4.1%	2.0%
40～49歳	259	59	47	64	91	17	20	10
	100.0%	22.8%	18.1%	24.7%	35.1%	6.6%	7.7%	3.9%
50～59歳	285	58	45	84	141	14	18	9
	100.0%	20.4%	15.8%	29.5%	49.5%	4.9%	6.3%	3.2%
60～64歳	114	25	32	39	56	5	3	6
	100.0%	21.9%	28.1%	34.2%	49.1%	4.4%	2.6%	5.3%
65～69歳	240	50	50	84	95	4	24	16
	100.0%	20.8%	20.8%	35.0%	39.6%	1.7%	10.0%	6.7%
70～74歳	314	91	77	113	126	7	24	18
	100.0%	29.0%	24.5%	36.0%	40.1%	2.2%	7.6%	5.7%
75歳以上	314	67	69	100	114	9	20	41
	100.0%	21.3%	22.0%	31.8%	36.3%	2.9%	6.4%	13.1%

地域で充実してほしい施策について年齢区分別にみると、「高齢者への施策」では、50 歳以上の年齢区分でいずれも 5 割以上の回答となっており、65 歳以上となる以前から関心が高いことが伺える。一方で、「子育て世帯への支援」、「家事や生活を支援する仕組みづくり」では、「20～29 歳」、「30～39 歳」の年齢区分で他の区分と比べ高い割合となっている。

【問 28_地区別】

	合計	高齢者への支援	障害のある人への支援	生活困窮者への支援	子育て世帯への支援	女性、子ども、高齢者、障害のある人等への虐待防止対策	地域で孤立している人への支援	福祉に関する相談体制の充実
Total	1910	869	563	600	758	512	467	470
	100.0%	45.5%	29.5%	31.4%	39.7%	26.8%	24.5%	24.6%
品川地区	429	208	126	130	168	115	113	99
	100.0%	48.5%	29.4%	30.3%	39.2%	26.8%	26.3%	23.1%
大崎地区	309	135	90	97	129	91	73	73
	100.0%	43.7%	29.1%	31.4%	41.7%	29.4%	23.6%	23.6%
大井地区	485	206	149	155	189	136	109	123
	100.0%	42.5%	30.7%	32.0%	39.0%	28.0%	22.5%	25.4%
荏原地区	626	287	177	193	249	154	157	160
	100.0%	45.8%	28.3%	30.8%	39.8%	24.6%	25.1%	25.6%
八潮地区	59	33	21	25	23	16	15	15
	100.0%	55.9%	35.6%	42.4%	39.0%	27.1%	25.4%	25.4%

	合計	家事や生活を支援する仕組みづくり	地域住民の社会参加やつながりづくり	健康づくりの推進	地域における災害時の体制整備や防災活動支援	その他	特にない	無回答
Total	1910	513	388	597	751	67	130	108
	100.0%	26.9%	20.3%	31.3%	39.3%	3.5%	6.8%	5.7%
品川地区	429	118	92	144	182	12	30	25
	100.0%	27.5%	21.4%	33.6%	42.4%	2.8%	7.0%	5.8%
大崎地区	309	85	77	93	121	14	18	9
	100.0%	27.5%	24.9%	30.1%	39.2%	4.5%	5.8%	2.9%
大井地区	485	134	96	148	190	20	37	24
	100.0%	27.6%	19.8%	30.5%	39.2%	4.1%	7.6%	4.9%
荏原地区	626	165	110	187	239	18	42	44
	100.0%	26.4%	17.6%	29.9%	38.2%	2.9%	6.7%	7.0%
八潮地区	59	11	13	25	19	2	3	5
	100.0%	18.6%	22.0%	42.4%	32.2%	3.4%	5.1%	8.5%

地域で充実してほしい施策について地区別にみると、「八潮地区」では、「高齢者への施策」や「障害のある人への支援」、「生活困窮者への支援」、「健康づくりの推進」の割合が他の地区と比べ高くなっている。

【問 28_具体的な意見_年齢区分別】

年齢区分	主な意見
20～29 歳	**（子育て）** ・　子どもがいる世帯への家賃補助や、所得制限のない子ども手当や子育てしやすい制度がいい。家族が増えたので広い家に引越しを検討しているが、品川区に住みつづけたい。より住みやすくなるとよい。 ・　若い世代や子ども支援に力を入れてほしい。未来ある子どもがこれ以上少なくならないように、産める環境や金銭面での支援は課題があると思うし、改善がほとんどされてないように思う。不妊治療が保険適応になったことは少子化改善の第一歩だと思うが、正直産める世代が産まない選択肢をしていること、しなければいけない原因が何かをはっきりさせないと今後も産まない人が増え続けていくだろうと思う。 ・　保育料がこんなにも高いと思っていなかった。区だけではなく日本全体で少子化になる理由もわからなくないなと実際に子どもを妊娠して感じた。 **（地域の場、イベントなど）** ・　コロナが流行し、より健康について考えるようになった。自由に体を動かせる場所が増えるとうれしい。（以前より家の中ですごすことが増え、体を動かすことが少なくなったのですが、やはり運動すると気持がいいので） ・　地域の運動イベントなど **（マイノリティ支援）**

	・ LGBT 当事者が結婚と同じメリットを受けることができる施策をお願いします。（LGBT というよりは G、B、L の方で同性と結婚したい方）LGBT の当事者が交流できるセミナーを開催してほしい。「性の多様性と人権」についての講演会を開催していると思うが、いつも平日で参加できず残念。土日に開催してほしい。 **（情報発信）** ・ 明石市など地域で独自の支援などを行っている市区町村が増えているが、品川区ではどんな活動を行っているかがあまり分からないので、広報誌だけでなく SNS 等で発信していってほしい。 ・ 自分が、地域で行われている施策についてほとんど知らないことが分かった。ただ、図書取次施設については普段から利用しており、品川区内の図書を予約して取り寄せることで、自由に読むことができる点に魅力を感じているが、この施設を含め、全体的にあまり周知されていないように思う。 **（その他）** ・ 高齢者、マイノリティの方がもっと住みやすい街になるとよい。 ・ 以前別地域に住んでいた時は保険料か年金の免除の申請をしてくれる人が来ていたが、品川区ではどうして良いか分からないし、昼夜逆転してしまっているので、窓口へ行けず困っている。 ・ コロナに対する支援を増やしてほしい。 ・ 上京した学生なので地域とのつながりはあまりないが、銭湯によく行くときに様々な活動があることを知った。高齢の利用者も多いので、つながりの場になっているのだなと日々感じている。 ・ 北品川駅の隣に線路があり、なかなか渡れない時が多々あり、反対側にも改札口をつくって欲しい。
30～39 歳	**（子育て）** ・ コロナになり、子育てに孤立を感じているママが多いように感じる。孤立からメンタルの不安定、虐待などつながってしまう。わかりやすい支援など求めます。（産院などでパンフレットや情報提供など、産後だとどこに手助けを求めてよいかわからない。） ・ 乳幼児が参加できるイベントがほとんどない。大人と話したいと思って児童センターに行っても職員さんは事務室にいるだけで、話してくれない。ママ達ともきっかけがないのでなかなか話せず。孤独を感じる。 ・ 子育て世帯への支援で親向けの常識・マナー講習をして欲しい。子育て世代を皆で守っていこうという気持ちではいるが、周りには無関心で関わろうとするこちらが悪いという自己中心で中身の薄い方々が多い気がする。気付いてもらうためにも行政で講習を開いて欲しい。 ・ 令和 4 年に出産し、ニュースで子どものいる世帯への 10 万円給付や、今後の出産育児一時金の大幅増額のニュースがあったが、どれも該当せずとても残念な気持ち。令和 4 年度の出生児へも支援が出来てくれたら嬉しい。 ・ ひとり親世帯だが年収制限により区の援助を全く受けらない。所得がある理由は、子を 2030 まで保育園に預けて働いているからで、他の家族よりも長

時間労働のため。ひとり親の支援に所得制限をつけることに反対。とても辛い。

- 子ども手当てを一律1万5000円にしてもらいたい。所得で分けるのはどうなのかと思う。子どもの手当ては平等であってほしい。
- 品川区のファミリーサポートにて会員登録したものの、サポートする方がおらず、また人気のため結局使用できず、外部のポピンズシッターやキッズラインなどを高額で利用している。本気で子育て支援する気ならこの状況はいかがなものか。
- 子育て世帯や子どもへの支援を手厚くすべき。将来のない高齢者への支援は不要。
- 育児、出産などと仕事、生活の両立がしやすいような支援、制度の充実・妊娠中の保育要件（出産要件での期間拡大など）改善を求める。現在は予定月と前後各2か月：計5か月のみ。妊婦は24時間辛いです。
- 子育てなど、未来への投資を積極的に行っていただきたい。
- 明石市のように大規模な子育て支援の拡充を希望。
- 品川区を子育ての街にしてほしい。

（地域の場、イベントなど）

- 職場が大田区付近にあるが、大田区に比べ品川区は区の体育館やプールが場所や時間が利用しにくい。
- 江戸川区の瑞江や一之江のように移動式の鏡を設置してダンスの練習などに使用できる施設を充実させて欲しい。現在もコミュニティセンターや大規模な施設の貸出はあるかもしれないが、時間帯が午前午後など大きな括りでの貸出が多く、少人数や短時間で少し借りたい時は使いづらいと感じる。1時間単位や、少人数や個人でも安価に借りられる施設を増やして欲しい。
- 横浜にあるボーネルンドの施設のような雨の日にも遊びに行ける無料の施設を作って欲しい。大井にある品川歴史資料館の中の一部になど、区立の博物館の中などにそうゆう場所があると、子どもも集まる施設になって良いと思う。

（情報発信）

- 情報難民のような気がしている。SNSなどを使用して、もっと子育て世帯の関連情報など流してほしい。仕事などで時間がないとなかなか自分から探せない。知らなくて損してしまうことのないようにしてほしい。
- 実際に自分が問題を抱えないと、今利用できる制度や仕組みを調べることはあまりなく、問題に直面しても知らないが為に利用していないこともあるので、その”認知”をどう区民にしていくのか。ここを考えていくことはできないか。その制度が良ければ、安心にも繋がり、リスク管理もできる。
- 中高生の頃は夏休みを利用して障害者福祉施設のボランティアに参加していたが、社会人になると情報が入って来ないので参加しにくい。また、ボランティア保険など加入するのが面倒だったりする。

（相談先）

- 気軽に相談できること、どこに相談すべきか分かると良い。

	（生活支援） ・　家賃支援の貯蓄制限なくしてほしい。（失業中） ・　給付金があれば助かる。また、将来の産休に不安があり、（国保のため、社保より支援、期間、額が少なく）その補填があるといいなと思う時がある。 ・　独り身世帯に対する経済支援なども充実させてほしい。 （その他） ・　ヘルプマークが欲しくても、その事を説明しなくてはいけない事に抵抗がある。保健センターや、区役所へインターネットなどで申請をして手に入れられるようにしてほしい。（悪用されない為に、公費のコピー等を送付するなどの対策をしてもその方が気持ち的に楽） ・　定期健診の充実。 ・　中小企業に対しての支援。 ・　青物横丁駅付近の道が狭く、飲食店のゴミなどが置かれている事も多いので、道を広くキレイに整備して欲しい。自転車（ママチャリ）やベビーカーの方も多いので危ないと感じる。八瀬橋北から、青物横丁駅に続く道を作ってほしい。
40～49 歳	（子育て） ・　子育て支援に、収入制限があるのは不公平。納税の義務を果しているのに、なぜ所得で制限されるのか。 ・　子育て世帯への支援も収入制限があり、不公平感を感じる。同じ税金を納めていて、子どもにかかる物、金額は同じであるのに、と思う。 ・　所得制限で補助・助成が受けられない。納税は高額で手取りからするとぜいたくしているわけではなく、所得でより多くの幼稚園・保育負担をしているのに不公平。高齢者福祉より、未来の子どもへの福祉・補助・助成を考えるべき。 ・　子どもが 3 人以上育てやすい環境・支援策。3 人目以降の子どもには月 5 万円を支援とか。 ・　シッターなど夜間もあずけられる所、港区のように気軽に（オアシスルームが 22 時まで OK など）、保育園児も。 （地域の場、イベントなど） ・　独身の人でも参加しやすく健康的な、つながるしくみや活動、リーズナブルな学びの場があれば良いと思う。 ・　林試の森公園の品川区の敷地に誰もが使えるジムができると、交流の場にもなり良いと思う。他の区に比べると運動施設が弱いと感じる。また荏原地区は全ての施設が充実していないように感じる。 ・　共働き・子育て中で、自分のための時間がとれない。地域のつながりをほしいとは思うが、子連れで土日に気軽に参加できる取り組み（楽しく短時間、参加してもしなくてもいい、メンバー固定にならなくてもいい）があるといいなと思う。 ・　休日に小学校の校庭やアリーナを開放して自由に使わせてほしい。区民の建物なのに、制限が多すぎる。

（地域のつながり）

・　地域住民のつながりづくりを強化すれば、福祉の目が届かないところでも、互いに協力し合い、助け合うことができる。

・　時代的に難しい面もあるが、産まれ育った人（地元で）と移住者との接点が持ちづらい。SNS、紙媒体、行事などで少しずつ接点の機会を増やす必要がある。

（生活支援）

・　都営住宅、区営住宅を減らさないで増やして欲しい。低所得者が品川に住めるような住環境を整備して欲しい。

・　傷病等により就業が困難な場合、経済的な支援をしてもらえたら、と思う。企業に対して時短や、就業日数が少なくてもなどのワークシェアリング的な事を自治体でも推進させてほしい。

・　貧困の中年世代のスキルアップや就業支援をサポートするしくみ

（情報発信）

・　品川区はLINEでよく情報が届くため役立てている。共働きのためSNS情報感謝している。

・　区の福祉活動について知る機会が少ないし、市民生活と壁があるように思えるのでもっとPR活動をすべきだと思う。若者や子育て世代が集まるような場（興味を持たせて参加させる内容を主催）を作り、品川区の地域福祉活動を知ってもらうようにすべき。

・　義務教育の「市民」や「生活」という授業の中に組み込むようにしたり、学校教育の課外活動に協力することで、地域福祉について直接ふれて参加し、想像させ、学んでもらうようにすべきだと思う。

（マイノリティ支援）

・　障害児・者支援が近隣他区に比べても弱い。多数派（高齢者や普通の子育て）に手厚い区なので一見、住み良い町、良い区政だが、少数弱者に優しくないことは、決して良い区政とはいえない。区が取り組んでいくことが、差別解消への一歩。予算は限りあるが、相談をもっと親身に手厚くすることは、区の方針次第でできることだと思う。

・　外国人住民が増加傾向にある中、日本育ちで無い場合は日本の文化や歴史を知らないまま、生活する場合も多い。そうすると正しく理解できず、社会に取って良くないし長期的に日本全体の生活の質が下がる一原因になるので、このような方にただの言語だけでなく、文化や正しい歴史と概念を啓蒙する場が必要だと思う。（本来なら地域でなく国の仕事だと思いますが。）

（その他）

・　高齢者や子育て世帯ばかりでなく、働き世代、現役世代のことも考えてほしい。

・　高齢者の認知症に関しての検査を区として取り入れてもらいたい。親を病院へ連れて行き、検査をするまで家族が話しても検査をしたがらない。（そこまでおかしくない等、本人は検査すら拒否する）

・　防災の避難訓練を具体的に。たとえば台風や水害等の避難場所がアナウンス

	されるが実際に出向いたことがないためどこにあるかもわからないし、テレビで見た被災地レベルの避難場所なのかどうかもわからないのでそういった場所の訓練がしたい。ダンボールで仕切られているのか、教室レベルで男女が別れているのか、など。
50～59 歳	**（子育て）** ・　所得制限なくしてほしい。子育ては大変。 ・　子育てに関しての支援を充実して欲しい。子育てで、この先の家計を考えると不安。 **（高齢、介護）** ・　高齢になっても在宅で生活できるしくみづくり、訪問看護やヘルパーの充実。 ・　品川区は高齢者への支援が厚い、と思って住んでいたが、父を特養に入れたいと探したが他の区に比べてかなり少ないイメージだった。施策としてやって欲しい。 ・　品川区に生まれ育った人もいると思うが、私は他県に高齢の親がいて認知症が進んでいる。近い将来実家へ行く可能性も否めない。共働きだが、これまで多額の税金を納めていることを考えると、高齢の親を呼び寄せる制度などを新設して、ある程度の収入がある人が他県へ流出しないような施設（親を呼ぶための）制度を充実して頂けるとありがたい。 ・　介護タクシー助成（高額な為通院がたいへん)、車イスの人をかかえている人はたいへんだと思う。災害時の具体的な避難方法（地域ごとの)、説明会（テーマごとの） ・　成年後見制度について、費用や手間を考えると以前（父が認知症になった時）この制度を検討した際に、とても“現実的ではない制度だ”という事を思い知らされた。 **（地域の場、イベントなど）** ・　参加しやすいしくみがあると良い。子育て、仕事で忙しい世代は、何かきっかけや少しでも力になれるようなしくみがあれば、参加するのではないかと思う。 ・　まだ元気な 60 歳位の人達が楽しい街を作って欲しい。つらそうな福祉ではなくて、楽しいコトを提供して欲しい。娯楽と福祉をあんまり分けすぎないで、高齢者は自分を年寄りと思ってないと母が言っている。 **（地域のつながり）** ・　現在は働いているが、余裕が出来たら参加したいと思う。ただ、新しく来た人達は、地域の繋がりが薄いのが東京と思っているのが残念。品川区は下町で、近所の人情が厚かったのが良かったし、育っている時に、近所に見守られていたのを感じていたので、どんどん薄れているのが寂しい。 **（生活支援）** ・　国の政策として、どうしてか非課税世帯への支援が多いように思う。非課税世帯同様、ギリギリの収入で生活している人も多い。(特にひとり暮らし、私を含め）そういった人達への支援も考えて欲しい。

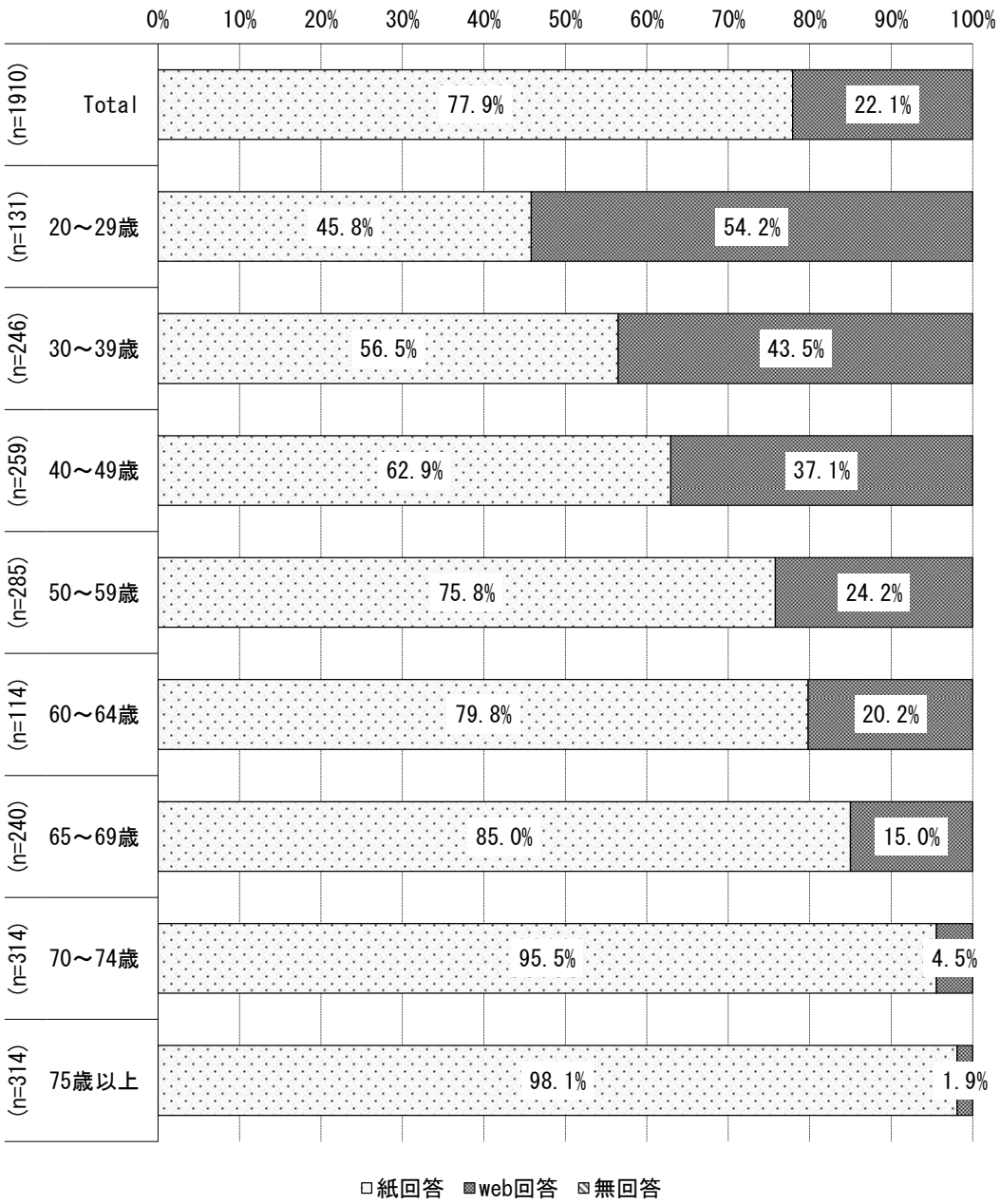
	（情報発信） ・　当事者にならないと関心を持つようにならないことを実感している。当事者でない人への啓蒙、広報の充実は必要だと思う。 （マイノリティ支援） ・　夜中に 24 時間オープンしているスーパーやファストフード店にいくと、大きな荷物をいくつか持っている女性をたびたびみる。いろんな事情があり、生活保護を受けたくない、受けられない方々もいると思うので、いつでも安全が確保されるシェルターを 24 時間うけられる場所があるといいと思う。（むずかしい書類の提出や申請なしで） ・　本当に孤立している人はなかなか気づけないのと外からはわからないと思いう。相談もできずにいる人もいると思うので、カフェや図書館などに相談員や相談所がもっと気軽に増えてほしい。家族の方や子ども・パートナー、ご本人も含めて、すぐにかけこみや相談できる場所があるといいと思う。 （その他） ・　役所の職員だけではなく、地域ボランティア（子育て経験者、孤立経験者等含め）と一緒に取り組む必要があると思う。（NPO、民間も） ・　福祉についてはそれぞれの管轄があるので、どこにどう連絡をとればよいか分かりづらいと思う。まず、ここ、という 1 つの窓口に相談して、その後の管轄までスムーズにたどり着けるようになると良いと思う。また複数の管轄にまたがることもあると思うので、横軸もつながってほしいと思う。 ・　品川区の障害福祉課はいつも忙しそうでなかなか連絡が取れない。もう少し相談しやすい環境になるとよい。 ・　コロナを診察してくれる病院があまりにも少なすぎ。保健所が忙しいのはわかるが、1 日電話をかけてもつながらないのは問題。災害などあった時の対応が今からみえる。改善してほしいと強く思う。 ・　首都直下型地震などの災害発生にそなえた地域の避難訓練や体験を地域や自治会単位で行ってほしい。そうすることで、顔見知りもでき、横のつながりにもなるのではないか。
60～64 歳	（子育て） ・　特に一人親の子育て支援をしてほしい。 （高齢、介護） ・　高齢になっても住める賃貸住宅をあっせんしてもらいたい。 ・　60 歳以上の働く場所を増やしてほしい （地域の場、イベントなど） ・　エコルとごしのように、児童、青少年が自由に勉強できる空間（環境）の充実。（おしゃべり、飲食可、できれば 22 時まで） ・　高齢者になる前に健康づくりができるような事があればな、と思う。 ・　コロナ禍で、広域避難所への複数ルートを試すなどにより、近隣の地理を詳しく知った。品川区には少なくないと思われる転入住民を区民仲間に引き込むため、「楽しい、大人の社会科見学」など如何か。 （情報発信）

	・ web や広報紙だけでなく、皆が日常利用するスーパーや駅に（例えば）目立つポスターを掲示する等して、地域福祉に関する情報をもっと広めていってもらいたい。 （マイノリティ支援） ・ 外国人児童支援の充実。 （その他） ・ 災害時に支援してくれる体制整備。 ・ 他地域から引っ越して来た方が圧倒的に多いはず。サラリーマンで活躍している方々を上手く使える施策をとるべき。
65～69 歳	（高齢、介護） ・ 各種施設の増加とともに大幅な人員配置の増強。介護保険額の減額。 ・ 一人暮らし。生前に簡単な死後に必要になると思われ書類類一式など、区役所で一式そろえてあると、何かと便利。今まで自分一人でやってきても最後だけはそういう訳にもいかないし、とても不安になることがある。その様な相談が気軽に出来る場所（常設でなくても）あるといいと思う。 （相談先） ・ 支援が必要な時に総合的に相談出来る窓口があると良い。相談先がわからない時や区役所等でも問題点が変わるとここではわからないと担当課をあちこちに移動しなくてはならない様にしてほしい。 （地域の場、イベントなど） ・ 品川区内に巾広く使用できるグランドの整備。野球、サッカー以外の多目的広場等などで、大井にあるホッケー場は他のスポーツに利用出来る様に変更すべき。 （地域のつながり） ・ 災害その他日常生活でも、町会他地域活動は必要と思いますが、昔ながらの婦人部など、時代に即していないことが多く、共働き世帯が 2/3 ほどもいるのに“なぜ女性”と思う事が。現代のニーズや環境に合わせてのシステム作りがまずは必要ではないかと感じる。 （情報発信） ・ まだ健康なのでボランティアに参加したいと考えているが、情報がなく参加できずにいる。積極的な情報発信と参加呼びかけをして頂ければ嬉しい。ご近所の方と交流できる場ときっかけを作って欲しい。 （その他） ・ バラバラにあげている項目を総合的につなげていく様な仕組みがあると、地域（ボランティア）と行政がもう少し効率的に取り組めるのでは。 ・ 地域生活の場から，困り事や注意情報を吸い上げて，どの地区で何が起こっているかを把握できるようなデータ収集の仕組が必要なんじゃないかと思う。
70～74 歳	（子育て） ・ 1 人親などで生活が苦しい家庭に支援して欲しい。

	（高齢、介護） ・　シルバーセンターの職業案内の登録料を無料にして欲しい。 ・　一人暮らしの高齢者が安心して暮らせる仕組み（手続等の簡略化）。 ・　高齢者への PC、スマートフォンの操作の教室の充実。（西大井地区は少ない気がします）年に何回かは、駅などで相談窓口を開いて相談がしやすい状況を作る。 ・　パソコン、携帯などが使用できず、色々なサービス、ポイントが受けられない高齢者が非常に多い。 ・　高齢者世帯の見守る巡回がまったく来ない（町会にて）為、対面で相談する機会が失われていると思う。孤立化する恐れあり。 **（地域の場、イベントなど）** ・　地域や自治で気楽にいろいろな方とコミュニケーションが作れる場を。身体の理由又１人暮らしの方など家で１日過ごす方が結構いるようで、少しでも病気の事、生活での話しがいろいろの方とお話しをし、ストレス解消できる場が作れるといいかと思う。高齢の方こそ身体を動かす事を進めたい。気楽に行きやすい運動ができる場を増やしてほしい。 ・　品川区には公園が少ない。特に大人から子どもまで遊べる広さの公園が欲しい。便利な街中に。 ・　高齢者が利用できる公共の風呂。風呂での事故が多いし今後心配。 **（地域のつながり）** ・　個人では難しい地域活動の活性化（横のつながり）を推進していって欲しい。 **（生活支援）** ・　民間の住宅は男性、高齢者、保証人ナシは貸してくれない。都営、区営、区営高齢者住宅は 15 年申し込んでいるが当たらない。 ・　低所得の高齢者が安心して最後まで住む事の出来る公営（区営）の住宅を増やして欲しい。都営は面倒な手続きが多く、当選する確率も低く中々希望する地域には住めない。まわりを見渡しても空き家がものすごく沢山あってもったいないなと思う事ばかり。 ・　高齢者の住宅（区営）を増やしてほしい。民間の家賃は高いのと、70 歳以上だとなかなか入れない為、年金のみでは生活が出来ない為。 ・　生活困窮者（特に子ども）への支援に重点を置いて欲しい。 **（その他）** ・　災害時の体制を知って、協力もしたいし、そのような組織作りが必要と思う。 ・　「地域住民の社会参加やつながりづくり」で受皿をつくり、各項目の内その地域で特に必要なものに取組めるようにする、という方法があると考える。既存のものをつなげる、何かしたいと思っている人をつなげる、そういったポテンシャルはあると思う。ポテンシャルのある地域にモデル地区を設定してやってみる。何もかも行政がやる、お任せするでは立ち行かない時代。
75 歳以上	**（子育て）**

	・　子どもの食事支援。 （高齢、介護） ・　在宅医療制度の充実。 ・　後期高齢者骨密度が低いため栄養士に献立の相談をしたく申し込みをしようと思ったが、介護保険制度の利用がなく申し込みができなかった。介護保険制度の利用はしないように健康に気を付けているが、悩み、相談したいことは多々ある。柔軟な対応をお願いしたい。 ・　老人ホーム、グループホーム等への入所費用の減額。 ・　動かない身体でも一般の人よりやさしい運動の出来る場が欲しい。高齢者でもイスにすわりっぱなしの運動しかしない所しかないのが残念。中途半端な身体でも一般の人よりやさしい、でも高齢者の様より高度な体操がしたい。 ・　地域の高齢者クラブが仲良し会の集りにならないと。民生員の動きが今ひとり分りづらい。 ・　数年に渡り、町会内に居住していない民生委員が町会内をみることができるのか。区より町会内に居住する人を推薦する様に指導する必要があるのではないか。 （生活支援） ・　品川区全域への小型バスの交通網の整備。 ・　現在の様なバス路線ではなく、住宅路を通る路線。 ・　高齢者の足となるコミュニティバスの運行を実施して欲しい。公的機関（区役所）や斎場、病院等へ行ける最寄り駅が遠い。足腰の弱い老人にとっては最も必要。1 ルートだけが試験的に運行しているようだが、採算が取れないから導入しないというならば、それは福祉行政と相容れないし、高齢者の外に出ていく、または交流という主旨からもはずれている。品川区は介護包括支援センターも区役所内に 1 つしかないし、保健師も足りない。コロナに感染してもつながらない。区立保育園も民営化している。再開発にばかり税金を投入してきて、福祉はおざなりでは「住みやすい品川」には程遠い。 ・　賃貸住宅に住んでいる高齢者の今後。家賃の一方的な値上げ・引越を考えても老人を受け入れてくれる大家が居るのか。 （マイノリティ支援） ・　ヤングケアラー（若い子ども、18 歳以下）家族の介護をしている人たちへの援助ひきこもりの人たち。 ・　障害者施設の拡充。 （その他） ・　災害の時の、避難場所がわかるよう、町内に大きく掲示を所々多く貼ってほしい。	

6．（参考）回答方法について



「紙回答」の割合が最も高く 77.9%となっている。次いで、「web 回答（22.1%)」となっている。年齢区分別にみると、年齢区分が低いほど、Web 回答の割合が高い傾向がみられる。

Ⅲ. 調査結果まとめ

次期計画となる第４期品川区地域福祉計画策定および品川区の施策検討に向けて、区民の生活や地域福祉への意向を把握することを目的としてアンケート調査を行ったが、本調査の結果から、新型コロナウイルス感染症の流行以前と比べ、他者との交流頻度が減少している区民や以前よりも孤独を感じるようになった区民が世代によらず一定数存在しており、前回調査（平成 30 年度）と比べ、人や地域との関わり方に変化が起こっているが明らかとなった。一方で、ご近所との関係性では、現状よりもより深い関係性を望む傾向が見られ、区民が身近な地域での人との関わりを望んでいる姿も明らかとなった。

本調査の結果を踏まえ、品川区の地域福祉の推進に向けた現状を整理する。

１．人や地域との交流、関わり方

- 他者との交流頻度では、65 歳以上を境に減少する傾向が見られた（64 歳までは「週４～５以上」が 70%以上であったが、「75 歳以上」では 29.0%）。また、専業主夫・専業主婦や無職の方では「他者との交流がない」とする割合が 1 割以上を占めており、年齢や職業状況によって他人との交流状況に差が見られた。
- また、新型コロナウイルス感染症の流行以前と比べ、「以前よりも交流は少なくなった」とした割合は 53.4%と約半数の区民が他者との交流頻度が減少していると回答している。この傾向は年齢区分によらず、すべての世代で同様の傾向が見られた。
- 一方で、ご近所との関係を見ると、現在の関係では、「会えば立ち話や情報交換などができる程度」は 22.8%であったが、望ましいご近所との関係は 43.4%と 20 ポイント以上増加していた。また、現在の関係では、「付き合いはない」は 21.8%であったが、望ましいご近所との関係は「付き合いはなくてよい」は 5.5%に減少していた。他者との交流頻度はいずれの世代でも減少しており、新型コロナウイルス感染症の流行以前と比べ、人や地域との関わり合いが難しい状況ではあるが、地域の中で身近な交流をより積極的に行いたいという傾向が見られた。
- 身近な地域の中でゆるやかなつながりや関係性を構築していくことは地域福祉のベースとなるが、人や地域との関わり方が変化してきている中、また、多様な区民がいる中で、どのような地域を目指していくのか、福祉分野に限らず状況を共有しながら検討していくことが必要と考えられる。

２．孤独・孤立の状況

- 孤独の状況を見ると、「全くない」、「ほとんどない」とした割合が合わせて約 65%、「たまにある」、「時々ある」、「しばしばある・常にある」は約 25%であったが、「20～29 歳」の若年層では、「たまにある」、「時々ある」、「しばしばある・常にある」の割合が約 50%となっており、他の年齢区分と比べ高い傾向が見られた。また、ひとり暮らし世帯でも他の世帯と比べ割合が高く、同様の傾向が見られた。
- 孤独の状況の変化では、新型コロナウイルス感染症の流行以前と比べ、特に 20～29 歳の若年層、ひとり暮らし世帯で「以前よりも孤独を感じるようになった」と回答した割合が高くなっており（20～29 歳：32.8%、ひとり暮らし世帯：27.8%）、従前からの変化が大きい年代、世帯となっている。他者との交流頻度はいずれの年代でも以前よりも減少したとする割合が約半数を占めるが、より孤独を感じている年代、世帯に向けた方策を検討することも一考の余地があると考えられる。

- 孤独を感じている方（時々ある／しばしばある・常にある）は、ご近所との関係が希薄である傾向が見られたが、加えて、自身での解決が難しい日常的な課題が「ある」とした割合も高くなっている（全体：29.7%、時々ある：49.8%、しばしばある・常にある：64.9%）。また、自身の健康や病気、収入や家計、人間関係など、日常的な課題を抱えている割合も高い傾向にあり、相談先について「相談先がない」と回答した割合も高くなっていた（全体：5.8%、時々ある：12.6%、しばしばある・常にある：31.6%）。地域とのつながりが希薄になる中でも、誰かに・どこかにつながりやすい地域の在り方や、潜在化しやすい地域の中で孤立化し課題を抱えた方へのアプローチの方策など、多層的な仕組みの検討が必要と考えられる。

３．日常的な課題状況と相談先

- 日常生活を送る上で自身では解決が難しい課題の有無をみると、「ある」とした割合は 29.7%と約 3 割となっており、特に年齢の若い層ほど割合が高い傾向が見られた（20～29 歳：36.6%、75 歳以上：23.2%）。また、家族や親族のうち、日常生活を送る上で課題を抱えている人の有無をみると「ある」とした割合は 27.4%であったが、特に 50～59 歳の年代で 36.8%、二世代世帯（親と同居）で 47.2%と高い傾向が見られた。
- 一方で、相談先として、「相談先がない」や「分からない」とした割合は、自身の課題がある場合ではいずれも 1 割以下となっていたが、家族や親族に課題がある場合では、「分からない」が 16.8%、地域に困りごとがありそうな人や世帯がいる場合の相談先では、「分からない」は 21.9%となっていた。地域に困りごとがありそうな人や世帯がいる場合の相談先では、「区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談」が 44.7%と最も高くなっていたが、「分からない」とした約 2 割の方への周知（身近な相談窓口の存在や相談窓口の種別によらず相談可能なこと、民生委員など身近な相談先があることなど）、つながり方について検討していくことが必要と考えられる。
- また、品川区にある既存の相談機関の認知度については、高齢分野では「在宅介護支援センター」を「知っている」と回答した割合は全体で 28.7%であり、「65～69 歳」で 33.3%、「70～74 歳」で 46.2%、「75 歳以上」で 55.1%と高齢者への認知度は高い傾向にあるが、子の年代にあたる「30～39 歳」では 5.7%、「40～49 歳」では 10.8%と 1 割程度となっていた。その他、「支え愛・ほっとステーション（高齢分野）」、「地域拠点相談支援センター（障害分野）」、「子ども家庭支援センター（子ども分野）」、「暮らし・しごと応援センター（生活困窮分野）」の認知度は、「知っている」の割合がいずれも 1 割程度と全体的に低く、年齢区分が低いほど「知らない」の割合が高くなっていることから、地域の困りごとの身近な相談先として認知を高めていくことが求められる。

４．地域活動への参加状況

- 地域活動やボランティア活動への参加状況では、前回調査（平成 30 年度）と比べ、いずれの活動においても「参加したことはない」の割合が高くなっていた（※比較可能な項目のみ）。20～39 歳の若い年齢層だけでなく、65 歳以上の高齢者の「参加したことはない」の割合も高くなっており、年齢によらず、地域活動へ参加する割合が減少していた。
- また、現在参加している／過去に参加していた方においても、新型コロナウイルス感染症の流行以前と比べ、「以前よりも参加しなくなった」とした割合が 48.4%と約半数を占めており、参加している／参加していた方の地域活動への参加も少なくなっている傾向が見られた。

- 一方で、地域活動への参加意欲をみると、「今は参加していないが、今後は参加してみたい」と回答した人は、20～29 歳では 22.9%、30～39 歳では 16.7%、40～49 歳では 16.6%と、50 歳以降の年代と比べ高い傾向が見られた。特に、20～29 歳、30～39 歳では、「誰かに誘われたら」参加したい、とする割合が約 40%と他の年代と比べ高く、他者からのアプローチが必要であることが伺えることから、若年層へのアピールの方法についても検討が必要と考えられる。

5．充実してほしい施策

- 充実してほしい施策としては、「高齢者への支援」が 45.5%、「子育て世帯への支援」が 39.7%、「地域における災害時への体制整備や防災活動支援」が 39.3%となっていたが、年齢区分別にみると、20～29 歳、30～39 歳では、「子育て世帯への支援」が約 6 割、「家事や生活を支援する仕組みづくり」が約 4 割と高く、50～59 歳、60～64 歳では、「地域における災害時への体制整備や防災活動支援」が約 5 割と他の年代に比べ高くなっていた。
- 具体的な意見では、いずれの年代でも、地域の場やイベントなどに関する意見（利用しやすくしてほしい、集まれる場・コミュニケーションが取れる場が欲しい、イベント等があるよいなど）、地域とのつながりに関する意見（住民同士のつながり強化、接点の持ち方など）が多く挙げられていた。また、情報発信に関する意見も多く、施策について知らない、情報がない・入ってこない、といった意見も挙げられていたことから、事業や取組の実施に加え、広く広報していくことの重要性が伺える。

資　料　編

■品川区の地域福祉に関するアンケート調査　調査票

品川区の
地域福祉に関する
アンケート調査

区民の皆様に、品川区の地域福祉に関する
アンケートにご協力をいただいております。

回答の結果は、第４期品川区地域福祉計画（令和６年度から）の策定に向けての統計資料として活用されます。是非、ご協力ください。

1　あなた自身のことについて

問１　年齢（令和４年９月１日現在）をお答えください。（１つに○）

１．18 歳または 19 歳	６．60～64 歳
２．20～29 歳	７．65～69 歳
３．30～39 歳	８．70～74 歳
４．40～49 歳	９．75 歳以上
５．50～59 歳	

問２　世帯構成は次のどれですか。（１つに○）
※同一敷地または同一建物の場合は、同居としてお答えください。

１．ひとり暮らし	４．二世代世帯（子と同居）
２．夫婦のみ	５．三世代世帯
３．二世代世帯（親と同居）	６．その他（兄弟と同居など）（　　）

問３　職業をお答えください。（主なもの１つに○）

１．会社などの役員・自営業	５．専業主夫・専業主婦
２．会社員	６．学生
３．公務員	７．無職
４．パート・アルバイト・派遣社員など	８．その他（　　）

問４　お住まいの地区をお答えください。（１つに○）

１．品川地区（北品川・東品川・南品川・西品川・広町）
２．大崎地区（上大崎・東五反田・西五反田・大崎）
３．大井地区（東大井・南大井・勝島・大井・西大井）
４．荏原地区（小山台・小山・荏原・平塚・旗の台・中延・西中延・東中延・戸越・豊町・二葉）
５．八潮地区（八潮）

問５　現在お住まいの住居での居住年数（令和４年９月１日現在）をお答えください。（１つに○）

１．１年未満	３．５年～10 年未満
２．１～５年未満	４．10 年以上

2　あなたの現在の暮らしについて

問６　あなたの、現在の他者との交流の頻度についてお答えください。（１つに○）
※仕事や学校、近所での付き合い、SNS 等のオンライン上での交流など、場所や手段は問いません。

１．週４～５回以上	５．月１回程度
２．週２～３回程度	６．月１回未満
３．週１回程度	７．他者との交流はない（ほぼない）
４．２週間に１回程度	

問７　問６で回答した「他者との交流の頻度」は、新型コロナウイルス感染症の流行以前と比べ、どのように変化しましたか。（１つに○）

１．以前よりも交流は多くなった	３．以前よりも交流は少なくなった
２．以前と変わらない	４．その他（　　）

問８　あなたは現在、どの程度、孤独であると感じることがありますか。（１つに○）

１．全くない	４．時々ある
２．ほとんどない	５．しばしばある・常にある
３．たまにある	

問９　問８で回答した「孤独であると感じる」状況は、新型コロナウイルス感染症の流行以前と比べ、どのように変化しましたか。（１つに○）

１．以前よりも孤独を感じるようになった	３．以前よりも孤独を感じなくなった
２．以前と変わらない	４．その他（　　）

問 10　あなたの、現在のご近所との関わり方についてお答えください。（１つに○）

１．困りごとや悩みごとを相談する（される）ことがある
２．上記までではないが、簡単な頼みごとや、物の貸し借りなどをすることがある
３．会えば立ち話や情報交換などをする程度
４．会えばあいさつをかわす程度
５．付き合いはほとんどない
６．その他（　　）

問 11　あなたにとって望ましいと思うご近所との関わり方についてお答えください。（１つに○）

１．困りごとや悩みごとを相談する（される）ことができる程度
２．上記までではないが、簡単な頼みごとや、物の貸し借りなどをすることができる程度
３．会えば立ち話や情報交換などができる程度
４．会えばあいさつをかわすことができる程度
５．付き合いはなくて良い
６．その他（　　）

3　困ったときの相談について

問 12　あなたが、現在、日常生活を送る上で課題と感じることがあればお答えください。
（あてはまるものすべてに○）

1．自分の健康や病気に関すること	8．人間関係に関すること
2．家族の健康や病気に関すること	9．孤立・孤独に関すること
3．収入・家計に関すること	10．日常の買い物や移動に関すること
4．子ども・子育てに関すること	11．災害に関すること
5．介護に関すること	12．その他（　　）
6．住まいに関すること	13．特に生活課題はない
7．仕事に関すること	14．答えたくない

問 13　日常生活を送る上で、自分自身では解決することが難しい課題はありますか。（１つに○）

1．ある	3．分からない
2．ない	4．答えたくない

問 14　自分自身では解決することが難しい課題が発生した場合、あなたは誰に/どこに相談しますか。
（あてはまるものすべてに○）

1．友人・知人、近所の人など身の回りの人に相談
2．民生委員や町会・自治会などの地域住民団体に相談
3．区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談
4．相談先はあるが、相談はしない
5．相談先がない（相談する人がいない）
6．分からない
7．その他（　　）

問 15　あなたの家族や親族のうち、現在、日常生活を送る上で課題を抱えている人はいますか。（１つに○）

１．いる	３．分からない
２．いない	４．答えたくない

問 16　家族や親族に解決することが難しい課題が発生した場合、家族や親族の抱えている課題について、あなたやあなたの家族は誰に/どこに相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

１．友人・知人、近所の人など身の回りの人に相談
２．民生委員や町会・自治会などの地域住民団体に相談
３．区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談
４．相談先はあるが、相談はしない
５．相談先がない（相談する人がいない）
６．分からない
７．その他（　　）

問 17　あなたから見て、地域の中に、何か困りごとがありそうな人や世帯、手助けが必要ではないかと思うような人や世帯はいますか。（１つに○）

１．いる	４．関心がない
２．いない	５．答えたくない
３．分からない	

問 18　問 17 で、何か困りごとがありそうな人や世帯、手助けが必要ではないかと思うような人や世帯が「１．いる」と回答した方におたずねします。
それはどのような人や世帯ですか。（あてはまるものすべてに○）

１．高齢者、高齢者のいる世帯
２．障害児や障害者、障害児や障害者のいる世帯
３．生活困窮者、生活困窮世帯（経済的に生活が厳しそうな人、世帯）
４．子どもや子育て中の人、子どものいる世帯
５．外国籍の人、世帯
６．虐待の疑いがある人、世帯
７．ひきこもりの人、ひきこもりの人がいる世帯
８．地域から孤立している人、世帯
９．その他（　　）

問 19　何か困りごとがありそうな人や世帯、手助けが必要ではないかと思うような人や世帯に、あなたが気付いた場合、そのような人や世帯について、あなたは誰に/どこに相談しますか。
（あてはまるものすべてに○）

１．友人・知人、近所の人など身の回りの人に相談
２．民生委員や町会・自治会などの地域住民団体に相談
３．区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談
４．相談先はあるが、相談はしない
５．相談先がない（相談する人がいない）
６．分からない
７．その他（　　）

問 20　あなたは、品川区にある以下の相談機関について知っていますか。（項目ごとに１つに○）

相談機関	知っている	名前は聞いたことがある	知らない
・ 在宅介護支援センター（高齢分野）	1	2	3
・ 支え愛・ほっとステーション（高齢分野）	1	2	3
・ 地域拠点相談支援センター（障害分野）	1	2	3
・ 子ども家庭支援センター	1	2	3
・ 暮らし・しごと応援センター	1	2	3

問 21　問 20 の相談機関以外に、あなたが相談したことのある、もしくは相談したことはないが、知っている相談先はありますか。（自由記載）

※公的なもの（保健センター、児童センターなど）だけでなく、NPO（特定非営利活動法人）や民間の相談先でも結構です。

相談したことのある、もしくは知っている相談先	（自由記載欄）

問 22　あなたは、成年後見制度について知っていますか。（1 つに○）

１．制度の内容を知っている（だいたい知っている）
２．制度の名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない
３．制度の名前も内容も知らない

【成年後見制度とは】

- 成年後見制度は、認知症等により判断能力が低下した高齢者や知的障害者、精神障害者に対して、本人の契約や各種手続きを法律面で支援するとともに、適切な福祉サービスにつなげるなど生活面で支援し、本人の権利や財産を守ることを目的としています。
- 成年後見制度には、将来の不安に備えるための任意後見制度と、すでに判断能力が不十分な人のための法定後見制度の２つの種類があり、法定後見制度には、後見、補佐、補助の３つの類型があります。
- 任意後見制度は、十分な判断能力があるうちに、判断能力が低下した場合に備えて、あらかじめ本人自らが選んだ人（任意後見人）に、代わりにしてもらいたいことを契約（任意後見契約）で決めておく制度です。
- 法定後見制度は、家庭裁判所に申し立てることで成年後見人、保佐人、補助人を選び、サポートを受ける制度です。

4　地域活動やボランティア活動について

問 23　現在までの地域活動やボランティア活動への参加状況についてお答えください。
（項目ごとに１つに○）

活動	参加 している	参加 していた	参加した ことはない
・町会・自治会の活動	1	2	3
・子ども会やＰＴＡの活動	1	2	3
・高齢者クラブの活動	1	2	3
・地域でのボランティア活動	1	2	3
・防災訓練、交通安全運動	1	2	3
・おまつりや運動会などのレクリエーション活動	1	2	3
・ひとり暮らし高齢者の安否確認や話し相手	1	2	3
・地域内の防犯パトロール	1	2	3
・地域（高齢者・子育て）サロンの運営	1	2	3
・その他（　　）	1	2	

問 24　問 23 で、地域活動やボランティア活動に「１．参加している」「２．参加していた」と回答した方におたずねします。地域活動やボランティア活動への参加状況は、新型コロナウイルス感染症の流行以前と比べ、どのように変化しましたか。（１つに○）

１．以前よりも参加するようになった
２．以前と変わらない
３．以前よりも参加しなくなった（参加できなくなった）
４．その他（　　）

問 25　地域活動やボランティア活動への今後の参加意欲についてお答えください。（１つに○）

１．引き続き参加したい
２．今は参加していないが、今後参加してみたい
３．今は参加していないし、今すぐは難しいが、いつかは参加してみたい
４．参加したいとは思わない
５．その他（　　）

問 26 問 25 で「4. 参加したいとは思わない」と答えた方におたずねします。参加したいと思わない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．仕事が忙しいため	8．新しい活動場所に溶け込める自信がないため
2．家事が忙しいため	9．地域の人と関わりたくないため
3．育児が忙しいため	10．活動の場所や内容がわからないため
4．介護が忙しいため	11．家族や職場の理解・協力がないため
5．興味がないため	12．地域活動などは必要ないと思うため
6．健康や体力に不安があるため	13．その他（　　）
7．経済的負担があるため	

問 27 あなたはどういうきっかけがあれば地域活動やボランティアに参加したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1．誰かに誘われたら	4．居場所（活動の場）があれば
2．興味のある活動があれば	5．その他（　　）
3．時間ができたら	

5　品川区の地域福祉の施策について

問 28　地域で充実してほしい施策についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）
※施策について、具体的な意見があれば、自由記載欄に記載してください。

1．高齢者への支援
2．障害のある人への支援
3．生活困窮者（経済的に厳しい人）への支援
4．子育て世帯への支援
5．女性、子ども、高齢者、障害のある人等への虐待防止対策
6．地域で孤立している人への支援
7．福祉に関する相談体制の充実
8．家事や生活を支援する仕組みづくり
9．地域住民の社会参加やつながりづくり
10．健康づくりの推進
11．地域における災害時の体制整備や防災活動支援
12．その他（　　）
13．特にない

（自由記載欄）